令和3年度

徳島県地震・津波県民意識調査
（全県調査）

報　　告　　書

令和 4 年 3 月

徳島県危機管理環境部

とくしまゼロ作戦課事前復興室

目　次

1. 調査概要

1．1　調査目的 …… 1
1．2　調査対象 …… 1
1．3　実施期間 …… 2
1．4　調査方法 …… 2
1．5　調査内容 …… 2

2. 調査結果

2．1　アンケート回答者の状況 …… 4
2．2　回答者の属性 …… 4
2．3　回答状況 …… 11
2．4　経年変化比較 …… 69

3. まとめ …… 94

巻末資料（アンケート調査票） …… 98

1. 調査概要

1.1 調査目的

徳島県では、「南海トラフ巨大地震」や「中央構造線・活断層帯」を震源とする直下型地震の発生が危惧されている。特に、今後３０年以内における発生確率が７０％から８０％とされる「南海トラフ巨大地震」は、揺れや津波で大きな被害が出ると想定されている。

こうした大規模災害を迎え撃つため、県民を対象とした地震・津波等に関する意識調査を３年に１度行い、県民の防災意識や備えなどの現状を把握し、今後の防災・減災対策に反映する。

1.2 調査対象

アンケートは２０歳以上の県民５，０００人を対象とし、市町村の人口比に基づき市町村毎の対象人数を分配し、市町村選挙人名簿（令和３年９月１日現在）から無作為抽出した。ただし、対象数が１００人以下となる市町村に関しては１００人以上となるように調整した。

アンケート調査対象者

市町村名	選挙人名簿登録者数(人)	アンケート送付(人)	割合
全県域	624,198	5,000	0.80%
沿岸部	430,854	2,796	0.65%
内陸部	193,344	2,204	1.14%
徳島市	212,387	986	0.46%
鳴門市	48,343	301	0.62%
小松島市	31,957	233	0.73%
阿南市	60,560	352	0.58%
吉野川市	34,457	244	0.71%
阿波市	31,170	230	0.74%
美馬市	24,276	201	0.83%
三好市	21,699	190	0.88%
勝浦町	4,425	118	2.67%
上勝町	1,356	106	7.82%
佐那河内村	1,983	108	5.45%

市町村名	選挙人名簿登録者数(人)	アンケート送付(人)	割合
石井町	21,460	189	0.88%
神山町	4,613	119	2.58%
那賀町	7,053	129	1.83%
牟岐町	3,548	115	3.24%
美波町	5,692	124	2.18%
海陽町	7,851	133	1.69%
松茂町	12,427	152	1.22%
北島町	19,085	179	0.94%
藍住町	29,004	221	0.76%
板野町	11,354	147	1.29%
上板町	10,046	142	1.41%
つるぎ町	7,504	131	1.75%
東みよし町	11,948	150	1.26%

※沿岸部:「津波防災地域づくりに関する法律」第53条及び「南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例」第52条に基づく「津波災害警戒区域」の指定がある市町(徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、牟岐町、美波町、海陽町、松茂町、北島町、藍住町)
※内陸部:上記以外の市町村

1.3 実施期間

令和３年１１月下旬から令和３年１２月中旬にかけて実施した。

1.4 調査方法

郵送による調査票の配布、また郵送回答とインターネット回答の併用で実施した。

1.5 調査内容

調査項目は、以下の１０項目、４２問（別途枝問２４、計６６問）とした。なお、アンケート調査票は巻末資料に示す。

（1）個人属性について（問１～問１０）
（2）南海トラフ巨大地震、中央構造線・活断層地震の関心について（問１１～１５）
（3）地震に対する備えについて（問１６～問２０）
（4）住宅の耐震化や備蓄等の具体的な取組について（問２１～３２）
（5）大規模地震発生時の避難行動について（問３３）
（6）「南海トラフ地震臨時情報」発表時の防災対応について（問３４）
（7）避難情報発令時における避難行動について（問３５～３６）
（8）コロナ禍の避難行動について（問３７～３９）
（9）事前復興について（問４０～４１）
(10) 県や市町村に望む地震防災対策について（問４２）

なお、本報告にあたっては、調査結果を以下に示す基準で表記した。

＜数値＞

・本調査は、標本調査であるため、母集団に復元後、算出した構成比（%）を調査結果として表記している。
・構成比は小数点以下第２位、あるいは第３位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも１００とはならないことがある。
・表中、「0.0」、「0.00」は集計した数値が表章単位に満たないものである。
・表中、該当する数値が存在しない場合、「－」で表示した。

＜用語＞

・「沿岸部」
「津波防災地域づくりに関する法律」第５３条及び「徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例」第５２条に基づく「津波災害警戒区域」の指定がある市町（徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、牟岐町、美波町、海陽町、松茂町、北島町、藍住町）

・「内陸部」
　上記「沿岸部」以外の市町村
・「前回（調査）」
　「平成３０年度　徳島県地震・津波県民意識調査」
・「震度６強以上の揺れが想定される市町」
　「中央構造線・活断層地震による震度分布」（H29.3.30 徳島県）において、中央構造線・活断層地震が発生した際に、震度６強以上の揺れが想定される市町
　（徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町）
・「震度６強以上の揺れが想定されていない市町村」
　上記「震度６強以上の揺れが想定される市町」以外の市町村
・「特定活断層調査区域市町」
　「徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例」第５５条に基づく「特定活断層調査区域」の指定がある市町
　（鳴門市、阿波市、美馬市、三好市、板野町、上板町、東みよし町）

2. 調査結果

2. 1 アンケート回答者の状況

本アンケートでは、郵送数５，０００人に対し、回答数２，０３２人、回答率４０．６％であり、各市町村における回答率は、おおむね４０％前後であった。

また、アンケート回答率は沿岸部、内陸部でほぼ同程度であった。

アンケート回答者の状況

市町村名	選挙人名簿登録者数(人)	アンケート送付(人)	アンケート回収数(通)	回答率
全県域	624,198	5,000	2,032	40.64%
沿岸部	430,854	2,796	1,145	40.95%
内陸部	193,344	2,204	878	39.84%
無回答	－	－	9	－
徳島市	212,387	986	392	39.76%
鳴門市	48,343	301	127	42.19%
小松島市	31,957	233	107	45.92%
阿南市	60,560	352	140	39.77%
吉野川市	34,457	244	93	38.11%
阿波市	31,170	230	82	35.65%
美馬市	24,276	201	85	42.29%
三好市	21,699	190	84	44.21%
勝浦町	4,425	118	58	49.15%
上勝町	1,356	106	37	34.91%

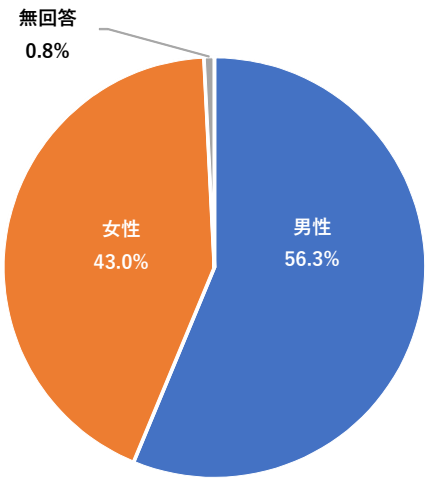
市町村名	選挙人名簿登録者数(人)	アンケート送付(人)	アンケート回収数(通)	回答率
佐那河内村	1,983	108	38	35.19%
石井町	21,460	189	69	36.51%
神山町	4,613	119	38	31.93%
那賀町	7,053	129	60	46.51%
牟岐町	3,548	115	52	45.22%
美波町	5,692	124	54	43.55%
海陽町	7,851	133	44	33.08%
松茂町	12,427	152	52	34.21%
北島町	19,085	179	82	45.81%
藍住町	29,004	221	95	42.99%
板野町	11,354	147	67	45.58%
上板町	10,046	142	62	43.66%
つるぎ町	7,504	131	55	41.98%
東みよし町	11,948	150	50	33.33%
無回答	－	－	9	－

2. 2 回答者の属性

本アンケートでは、問１～問１０において、回答者の属性を問う設問を設定した。以下、設問ごとに調査結果を示す。

問１ 性別

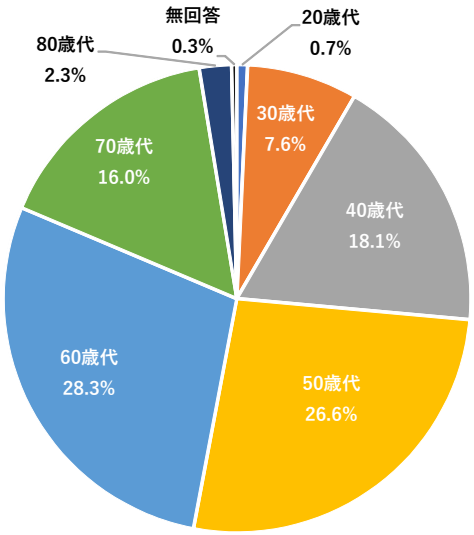
「男性：５６．３％」、
「女性：４３．０％」となっている。



アンケート回答者の属性(性別)(N=2032)

問２　年齢

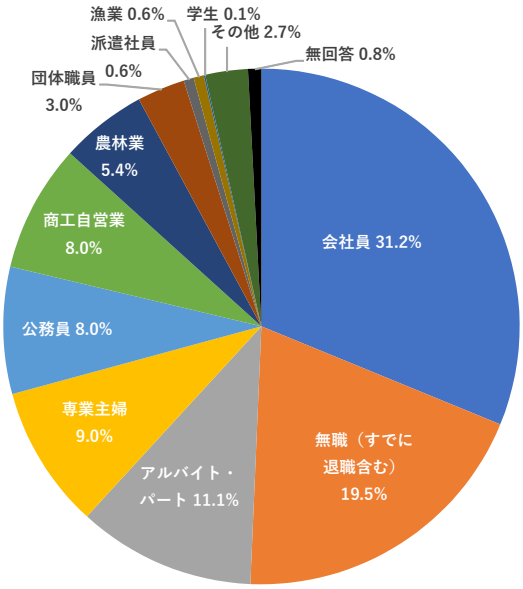
「６０歳代：２８．３％」が最も高く、次いで「５０歳代：２６．６％」、「４０歳代：１８．１％」と続く。



アンケート回答者の属性（年齢）（N＝2032）

問３　職業

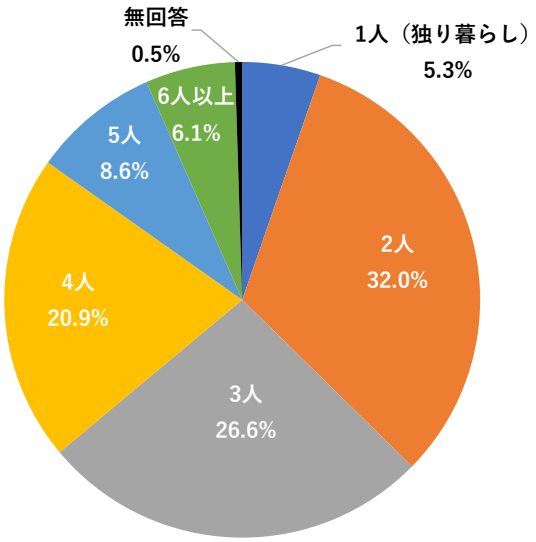
「会社員：３１．２％」が最も高く、次いで「無職（すでに退職含む）：１９．５％」、「アルバイト・パート：１１．１％」と続く。



アンケート回答者の属性（職業）（N＝2032）

問４　同居家族の人数

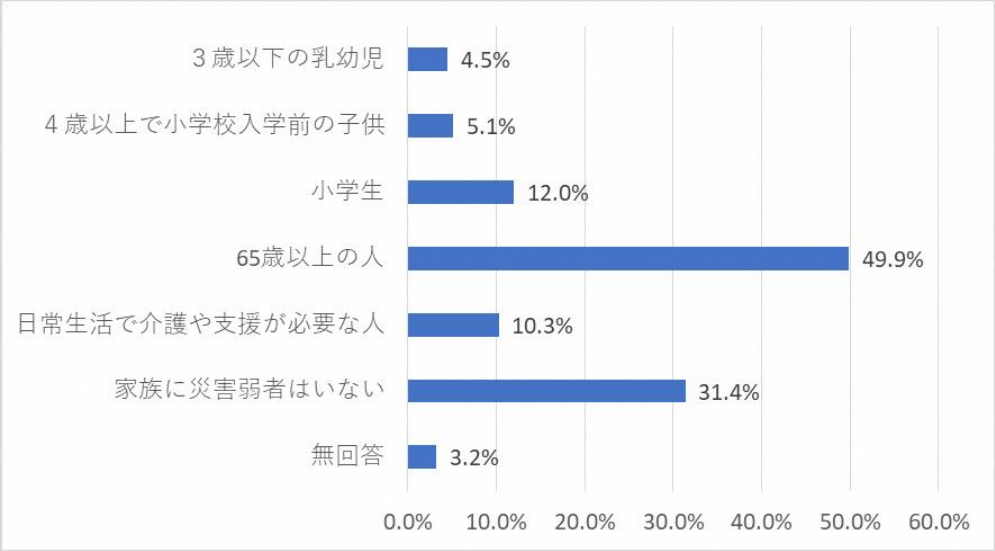
「２人：３２．０％」が最も高く、次いで「３人：２６．６％」、「４人：２０．９％」と続く。



アンケート回答者の属性（同居家族の人数）（N=2032）

問５　同居家族における災害弱者の有無

「６５歳以上の人：４９．９％」が最も高く、次いで「家族に災害弱者はいない：３１．４％」、「小学生：１２．０％」と続く。

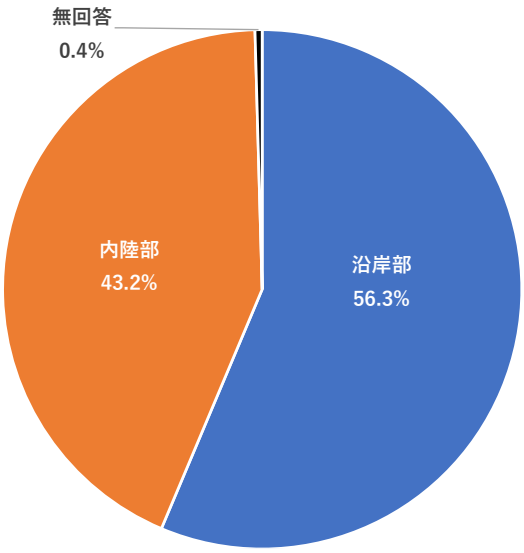


アンケート回答者の属性（同居家族における災害弱者の有無）（N=2032）

問６　居住市町村

本調査は人口比に応じてアンケート配布を行ったことから、「徳島市：１９．３％」をはじめ人口の多い市町村の回答がアンケート全体に占める割合が高い。

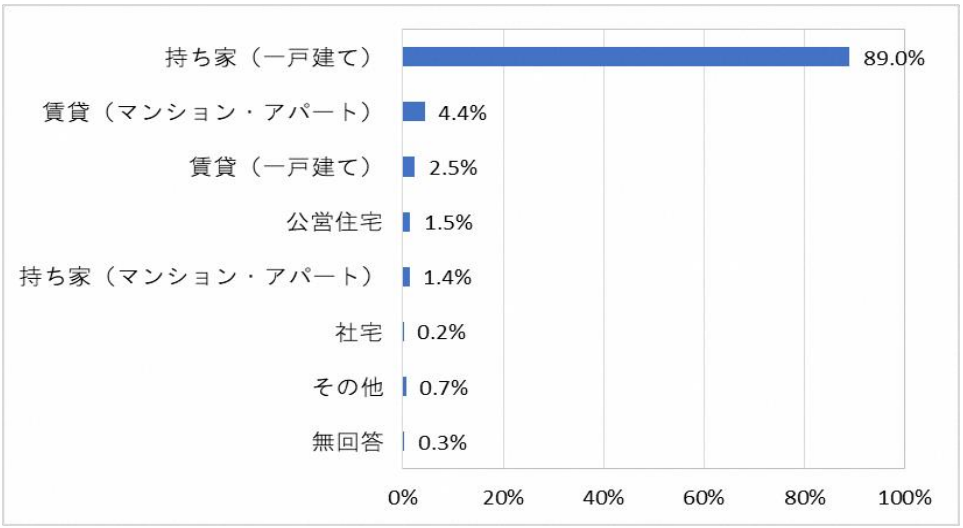
アンケート回答者の属性（市町村）
（N=2032）



アンケート回答者の属性（立地）
（N=2032）

問７　住まいの形態

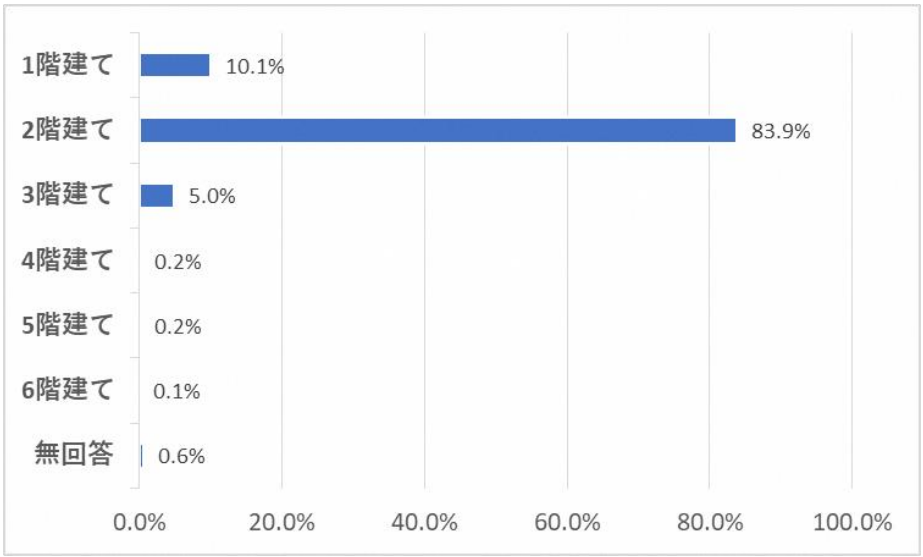
「持ち家（一戸建て）：８９．０％」が最も高く、次いで「賃貸（マンション・アパート）：４．４％」、「賃貸（一戸建て）：２．５％」と続く。



アンケート回答者の属性（住まいの形態）（N=2032）

問８　一戸建て住宅居住者の居住建物の階数

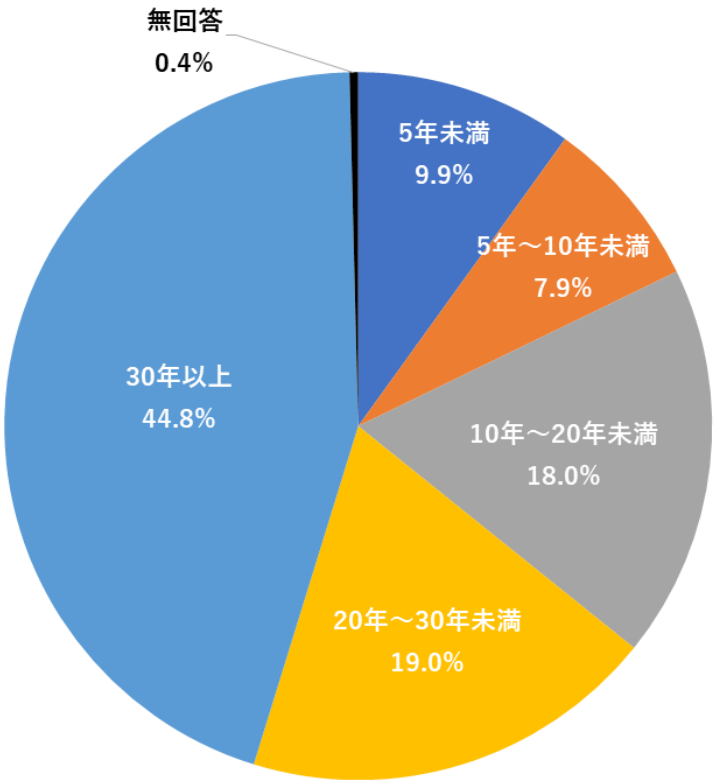
「２階建て：８３．９％」が最も高く、次いで「１階建て：１０．１％」、「３階建て：５．０％」と続く。



アンケート回答者の属性（一戸建て住宅居住者の居住建物の階数）（N=1858）

問９　居住年数

「３０年以上：４４．８％」が最も高く、次いで「２０年～３０年未満：１９．０％」、「１０年～２０年未満：１８．０％」と続く。

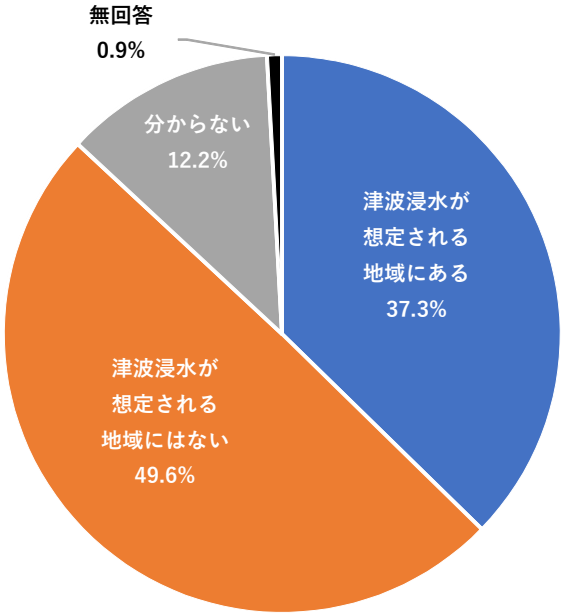


アンケート回答者の属性（居住年数）（N=2032）

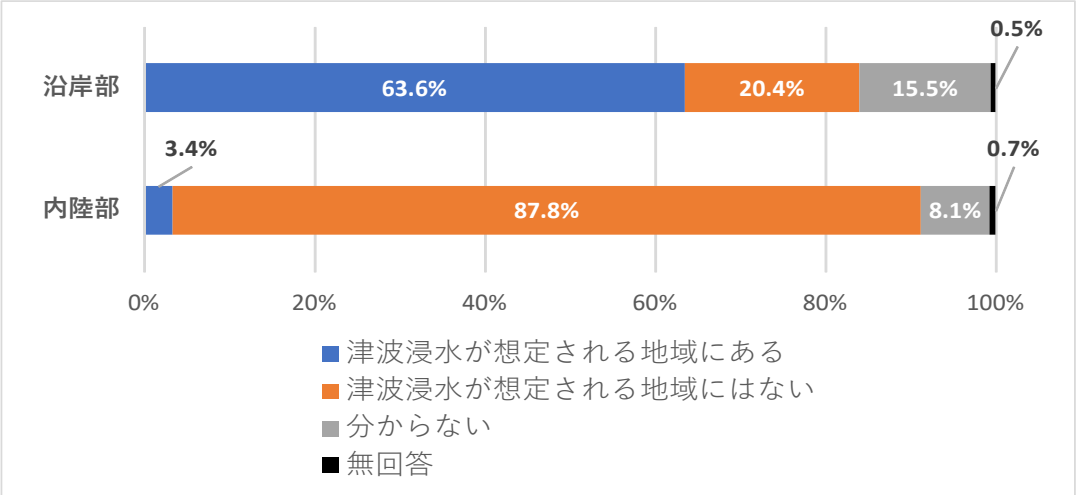
問１０　居住地域の認識

「津波浸水が想定される地域にはない：４９．６％」が最も高く、次いで「津波浸水が想定される地域にある：３７．３％」、「分からない：１２．２％」と続く。

なお、津波浸水想定区域外の内陸部に居住している回答者が、「津波浸水が想定される地域にある」と回答した割合が３．４％ある。



アンケート回答者の属性（居住地域の認識）（N=2032）



アンケート回答者の属性（居住地域の認識）（沿岸部　N=1145、内陸部 N=878）

2. 3 回答状況

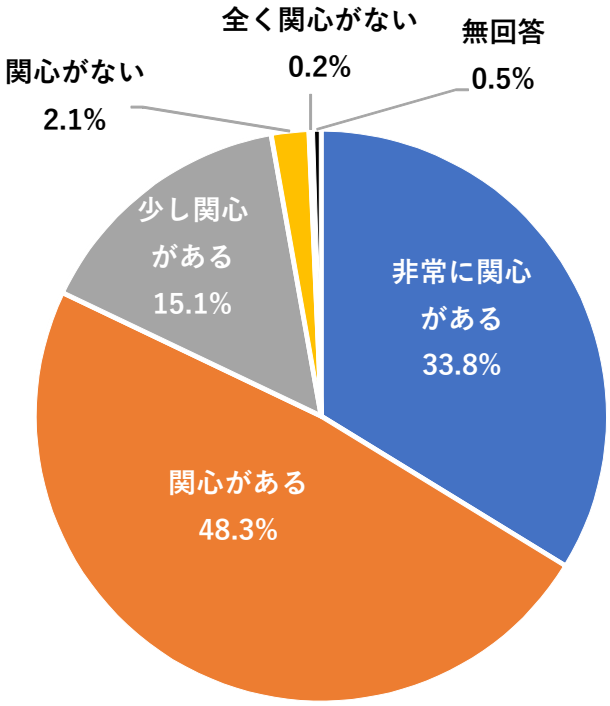
問１１以降について、設問ごとに調査結果を示す。なお、今回の調査結果（%）に併せ、前回（Ｈ３０年度）の調査結果（%）を括弧書きにより併記することとする。

問 11　南海トラフ巨大地震にどの程度関心をもっていますか。（１つだけ○）

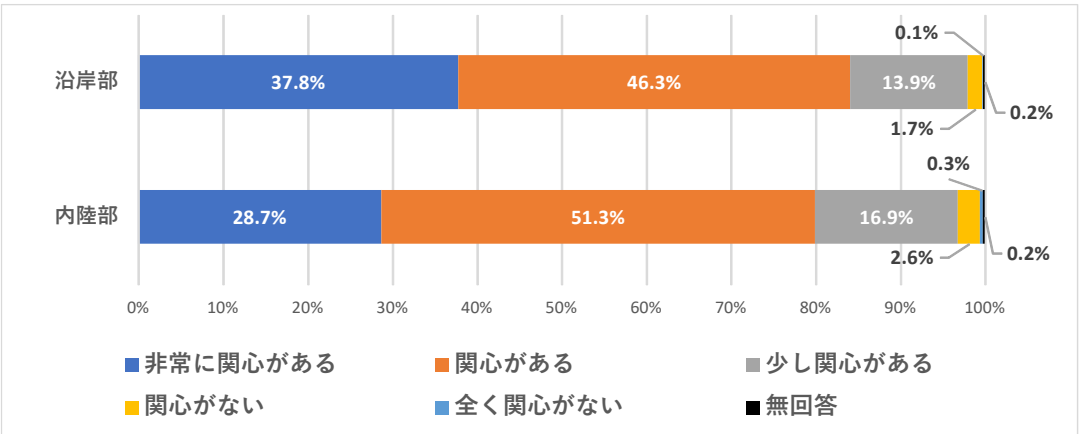
① 非常に関心がある	② 関心がある	③ 少し関心がある
④ 関心がない	⑤ 全く関心がない	

「②関心がある：４８．３%（４９．８%）」が最も高く、次いで「①非常に関心がある：３３．８%（３３．２%）」、「③少し関心がある：１５．１%（１４．５%）」と続く。

これらから、「関心がある（①、②、③）」は、９７．２%（９７．５%）となる。



南海トラフ巨大地震の関心（N=2032）

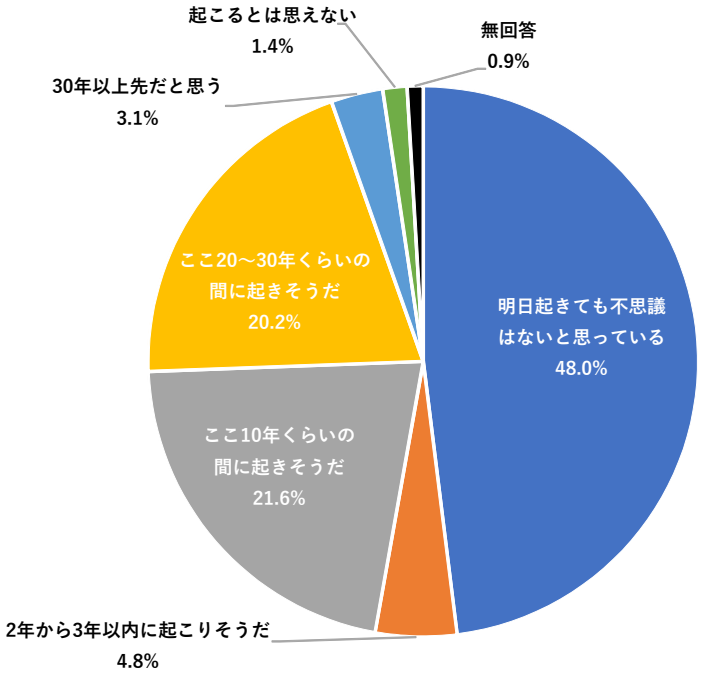


区域別の南海トラフ巨大地震の関心（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

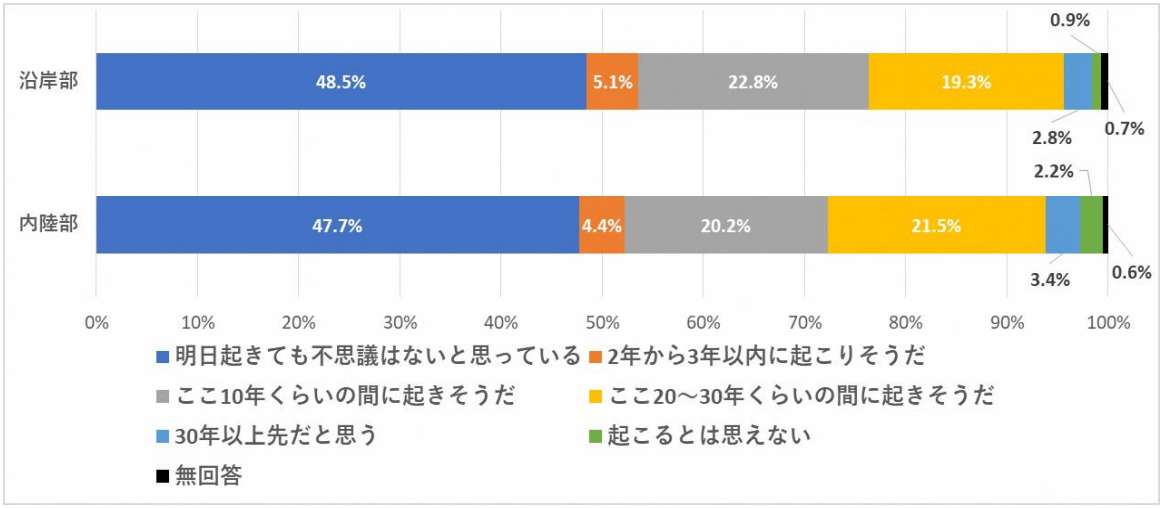
問 12　南海トラフ巨大地震が起こる可能性について、どのように思っていますか。
（最も近いものを、１つだけ○）

① 明日起きても不思議はないと思っている	② 2 年から 3 年以内に起こりそうだ
③ ここ 10 年くらいの間に起きそうだ	④ ここ 20～30 年くらいの間に起きそうだ
⑤ 30 年以上先だと思う	⑥ 起こるとは思えない

「①明日起きても不思議はないと思っている：４８．０％（４９．０％）」が最も高く、次いで「③ここ１０年くらいの間に起きそうだ：２１．６％（２２．５％）」、「④ここ２０～３０年くらいの間に起きそうだ：２０．２％（１７．０％）」と続く。



南海トラフ巨大地震が起こる可能性（N=2032）

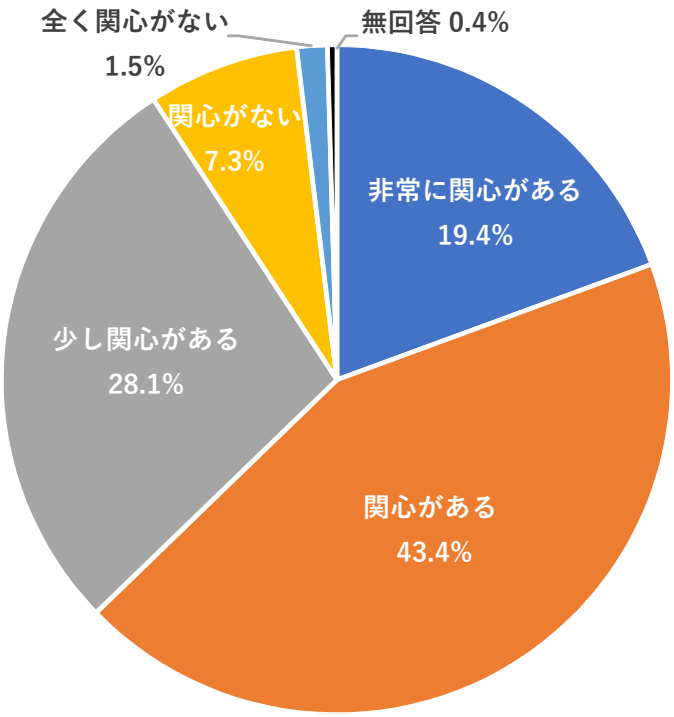


区域別の南海トラフ巨大地震が起こる可能性（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

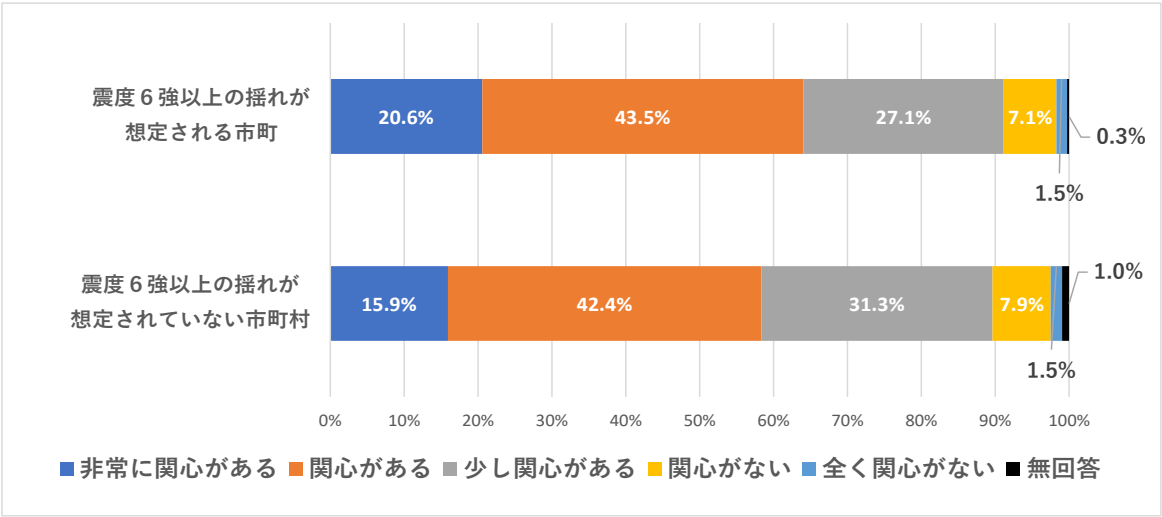
問 13　中央構造線・活断層地震にどの程度関心をもっていますか。（１つだけ○）

① 非常に関心がある	② 関心がある	③ 少し関心がある
④ 関心がない	⑤ 全く関心がない	

「②関心がある：４３．４％（４５．０％)」が最も高く、次いで「③少し関心がある：２８．１％（２７．９％)」、「①非常に関心がある：１９．４％（１７．１％)」と続く。
これらから、「関心がある（①、②、③)」は、９０．９％（９０．０％）となる。



中央構造線・活断層地震の関心（N=2032）

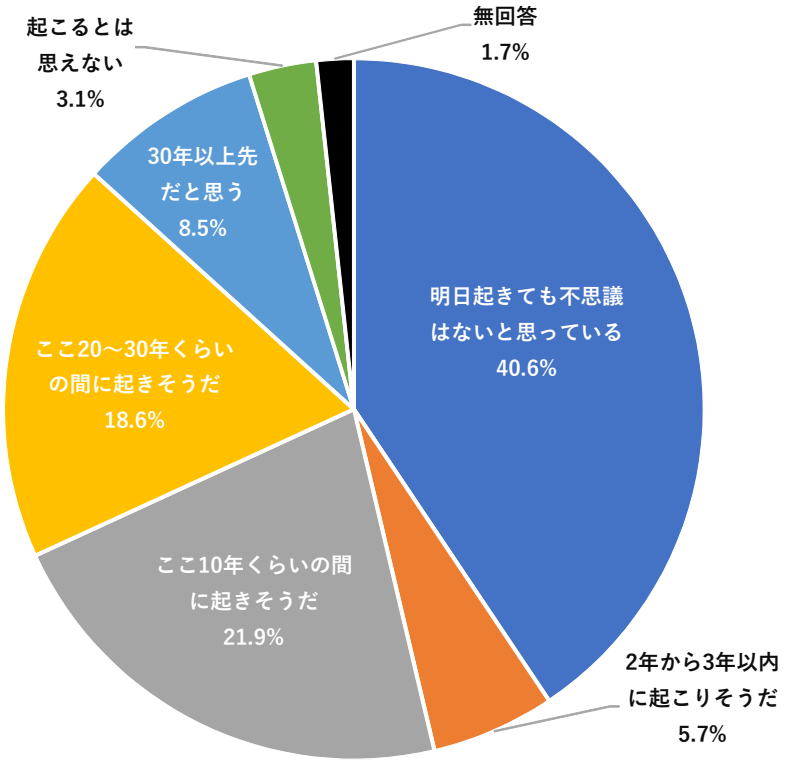


区域別の中央構造線・活断層地震の関心
（震度6強以上の揺れが想定される市町 N=1502、
震度6強以上の揺れが想定されていない市町村 N=521）

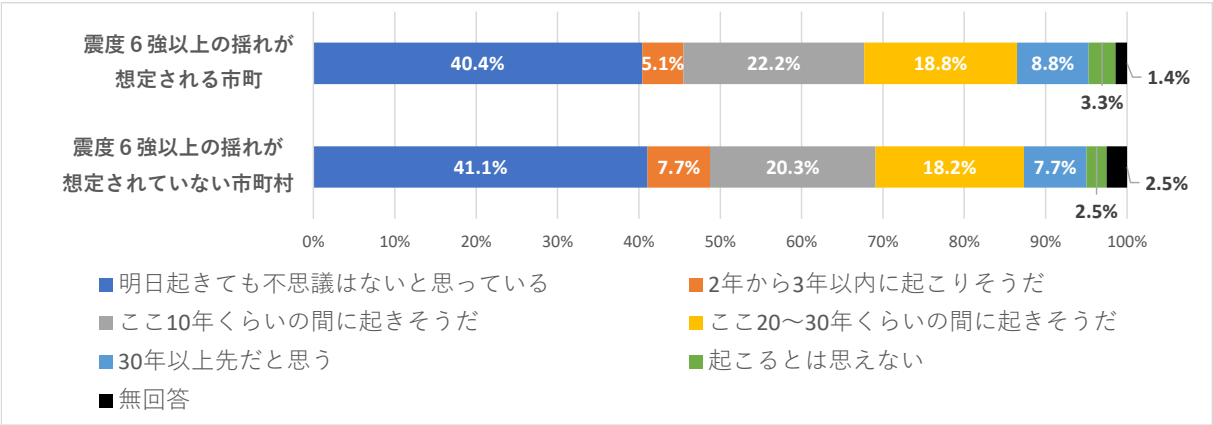
問 14　中央構造線・活断層地震が起こる可能性について、どのように思っていますか。
（最も近いものを、１つだけ○）

① 明日起きても不思議はないと思っている	② 2 年から 3 年以内に起こりそうだ
③ ここ 10 年くらいの間に起きそうだ	④ ここ 20～30 年くらいの間に起きそうだ
⑤ 30 年以上先だと思う	⑥ 起こるとは思えない

「①明日起きても不思議はないと思っている：４０．６％（４１．３％）」が最も高く、次いで「③ここ 10 年くらいの間に起きそうだ：２１．９％（２２．３％）」、「④ここ 20～30 年くらいの間に起きそうだ：１８．６％（１６．４％）」と続く。



中央構造線・活断層地震が起こる可能性（N=2032）



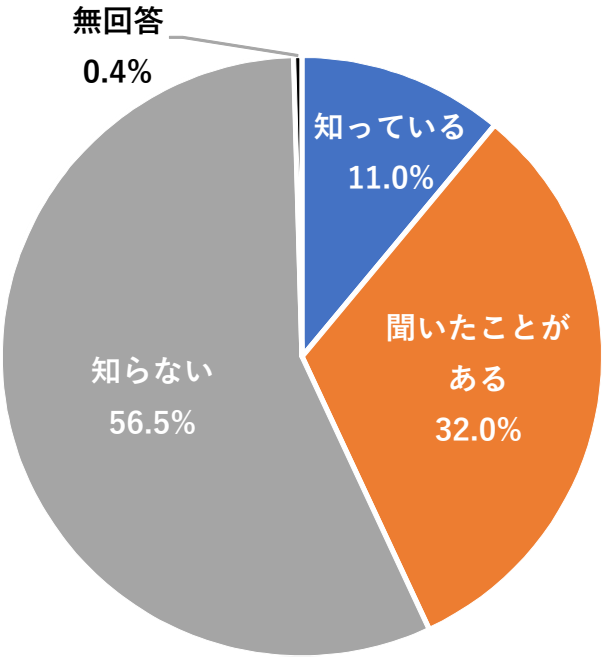
区域別の中央構造線・活断層地震が起こる可能性
（震度6強以上の揺れが想定される市町 N=1502、
震度6強以上の揺れが想定されていない市町村 N=521）

問 15　徳島県が「特定活断層調査区域」（※）を条例で定めていることを知っていますか。
（１つだけ○）

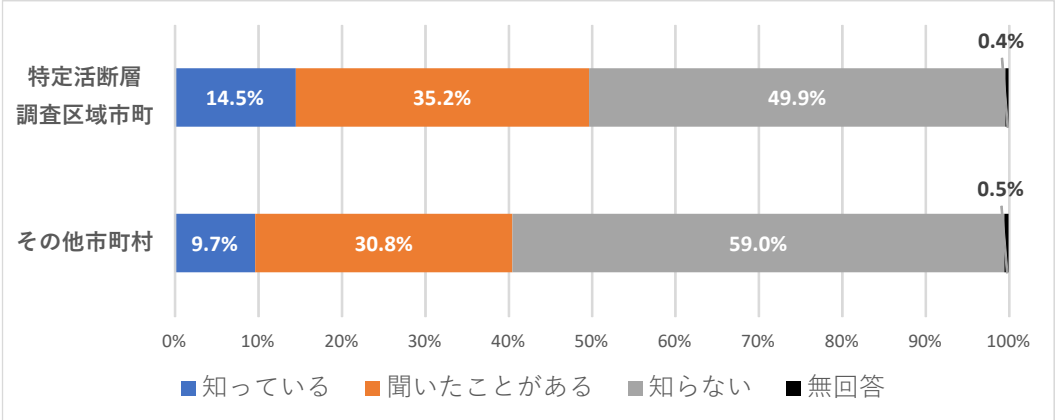
① 知っている	② 聞いたことがある	③ 知らない

※特定活断層調査区域
「徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例」に基づき、中央構造線・活断層地震発生時における地表面の「ずれ」による被害を軽減するために県が定めた区域

「③知らない：５６．５％（４４．８％）」が最も高く、次いで「②聞いたことがある：３２．０％（３４．２％）」、「①知っている：１１．０％（２０．４％）」と続く。
これらから、「知っている、聞いたことがある（①、②）」は、４３．０％（５４．６％）となる。



特定活断層調査区域の認知（N=2032）

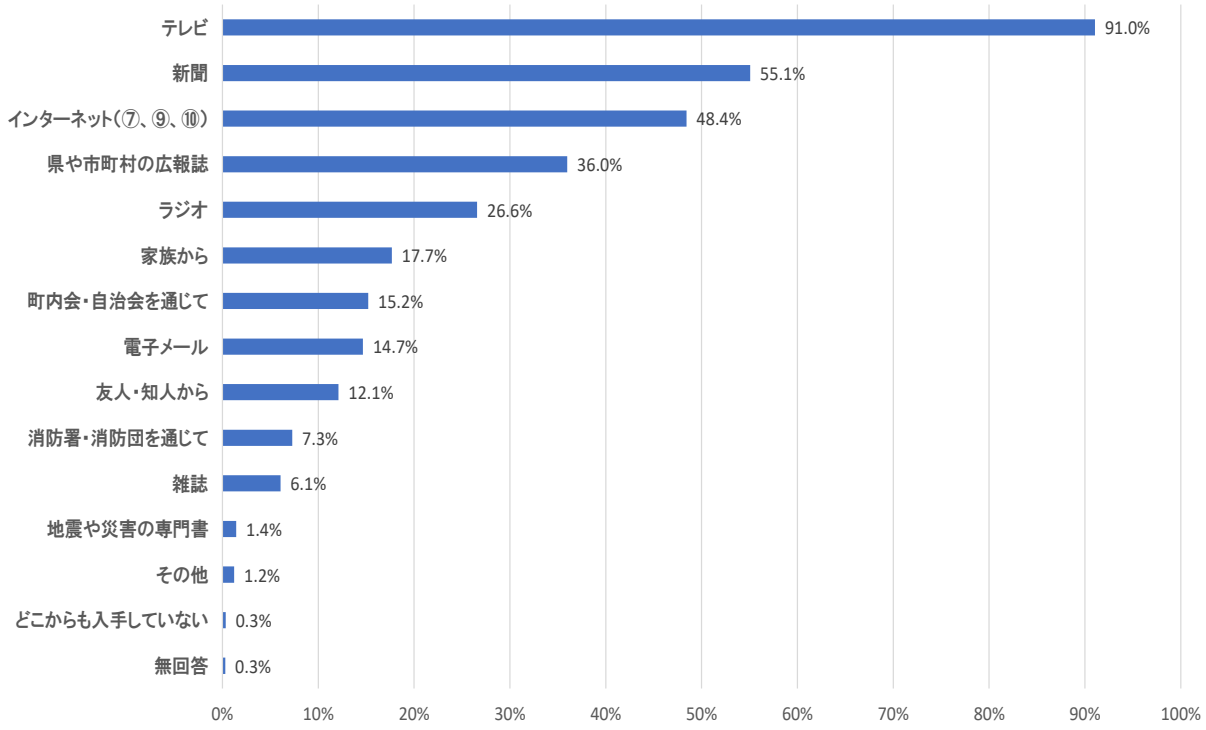


区域別の特定活断層調査区域の認知
（特定活断層調査区域市町　N=557、その他市町村　N=1466）

問 16　平常時に、防災に関する情報をどこから入手していますか。（当てはまるものすべてに○）

① テレビ	② ラジオ
③ 新聞	④ 雑誌
⑤ 地震や災害の専門書	⑥ 県や市町村の広報誌
⑦ Web サイト（ホームページ等）	⑧ 電子メール
⑨ 防災アプリ	⑩ SNS（Twitter、Facebook、LINE 等）
⑪ 家族から	⑫ 友人・知人から
⑬ 町内会・自治会を通じて	⑭ 消防署・消防団を通じて
⑮ どこからも入手していない	
⑯ その他（　　）	

「①テレビ：９１．０％（９２．２％）」が最も高く、次いで「③新聞：５５．１％（５９．３％）」、「⑦⑨⑩インターネット（Web サイト、防災アプリ、SNS）：４８．４％（３８．２％）」と続く。



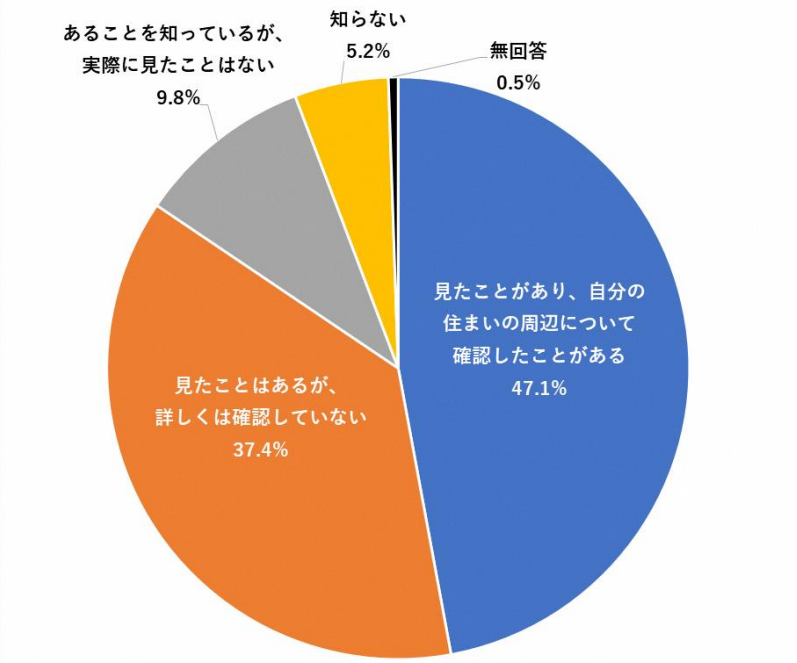
平常時の防災情報の入手方法（N=2032）

問 17　市町村などが作成しているお住まいの地域のハザードマップを見たことはありますか。（1つだけ○）

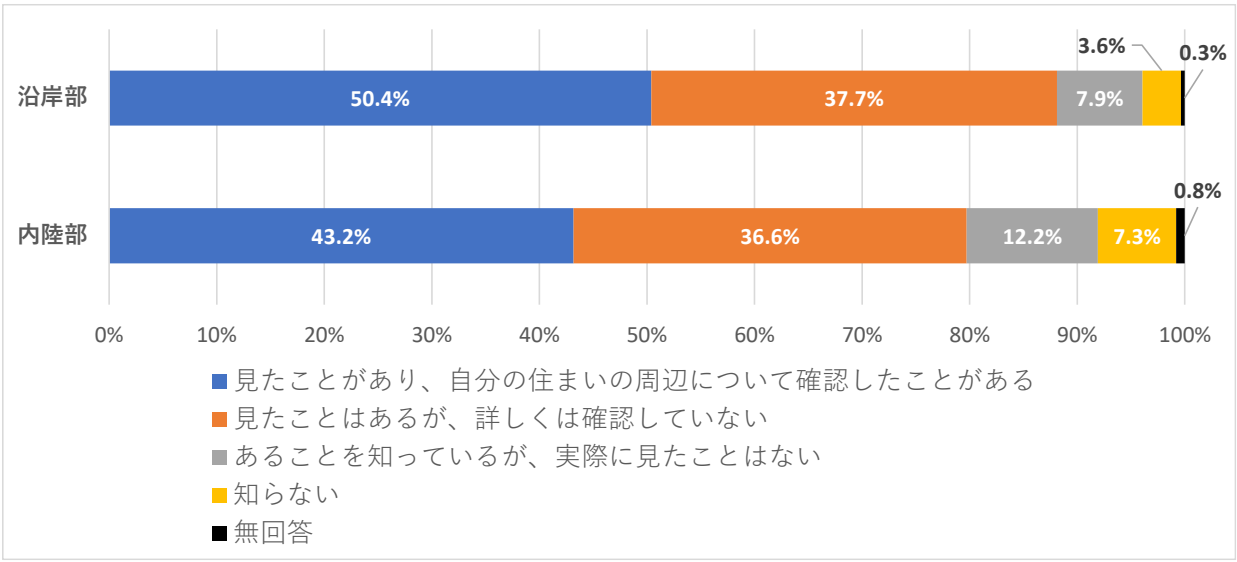
① 見たことがあり、自分の住まいの周辺について確認したことがある
② 見たことはあるが、詳しくは確認していない
③ あることを知っているが、実際に見たことはない
④ 知らない

「①見たことがあり、自分の住まいの周辺について確認したことがある：４７．１％（４１．３％）」が最も高く、次いで「②見たことはあるが、詳しくは確認していない：３７．４％（３３．６％）」、「③あることを知っているが、実際に見たことはない：９．８％（１４．０％）」と続く。

これらから、「見たことがある（①、②）」は、８４．５％（７４．９％）となる。



ハザードマップの認知（N=2032）



区域別のハザードマップの認知（沿岸部 N=1145、内陸部 N=878）

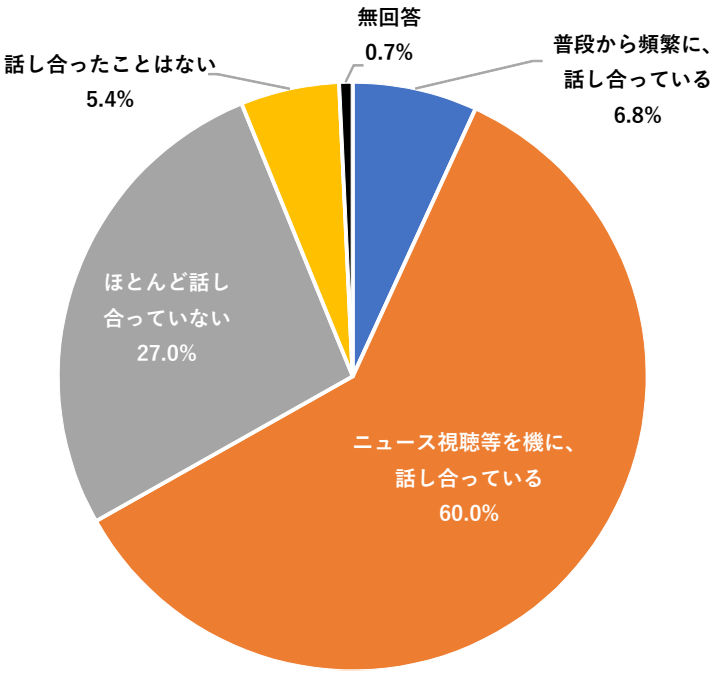
問 18　御家族と、地震等の災害について話し合ったことはありますか。（１つだけ○）

①　普段から頻繁に、話し合っている
②　ニュース視聴等を機に、話し合っている
③　ほとんど話し合っていない
④　話し合ったことはない

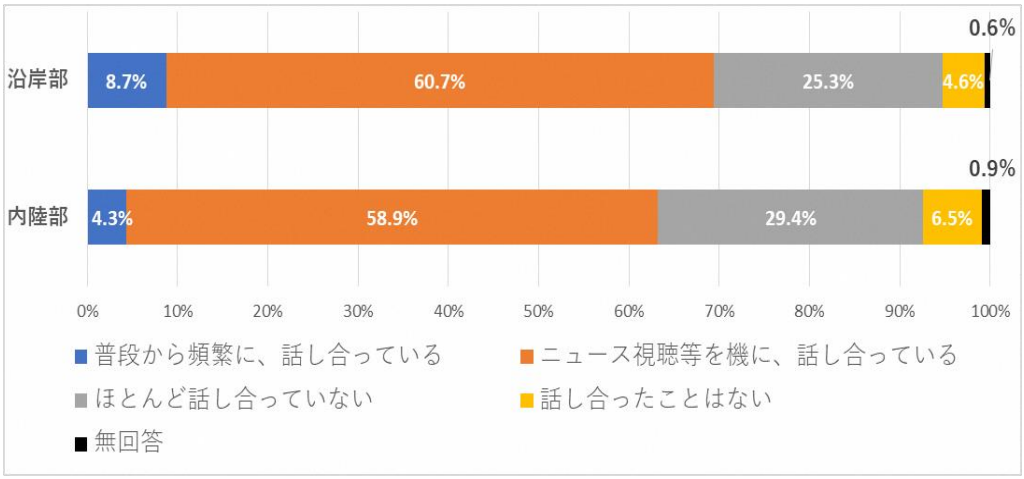
「②ニュース視聴等を機に、話し合っている：６０．０％（５６．９％）」が最も高く、次いで「③ほとんど話し合っていない：２７．０％（２１．０％※）」、「①普段から頻繁に、話し合っている：６．８％（７．２％）」と続く。

これらから、「話し合っている（①、②）」が、６６．８％（６４．１％）となる。

※前回の選択肢「最近は、話し合っていない」と比較



家族との地震等の災害についての話し合い（N=2032）



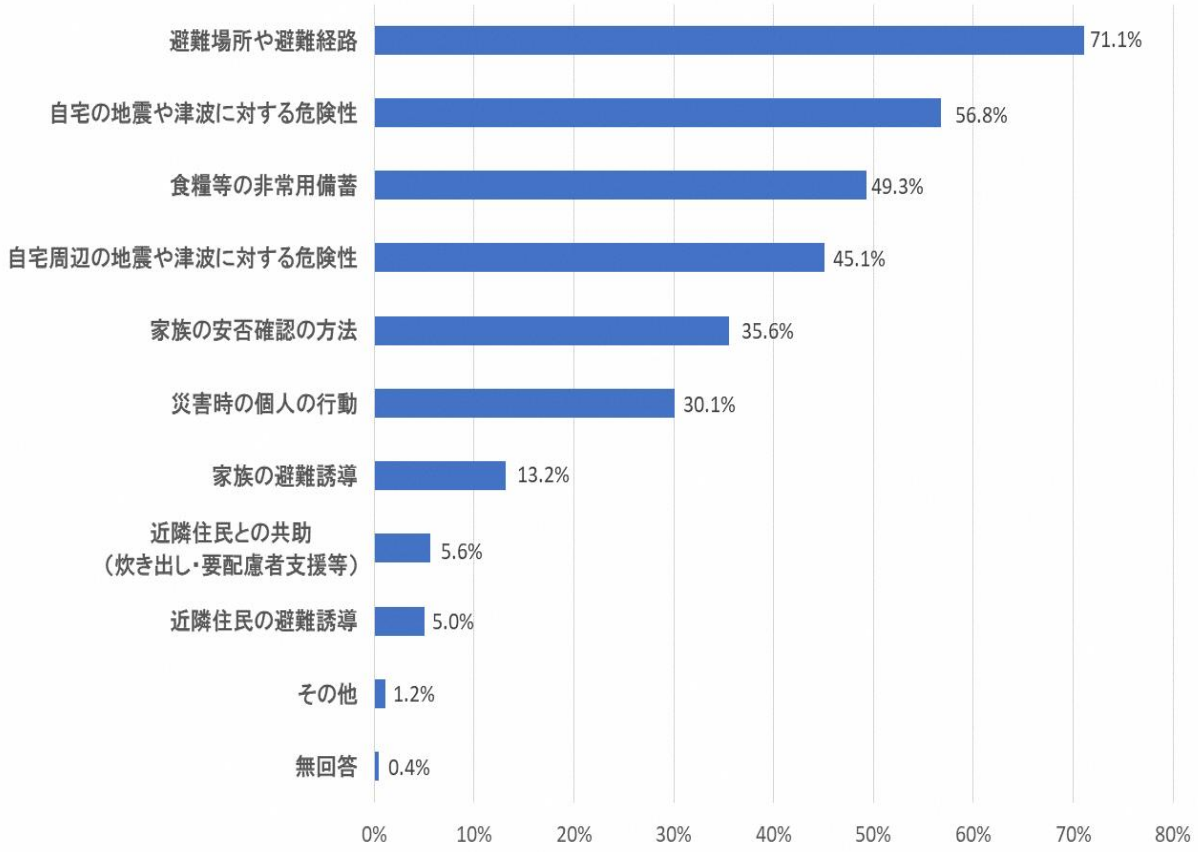
区域別の家族との地震等の災害についての話し合い
（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

問 18a 問 18 で「①普段から頻繁に、話し合っている」または「②ニュース視聴等を機に、話し合っている」と回答した方にお聞きします。

御家族と、どのようなことについて話し合っていますか。（当てはまるものすべてに○）

① 自宅の地震や津波に対する危険性	② 自宅周辺の地震や津波に対する危険性
③ 避難場所や避難経路	④ 食糧等の非常用備蓄
⑤ 災害時の個人の行動	⑥ 家族の安否確認の方法
⑦ 家族の避難誘導	⑧ 近隣住民の避難誘導
⑨ 近隣住民との共助（炊き出し・要配慮者支援等）	
⑩ その他（　　）	

「③避難場所や避難経路：７１．１％（６３．９％）」が最も高く、次いで「①自宅の地震や津波に対する危険性：５６．８％（６７．１％）」、「④食糧等の非常用備蓄：４９．３％（４４．７％）」と続く。



家族との地震等の災害についての話し合い内容（N=1358）

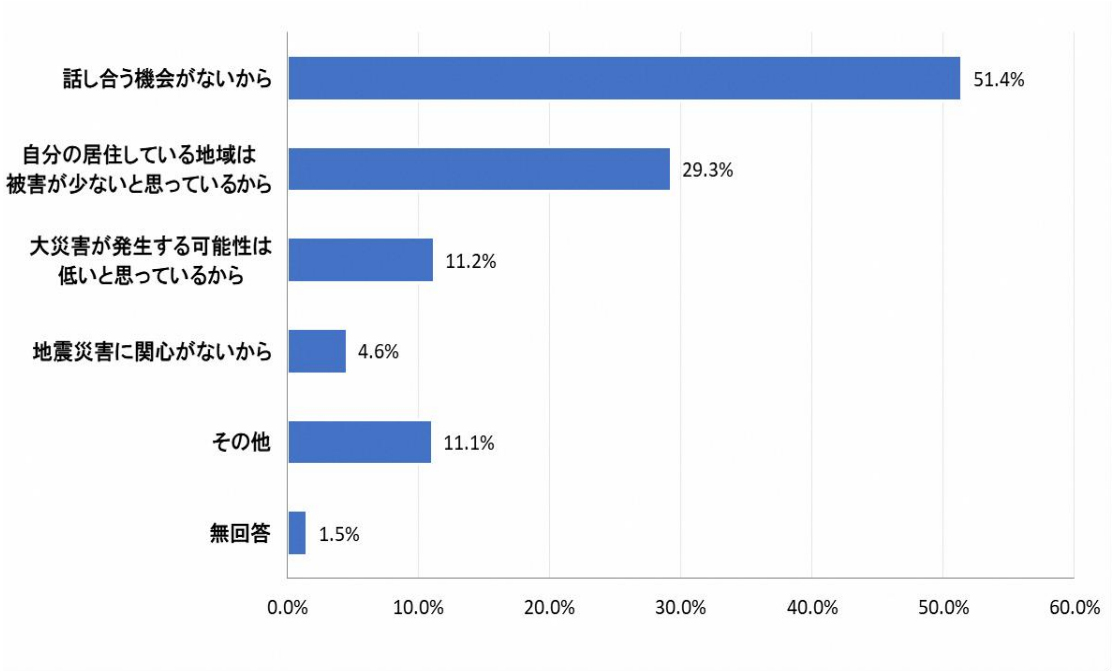
問 18b 問 18 で「③ほとんど話し合っていない」または「④話し合ったことはない」と回答した方にお聞きします。

話し合っていないのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① 話し合う機会がないから
② 大災害が発生する可能性は低いと思っているから
③ 自分の居住している地域は被害が少ないと思っているから
④ 地震災害に関心がないから
⑤ その他（ ）

「①話し合う機会がないから：５１．４％（５０．９％※）」が最も高く、次いで「③自分の居住している地域は被害が少ないと思っているから：２９．３％（１８．１％※）」、「②大災害が発生する可能性は低いと思っているから：１１．２％（６．４％※）」と続く。

※前回は単一回答方式で調査

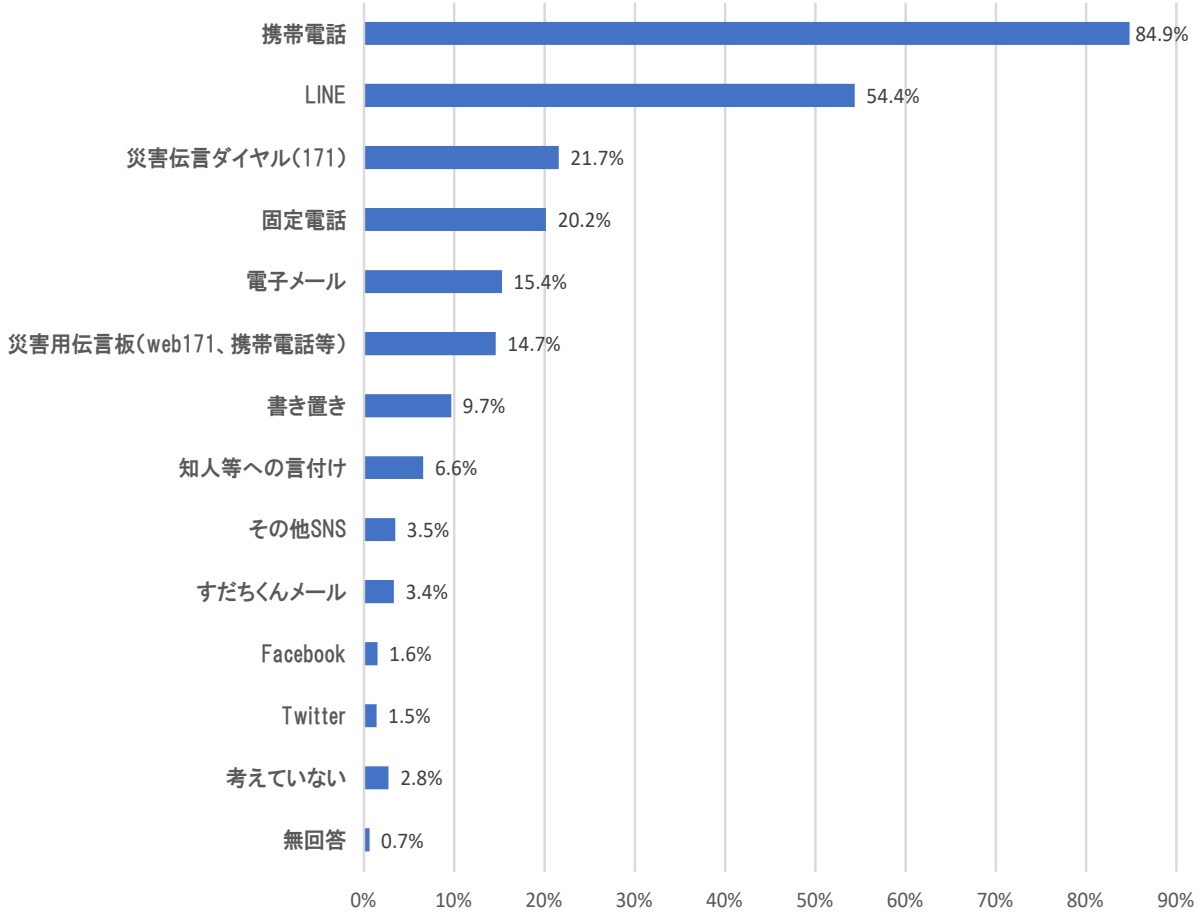


家族と地震等の災害について話し合っていない理由（N=659）

問 19　御家族等の安否確認には、以下のどの方法を使用しますか。（当てはまるものすべてに○）

① 災害伝言ダイヤル（171）	② 災害用伝言板（web171、携帯電話等）
③ すだちくんメール	④ 固定電話
⑤ 携帯電話	⑥ 電子メール
⑦ Twitter	⑧ Facebook
⑨ LINE	⑩ その他 SNS
⑪ 知人等への言付け	⑫ 書き置き
⑬ 考えていない	

「⑤携帯電話：８４．９％（７７．８％）」が最も高く、次いで「⑨ＬＩＮＥ：５４．４％（４０．５％）」、「①災害伝言ダイヤル（171）：２１．７％（３４．３％）」と続く。

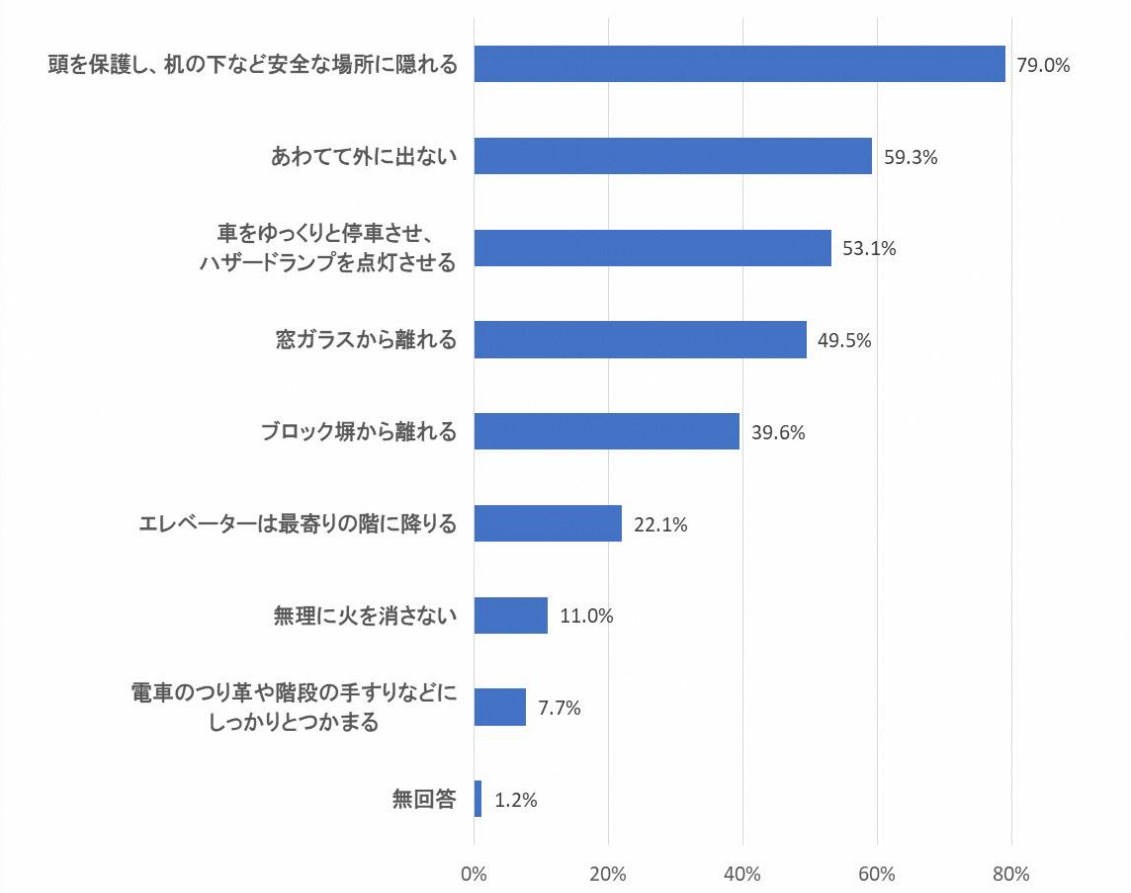


災害時における家族の安否確認方法（N=2032）

問 20　もしも“緊急地震速報”が発表された時、あなたは大きな揺れに備えるための行動として、何を心がけたいですか。（当てはまるものすべてに○）

① 頭を保護し、机の下など安全な場所に隠れる	② 無理に火を消さない
③ あわてて外に出ない	④ 窓ガラスから離れる
⑤ ブロック塀から離れる	⑥ エレベーターは最寄りの階に降りる
⑦ 車をゆっくりと停車させ、ハザードランプを点灯させる	
⑧ 電車のつり革や階段の手すりなどにしっかりとつかまる	

「①頭を保護し、机の下など安全な場所に隠れる：７９．０％（８１．５％）」が最も高く、次いで「③あわてて外に出ない：５９．３％（５９．２％）」、「⑦車をゆっくりと停車させ、ハザードランプを点灯させる：５３．１％（６０．７％）」と続く。

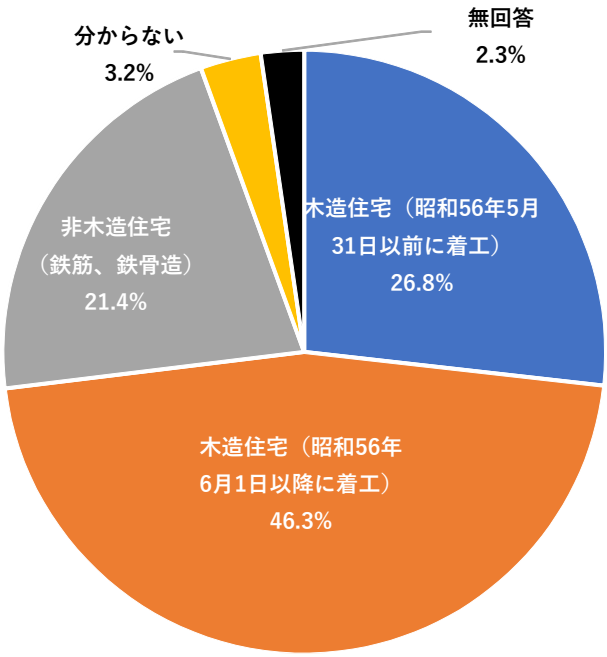


緊急地震速報発表時の行動（N=2032）

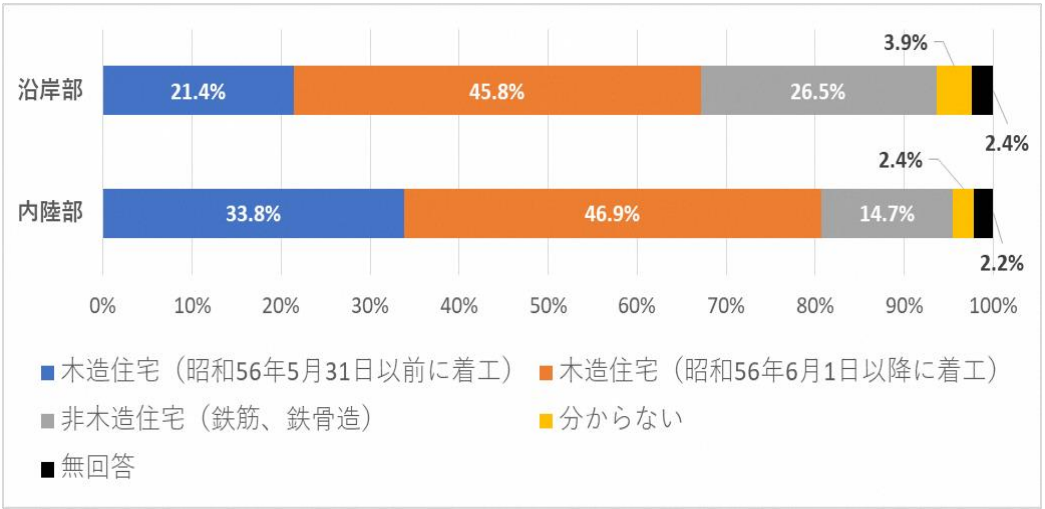
問 21　御自宅は、次のどれに当てはまりますか。（１つだけ○）

① 木造住宅（昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工）
② 木造住宅（昭和 56 年 6 月 1 日以降に着工）
③ 非木造住宅（鉄筋、鉄骨造）
④ 分からない

「②木造住宅（昭和 56 年 6 月 1 日以降に着工）：４６．３％（３８．１％）」が最も高く、次いで「①木造住宅（昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工）：２６．８％（３１．５％）」、「③非木造住宅（鉄筋、鉄骨造）：２１．４％（２４．８％）」と続く。



自宅建物の構造（N=2032）



区域別の自宅建物の構造（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

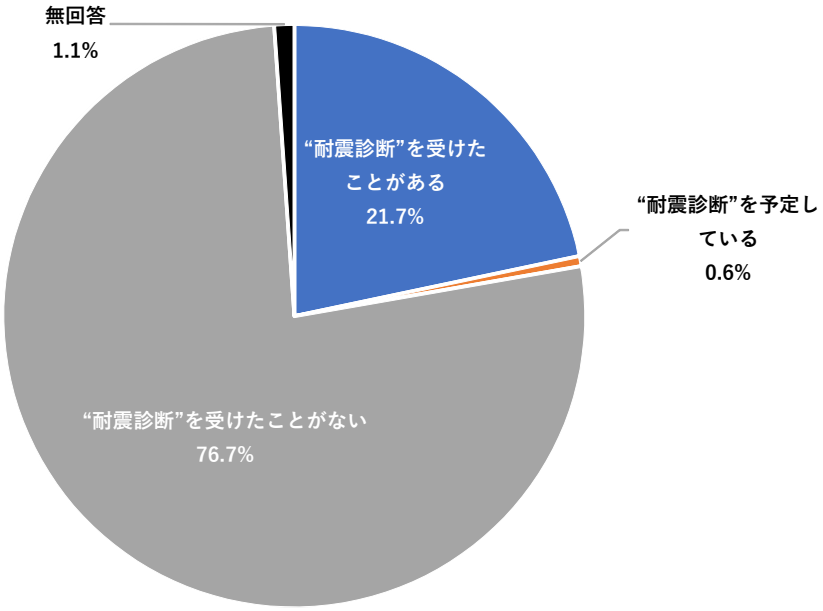
問 21a 問 21 で「①木造住宅（昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工）」と回答した方にお聞きします。
御自宅について、専門家による“耐震診断”を受けたことがありますか。（１つだけ○）

① “耐震診断”を受けたことがある
② “耐震診断”を予定している
③ “耐震診断”を受けたことがない

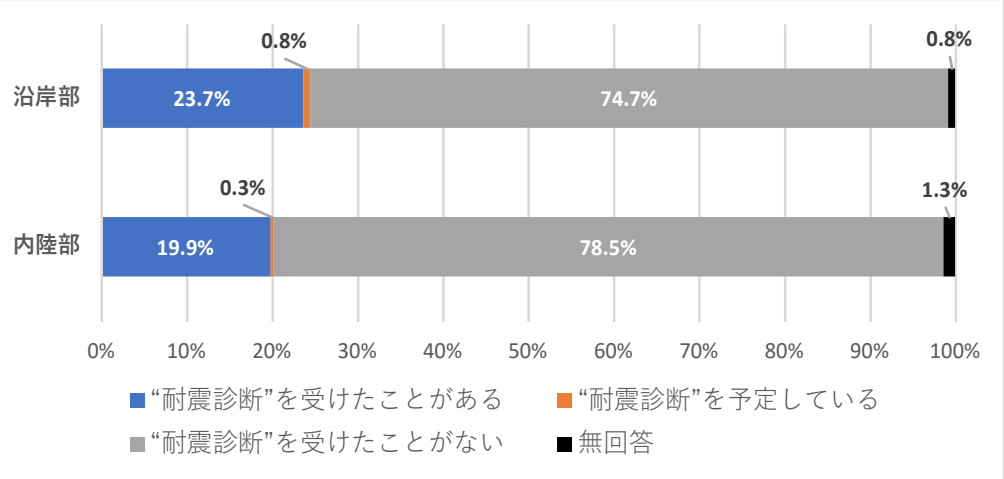
※耐震診断：地震の揺れに対する建物の強さの診断

「③“耐震診断”を受けたことがない：７６．７％（７２．５％）」が最も高く、次いで「①“耐震診断”を受けたことがある：２１．７％（２３．５％）」、「②“耐震診断”を予定している：０．６％（２．０％）」と続く。

これらから、「“耐震診断”を受けた、受ける予定（①、②）」は、２２．３％（２５．５％）となる。



耐震診断の受診状況（N=544）



区域別の耐震診断の受診状況（沿岸部 N=245、内陸部 N=297）

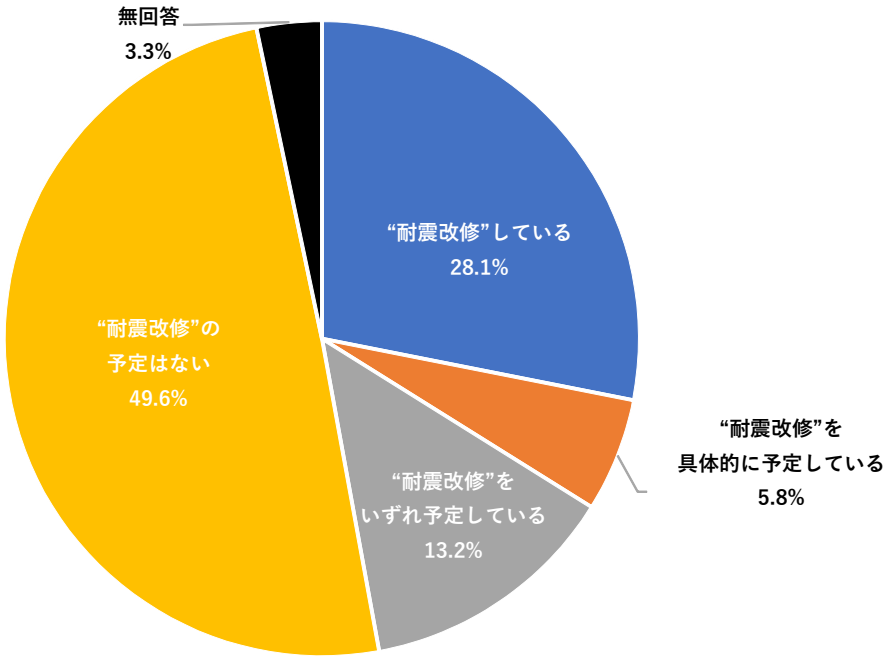
問 21b 問 21a で「①“耐震診断”を受けたことがある」または「②“耐震診断”を予定している」と回答した方にお聞きします。

御自宅について、“耐震改修”を実施（または予定）されていますか。（１つだけ○）

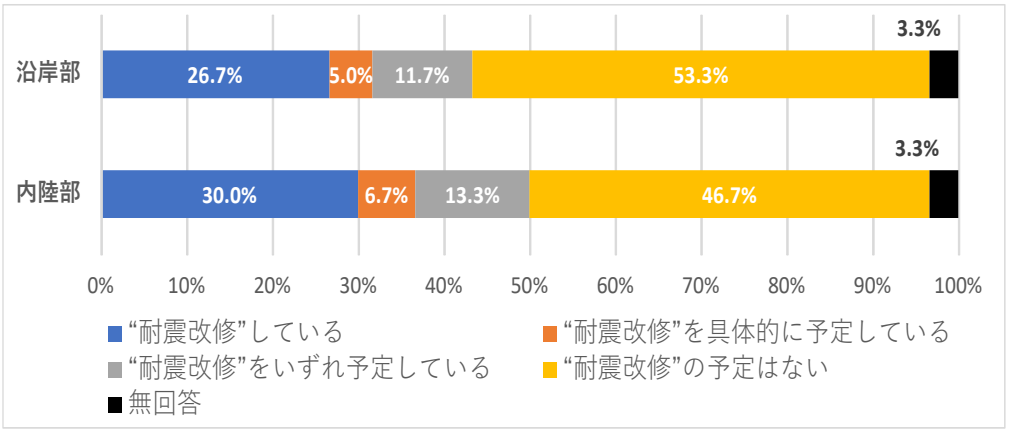
① “耐震改修”している
② “耐震改修”を具体的に予定している
③ “耐震改修”をいずれ予定している
④ “耐震改修”の予定はない

「④“耐震改修”の予定はない：４９．６％（７４．５％）」が最も高く、次いで「①“耐震改修”している：２８．１％（９．７％）」、「③“耐震改修”をいずれ予定している：１３．２％（１２．８％）」と続く。

なお、「“耐震改修”を実施、予定している（①、②、③）」は、４７．１％（２３．４％）となる。



耐震改修の実施状況（N=121）



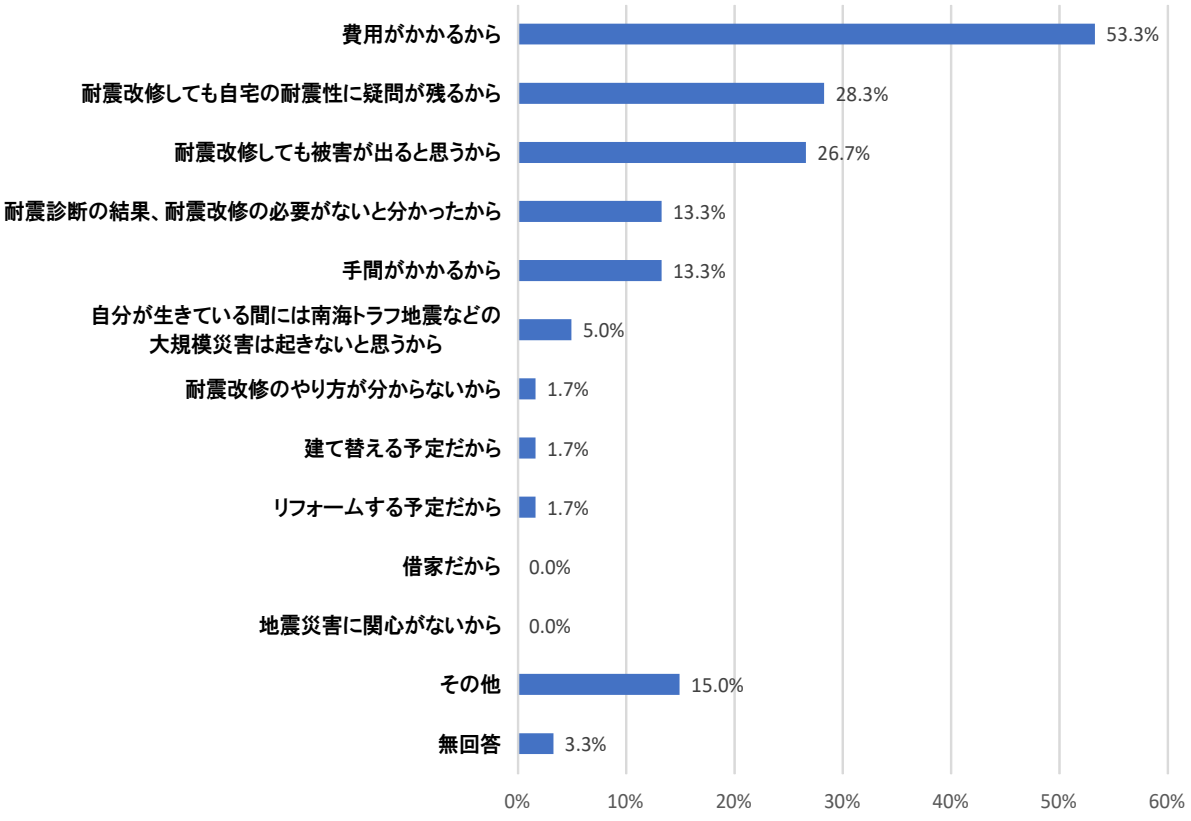
区域別の耐震改修の実施状況（沿岸部 N=60、内陸部 N=60）

問 21c 問 21b で「④“耐震改修”の予定はない」と回答した方にお聞きします。

“耐震改修”の予定はないのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① 耐震診断の結果、耐震改修の必要がないと分かったから	
② 耐震改修しても自宅の耐震性に疑問が残るから	
③ 借家だから	④ 手間がかかるから
⑤ 費用がかかるから	⑥ 耐震改修のやり方が分からないから
⑦ 建て替える予定だから	⑧ リフォームする予定だから
⑨ 耐震改修しても被害が出ると思うから	
⑩ 自分が生きている間には南海トラフ地震などの大規模災害は起きないと思うから	
⑪ 地震災害に関心がないから	
⑫ その他（　　）	

「⑤費用がかかるから：５３．３％（５０．０％）」が最も高く、次いで「②耐震改修しても自宅の耐震性に疑問が残るから：２８．３％（２３．４％）」、「⑨耐震改修しても被害が出ると思うから：２６．７％（４７．６％）」と続く。



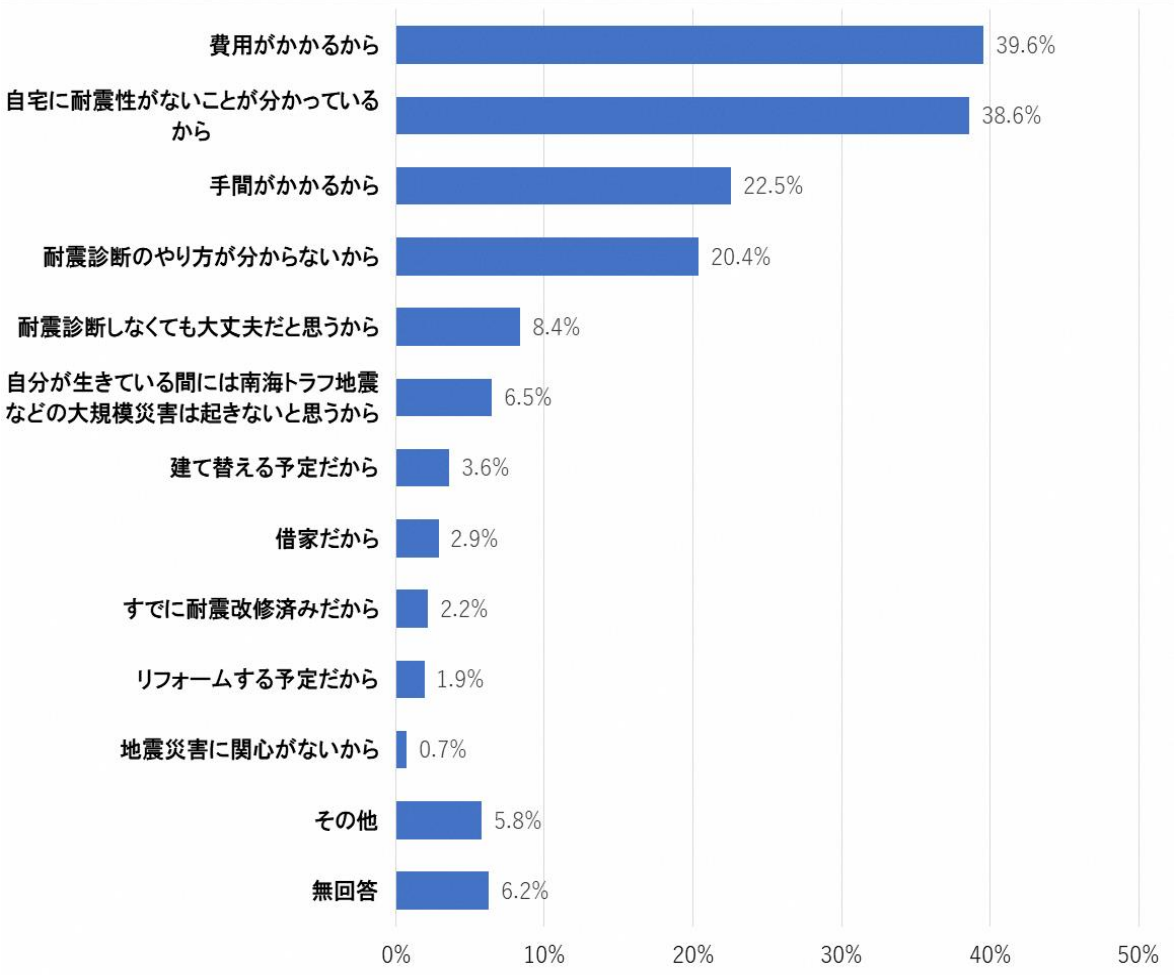
耐震改修を予定していない理由（N=60）

問 21d 問 21a で「③“耐震診断”を受けたことはない」と回答した方にお聞きします。

“耐震診断”を受けたことがないのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① すでに耐震改修済みだから	② 自宅に耐震性がないことが分かっているから
③ 耐震診断しなくても大丈夫だと思うから	④ 借家だから
⑤ 手間がかかるから	⑥ 費用がかかるから
⑦ 耐震診断のやり方が分からないから	⑧ 建て替える予定だから
⑨ リフォームする予定だから	
⑩ 自分が生きている間には南海トラフ地震などの大規模災害は起きないと思うから	
⑪ 地震災害に関心がないから	⑫ その他（　　）

「⑥費用がかかるから：３９．６％（３４．５％）」が最も高く、次いで「②自宅に耐震性がないことが分かっているから：３８．６％（３３．１％）」、「⑤手間がかかるから：２２．５％（２８．０％）」と続く。



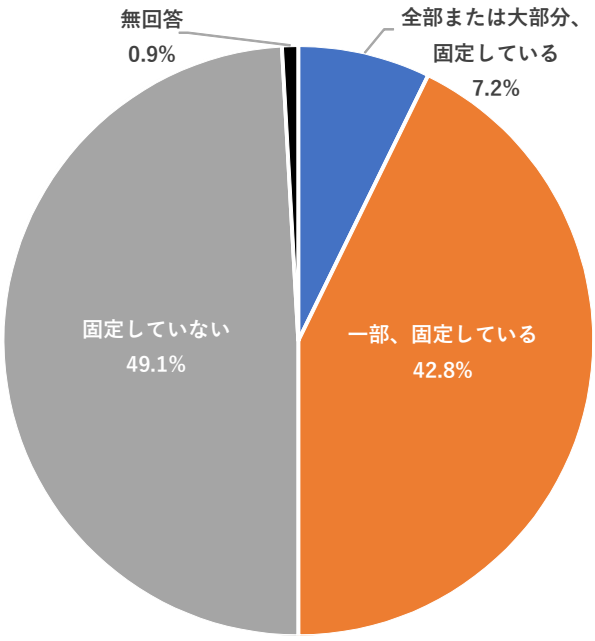
耐震診断を受診しない理由（N=417）

問 22　御自宅では家具を固定していますか。（１つだけ○）

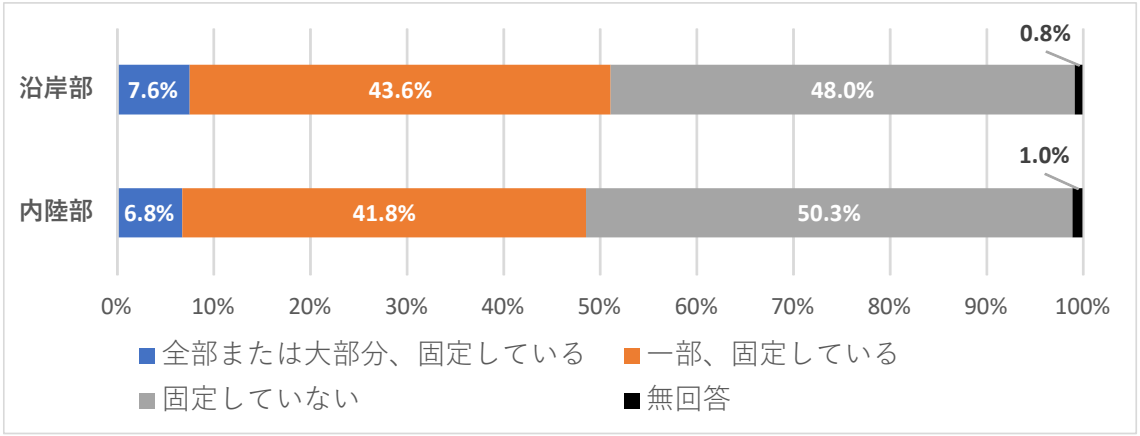
①　全部または大部分、固定している
②　一部、固定している
③　固定していない

「③固定していない：４９．１％（４３．４％）」が最も高く、次いで「②一部、固定している：４２．８％（４６．０％）」、「①全部または大部分、固定している：７．２％（８．４％）」と続く。

これらから、「固定している（①、②）」は、５０．０％（５４．４％）となる。



自宅の家具の固定状況（N=2032）



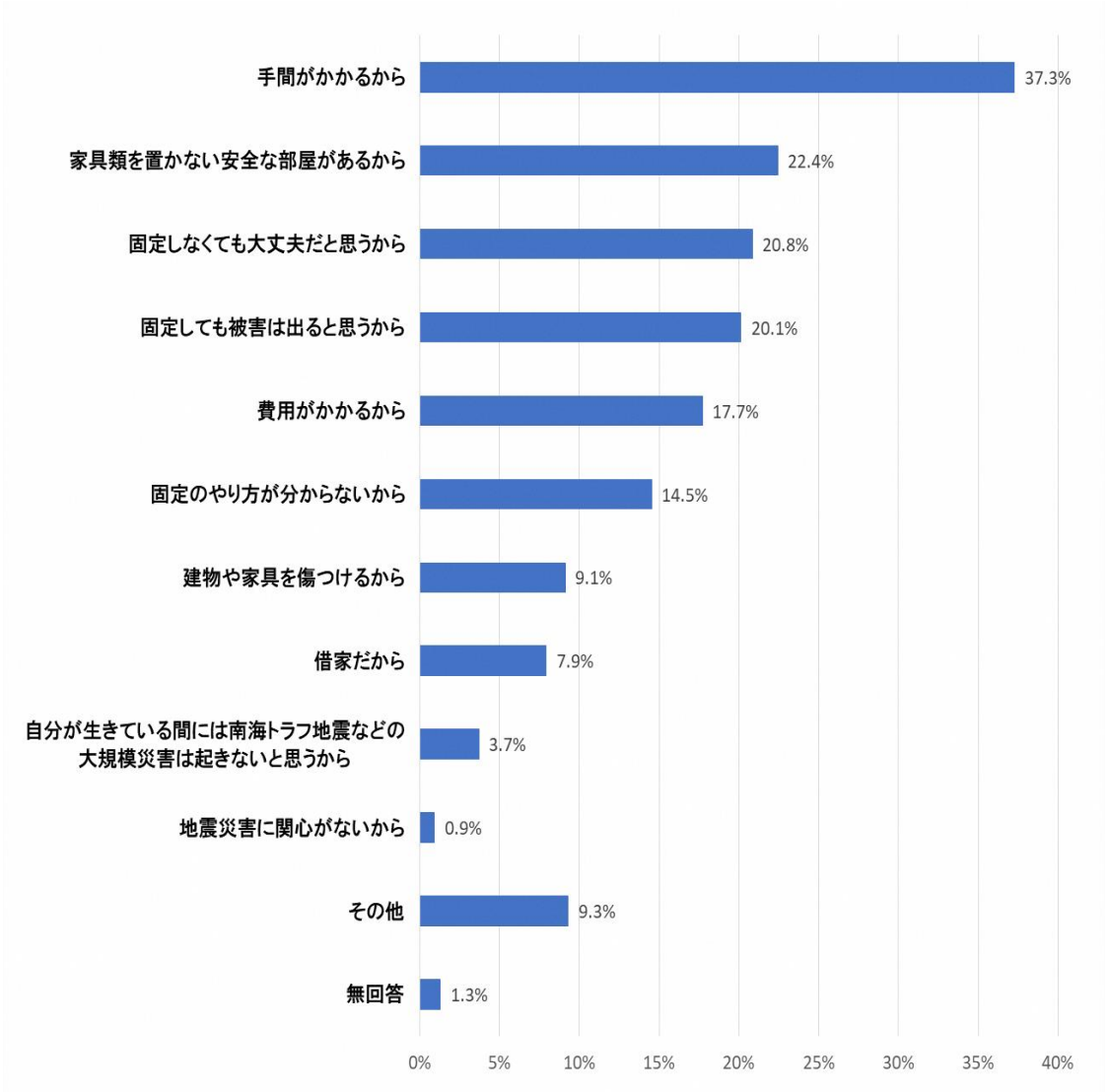
区域別の自宅の家具の固定状況（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

問 22a 問 22 で「③固定していない」と回答した方にお聞きします。

固定していないのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① 建物や家具を傷つけるから	② 固定しなくても大丈夫だと思うから
③ 借家だから	④ 手間がかかるから
⑤ 費用がかかるから	⑥ 固定のやり方が分からないから
⑦ 家具類を置かない安全な部屋があるから	⑧ 固定しても被害は出ると思うから
⑨ 自分が生きている間には南海トラフ地震などの大規模災害は起きないと思うから	
⑩ 地震災害に関心がないから	
⑪ その他（　　）	

「④手間がかかるから：３７．３％（３８．０％）」が最も高く、次いで「⑦家具類を置かない安全な部屋があるから：２２．４％（１７．１％）」、「②固定しなくても大丈夫だと思うから：２０．８％（１６．５％）」と続く。



自宅の家具の固定をしていない理由（N=998）

問 23　御自宅の敷地にあるブロック塀や石塀、門柱などの安全性について点検していますか。
（１つだけ○）

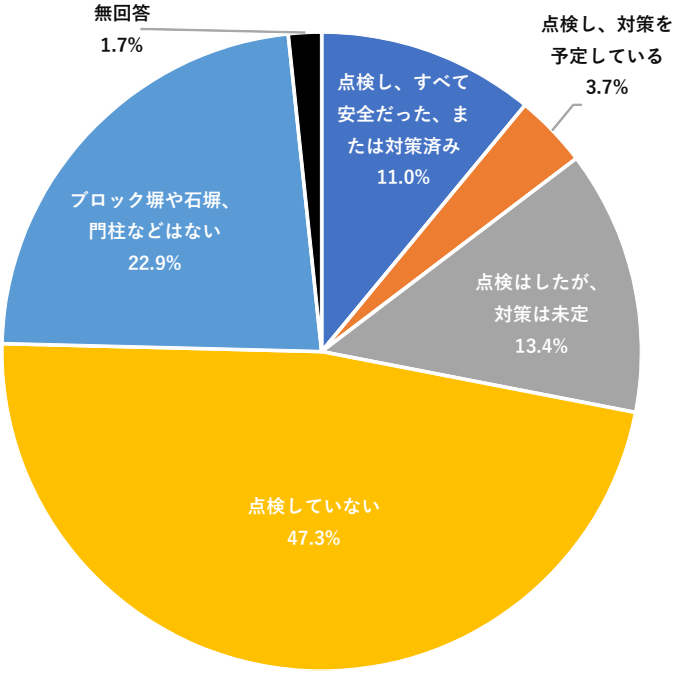
①　点検し、すべて安全だった、または対策済み
②　点検し、対策を予定している
③　点検はしたが、対策は未定
④　点検していない
⑤　ブロック塀や石塀、門柱などはない

（参考）危険なブロック塀等の対策例：危険なブロック塀等の撤去、
軽量なフェンスや生け垣などへの改修等

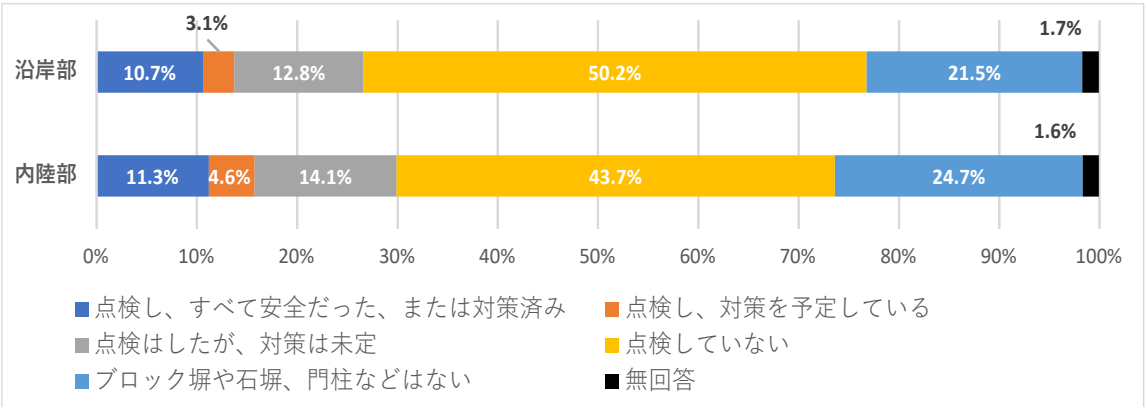
【新設問】

「④点検していない：４７．３％」が最も高く、次いで「⑤ブロック塀や石塀、門柱などはない：２２．９％」、「③点検はしたが、対策は未定：１３．４％」と続く。

なお、「ブロック塀等の安全点検を実施し、対策している、対策予定（①、②）」は、１４．７％となる。



自宅のブロック塀等の安全点検及び対策実施状況（N=2032）

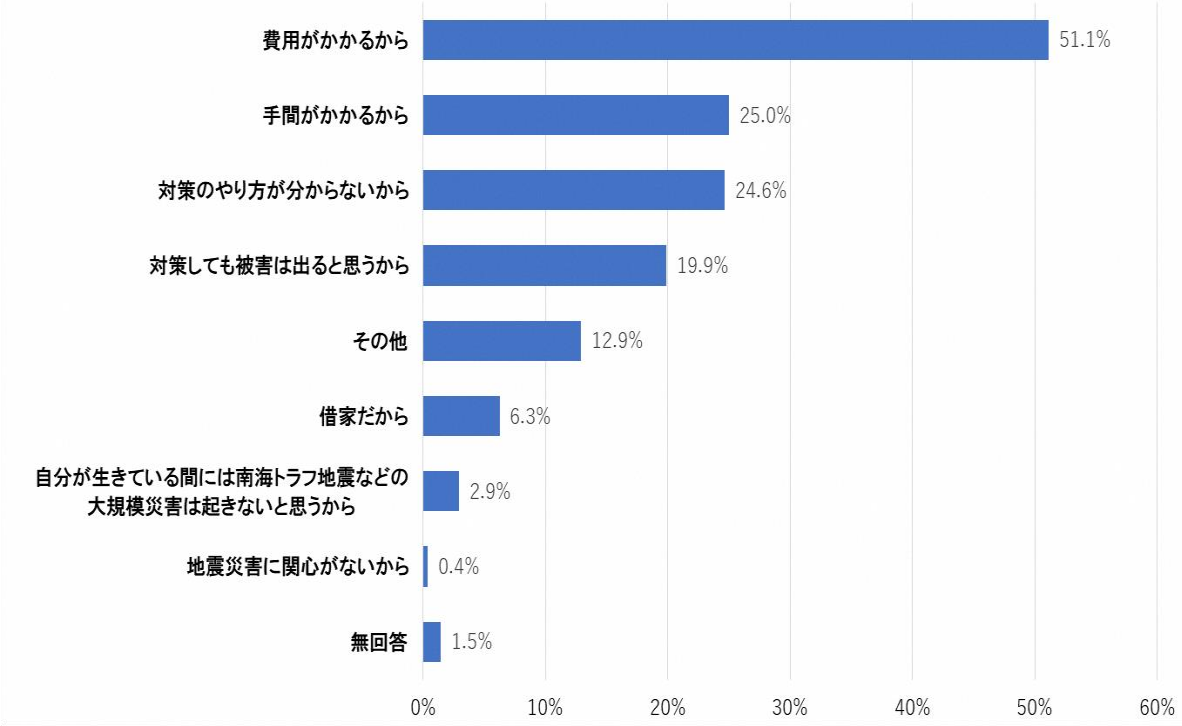


区域別の自宅のブロック塀等の安全点検及び対策実施状況
（沿岸部 N=1145、内陸部 N=878）

問 23a 問 23 で「③点検はしたが、対策は未定」と回答した方にお聞きします。
対策をしていないのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① 借家だから	② 手間がかかるから
③ 費用がかかるから	④ 対策のやり方が分からないから
⑤ 対策しても被害は出ると思うから	
⑥ 自分が生きている間には南海トラフ地震などの大規模災害は起きないと思うから	
⑦ 地震災害に関心がないから	
⑧ その他（ ）	

【新設問】
「③費用がかかるから：５１．１％」が最も高く、次いで「②手間がかかるから：２５．０％」、「④対策のやり方が分からないから：２４．６％」と続く。



自宅のブロック塀等の安全対策をしていない理由（N=272）

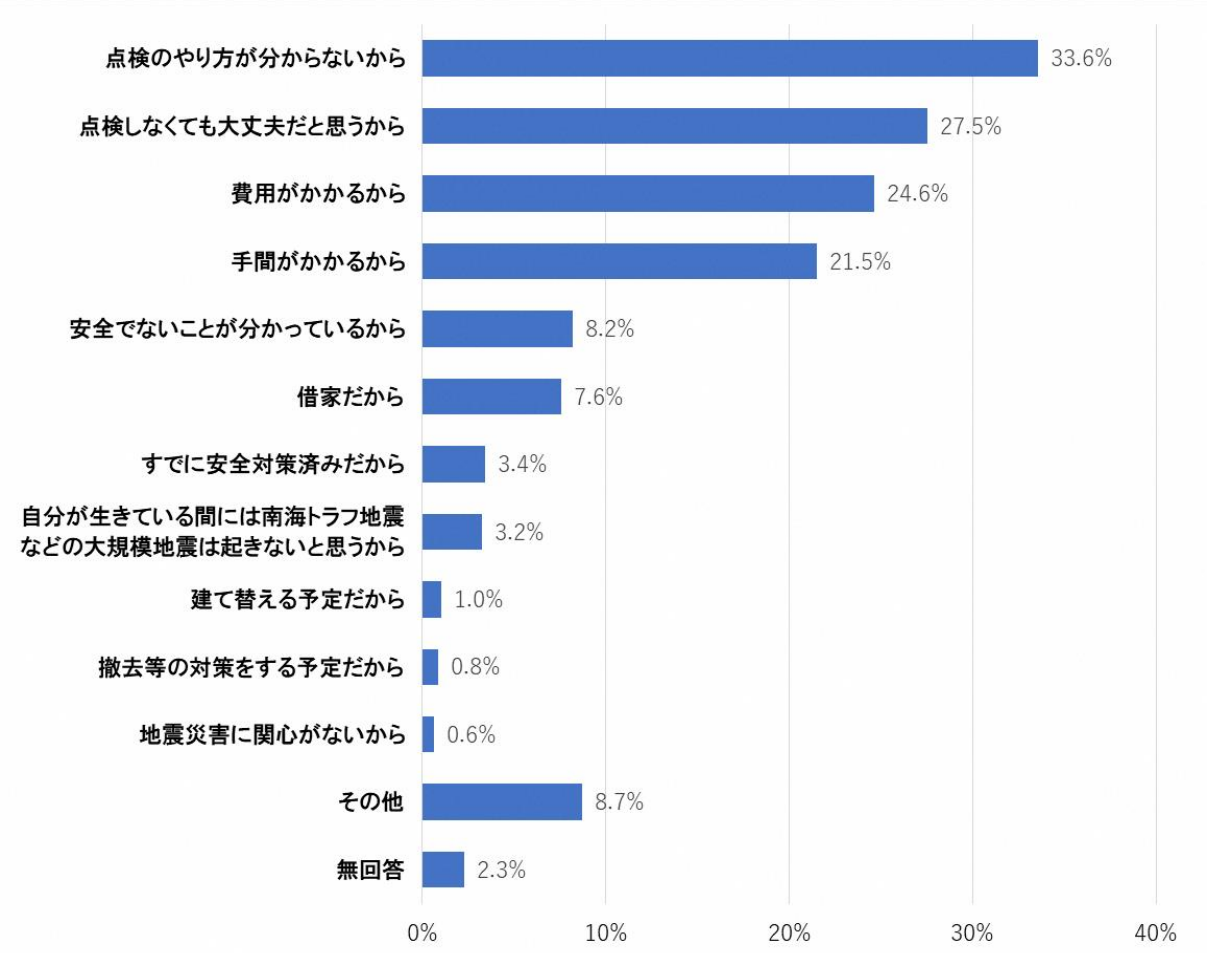
問 23b 問 23 で「④点検していない」と回答した方にお聞きします。

点検をしていないのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① すでに安全対策済みだから	② 安全でないことが分かっているから
③ 点検しなくても大丈夫だと思うから	④ 借家だから
⑤ 手間がかかるから	⑥ 費用がかかるから
⑦ 点検のやり方が分からないから	⑧ 撤去等の対策をする予定だから
⑨ 建て替える予定だから	
⑩ 自分が生きている間には南海トラフ地震などの大規模地震は起きないと思うから	
⑪ 地震災害に関心がないから	
⑫ その他（　　）	

【新設問】

「⑦点検のやり方が分からないから：３３．６％」が最も高く、次いで「③点検しなくても大丈夫だと思うから：２７．５％」、「⑥費用がかかるから：２４．６％」と続く。



自宅のブロック塀等の安全点検をしていない理由（N=962）

問 24　災害時の備えとして最低でも１人当たり３日分の「水・食糧」を備蓄することが推奨されていますが、あなたのお宅では、おおよそ何日分の「水・食糧」を備蓄していますか。

（水、食糧それぞれ１つだけ○）

水	①　１日分	②　２日分	③　３日分
	④　4～6 日分	⑤　７日分以上	⑥　準備していない
食糧	①　１日分	②　２日分	③　３日分
	④　4～6 日分	⑤　７日分以上	⑥　準備していない

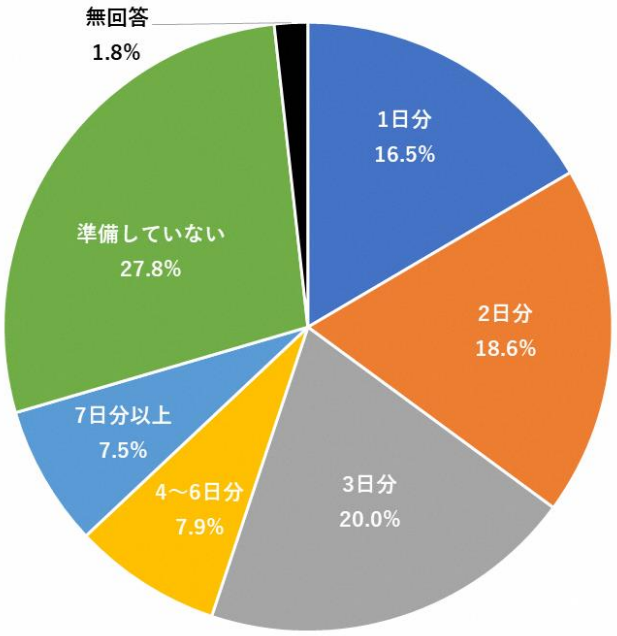
（参考）御家族３人の場合に推奨される備蓄量：

水　（１人１日３リットル　×　３人　）×３日　＝　27 リットル

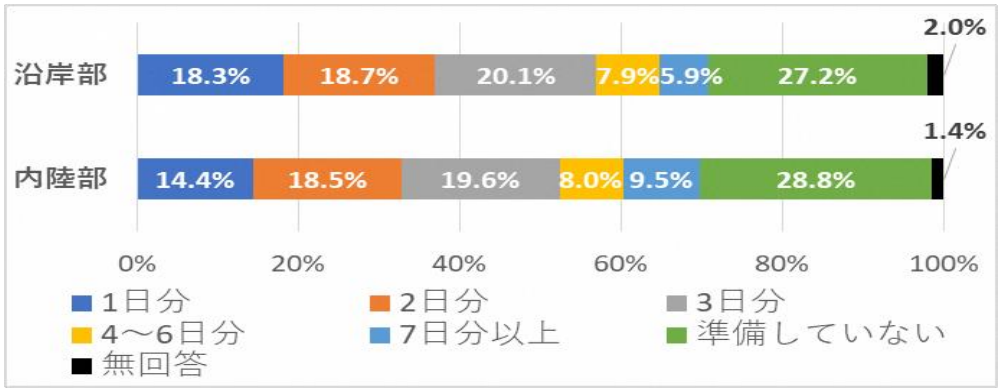
食糧　（１人１日２食　　×　３人　）×３日　＝　18 食

水の備蓄については、「⑥準備していない：２７．８％（２８．８％）」が最も高く、次いで「③３日分：２０．０％（１９．９％）」、「②２日分：１８．６％（１８．７％）」と続く。

なお、「備蓄している（①～⑤）」は、７０．５％（６８．８％）となる。



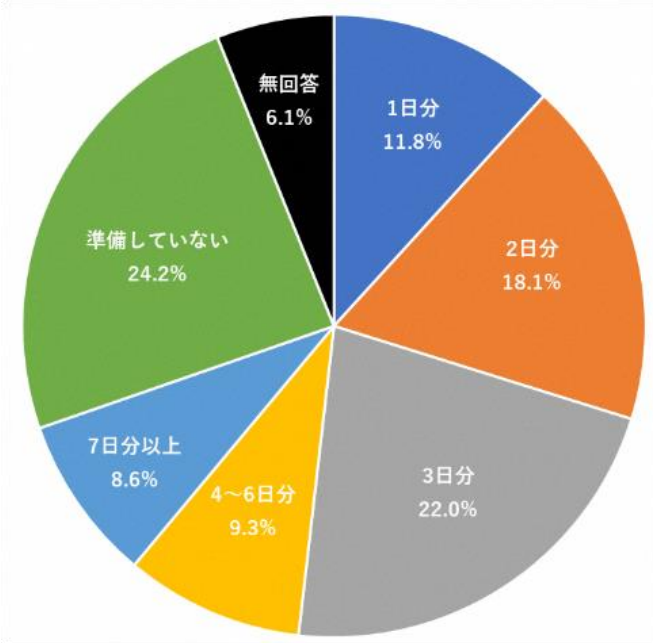
水の備蓄（N=2032）



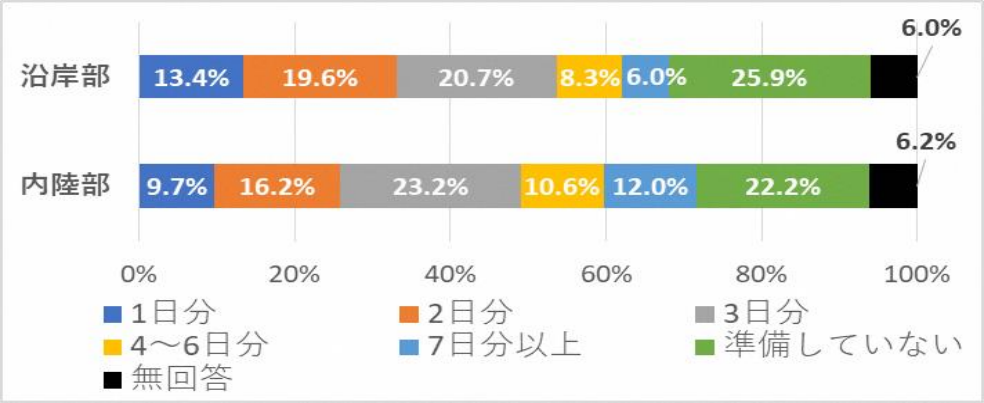
区域別の水の備蓄（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

食糧の備蓄については、「⑥準備していない：２４．２％（２８．２％）」が最も高く、次いで「③３日分：２２．０％（２３．０％）」、「②２日分：１８．１％（２０．７％）」と続く。

なお、「備蓄している（①～⑤）」は、６９．８％（７０．６％）となる。



食糧の備蓄（N=2032）



区域別の食糧の備蓄（沿岸部 N=1145、内陸部 N=878）

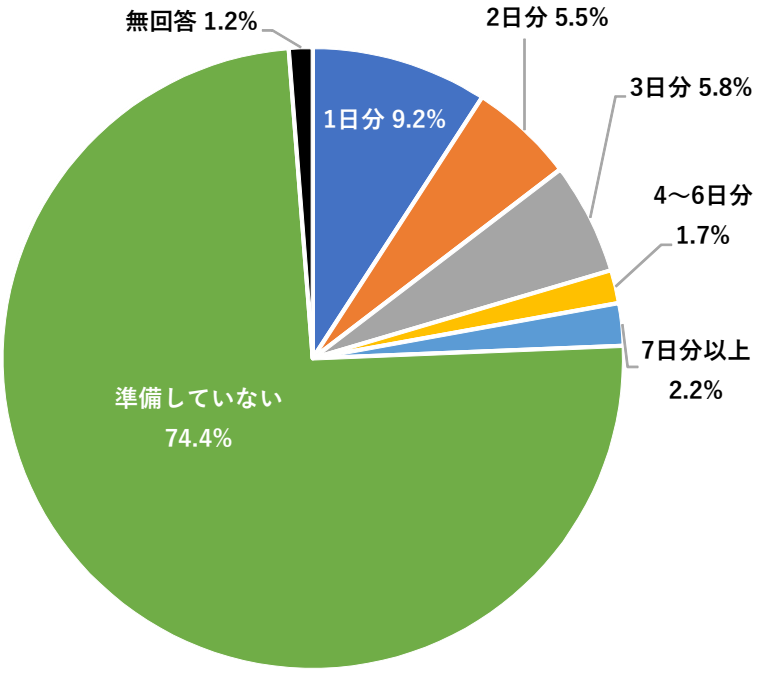
問 25　徳島県が策定した「災害時快適トイレ計画」では、自助の備えとして１人１日当たり５回分の携帯トイレを最低でも３日間備蓄することとなっていますが、あなたのお宅では「携帯トイレ・簡易トイレ」などの災害用トイレを何日分備蓄していますか。（１つだけ○）

①　１日分	②　２日分	③　３日分
④　4～6 日分	⑤　７日分以上	⑥　準備していない

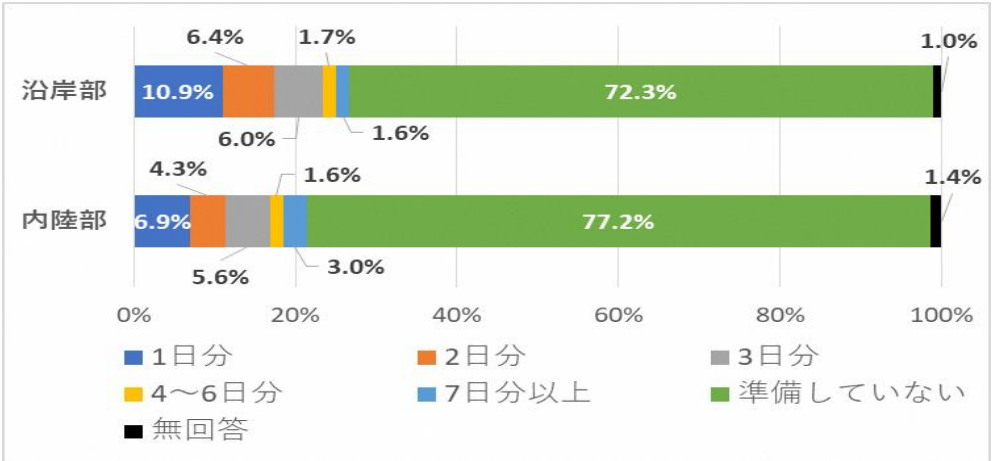
（参考）御家族３人の場合に必要な備蓄量：（１人１日５回　×　３人　）×３日　＝　45 回

「⑥準備していない：７４．４％（８０．３％）」が最も高く、次いで「①１日分：９．２％（６．７％）」、「②２日分：５．５％（３．９％）」と続く。

なお、「備蓄している（①～⑤）」は、２４．４％（１６．４％）となる。



災害用トイレの備蓄（N=2032）

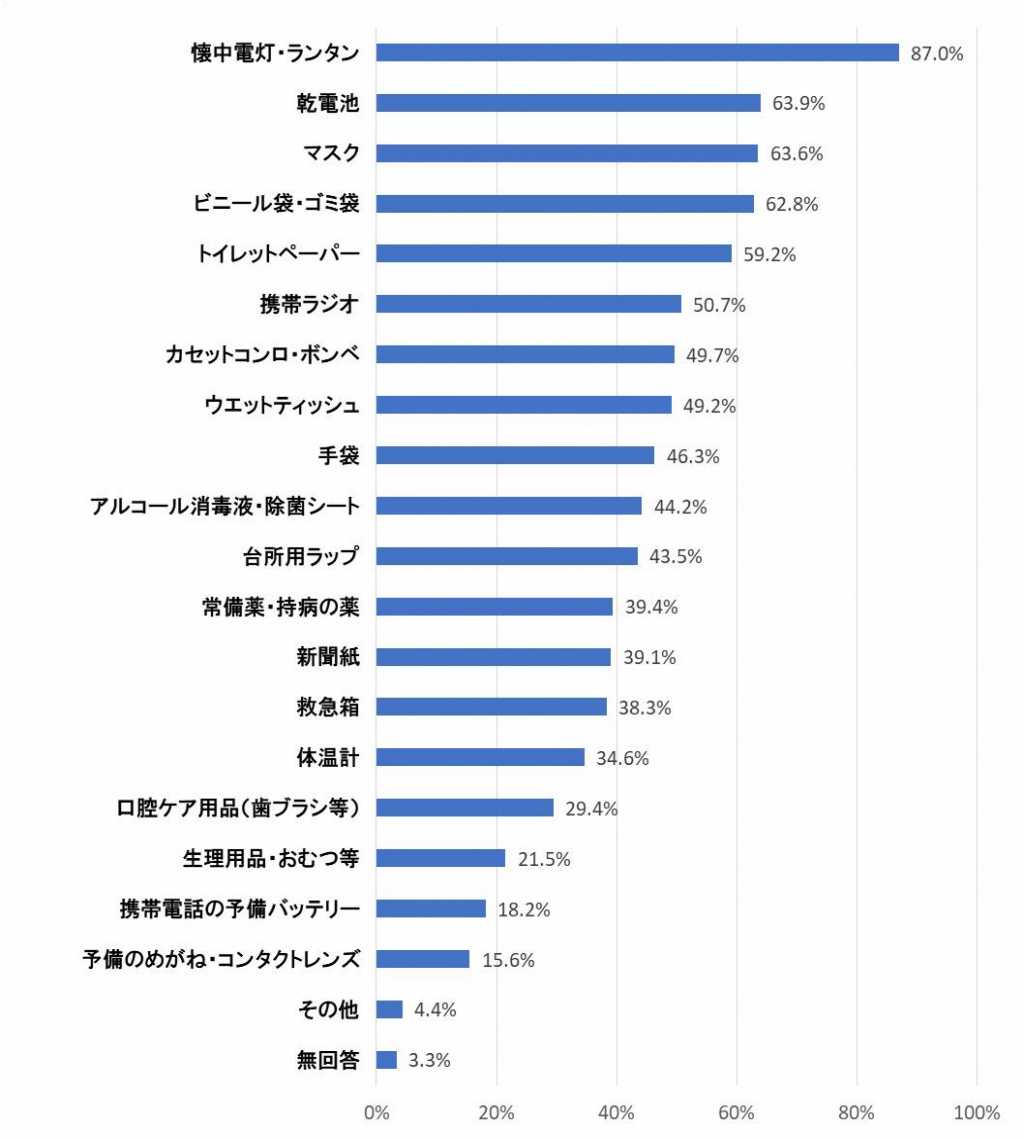


区域別の災害用トイレの備蓄（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

問 26　災害時の備えとしてあなたのお宅では「水・食糧」や「携帯・簡易トイレ」以外にどんなものを備蓄していますか。（当てはまるものすべてに○）

① 懐中電灯・ランタン	② 乾電池	③ 携帯ラジオ
④ 救急箱	⑤ 常備薬・持病の薬	⑥ ビニール袋・ゴミ袋
⑦ 台所用ラップ	⑧ カセットコンロ・ボンベ	⑨ トイレットペーパー
⑩ ウエットティッシュ	⑪ 予備のめがね・コンタクトレンズ	
⑫ 口腔ケア用品（歯ブラシ等）	⑬ 生理用品・おむつ等	
⑭ 携帯電話の予備バッテリー	⑮ 手袋	
⑯ 新聞紙	⑰ マスク	
⑱ アルコール消毒液・除菌シート	⑲ 体温計	
⑳ その他（　　）		

「①懐中電灯・ランタン：８７．０％（８５．５％）」が最も高く、次いで「②乾電池：６３．９％（６３．５％）」、「⑰マスク：６３．６％（新規）」と続く。

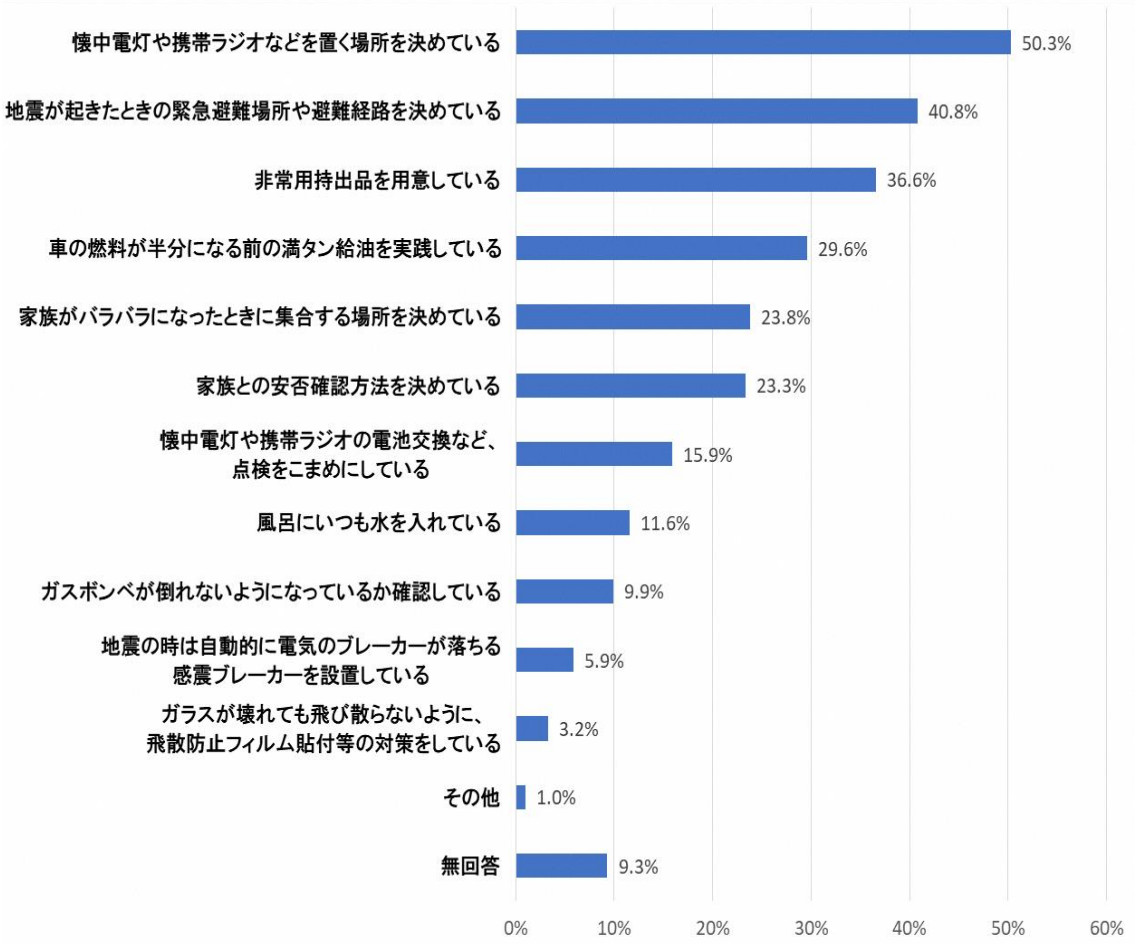


水・食糧・災害用トイレ以外の備蓄（N=2032）

問 27　その他、お宅で行っている地震防災対策はどれですか。（当てはまるものすべてに○）

① 地震が起きたときの緊急避難場所や避難経路を決めている
② 家族との安否確認方法を決めている
③ 家族がバラバラになったときに集合する場所を決めている
④ 風呂にいつも水を入れている
⑤ ガラスが壊れても飛び散らないように、飛散防止フィルム貼付等の対策をしている
⑥ ガスボンベが倒れないようになっているか確認している
⑦ 懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている
⑧ 懐中電灯や携帯ラジオの電池交換など、点検をこまめにしている
⑨ 非常用持出品を用意している
⑩ 地震の時は自動的に電気のブレーカーが落ちる感震ブレーカーを設置している
⑪ 車の燃料が半分になる前の満タン給油を実践している
⑫ その他（　　）

「⑦懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている：５０．３％（６２．０％）」が最も高く、次いで「①地震が起きたときの緊急避難場所や避難経路を決めている：４０．８％（４７．０％）」、「⑨非常用持出品を用意している：３６．６％（３６．５％）」と続く。



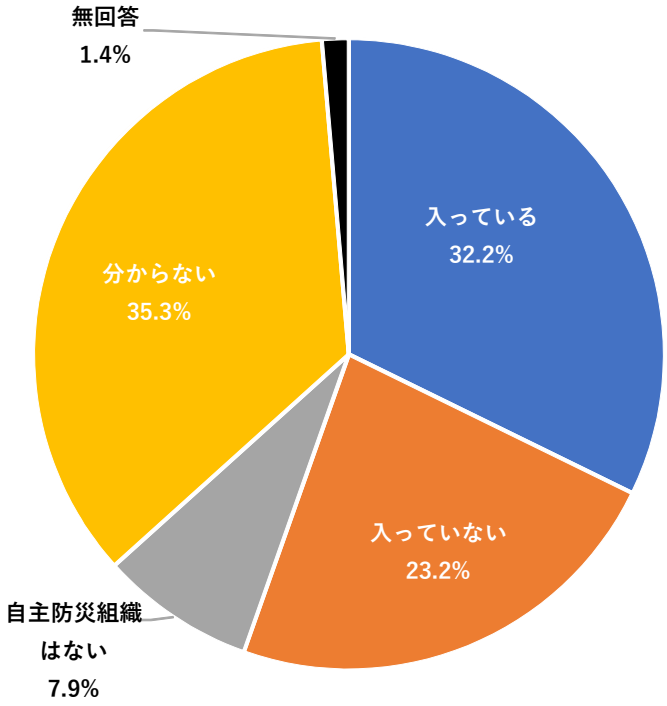
自宅での地震防災対策の実施状況（N=2032）

問 28　あなたのお宅は、地域の自主防災組織（※）に入っていますか。（１つだけ○）

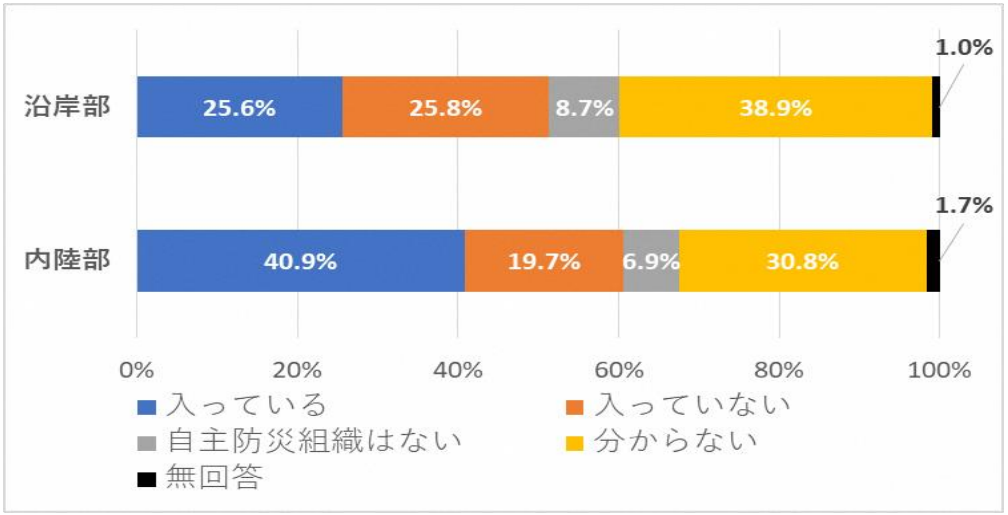
①　入っている ②　入っていない ③　自主防災組織はない ④　分からない

※自主防災組織：町内会・自治会などを母体に、地域住民が防災活動をするための組織

「④分からない：３５．３％（２７．１％）」が最も高く、次いで「①入っている：３２．２％（３４．３％）」、「②入っていない：２３．２％（２６．０％）」と続く。



自主防災組織への加入状況（N=2032）



区域別の自主防災組織への加入状況（沿岸部 N=1145、内陸部 N=878）

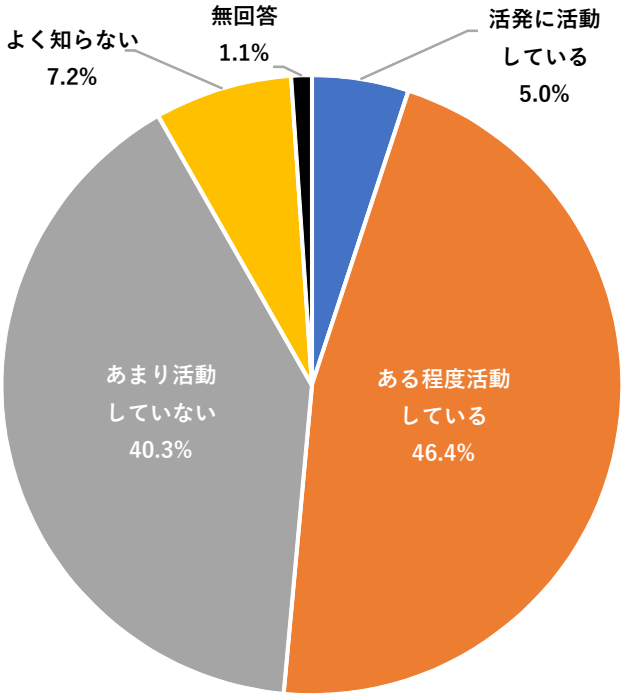
問 28a 問 28 で「①入っている」と回答した方にお聞きします。

あなたの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。（１つだけ○）

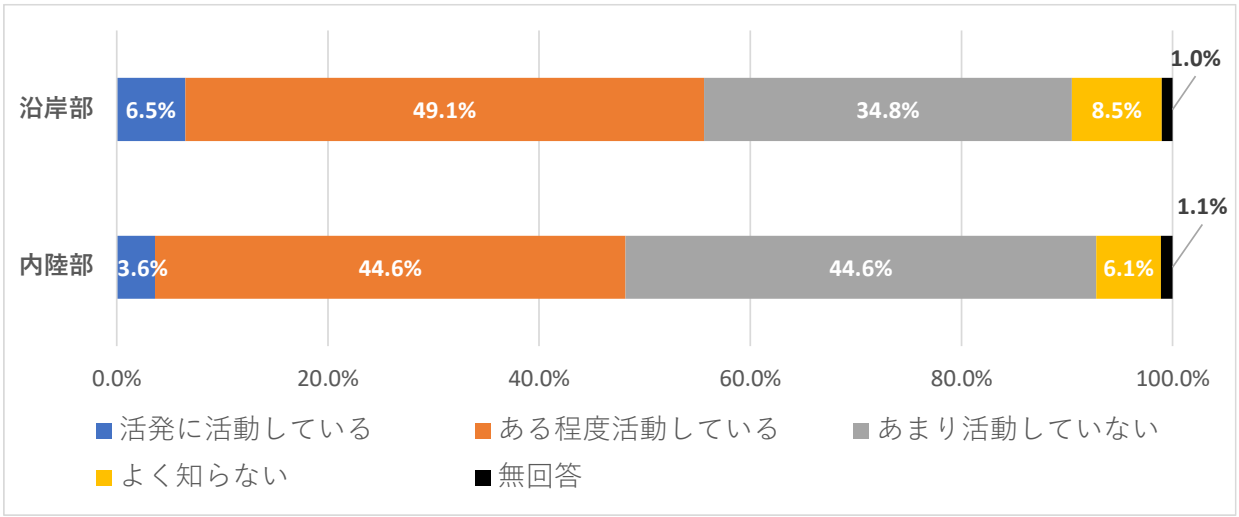
① 活発に活動している	② ある程度活動している
③ あまり活動していない	④ よく知らない

「②ある程度活動している：４６．４％（４９．３％）」が最も高く、次いで「③あまり活動していない：４０．３％（２９．８％）」、「④よく知らない：７．２％（７．３％）」と続く。

なお、「活発である、ある程度活動している（①、②）」は、５１．４％（６１．５％）となる。



自主防災組織の活動状況（N=655）



区域別の自主防災組織の活動状況（沿岸部 N=293、内陸部 N=359）

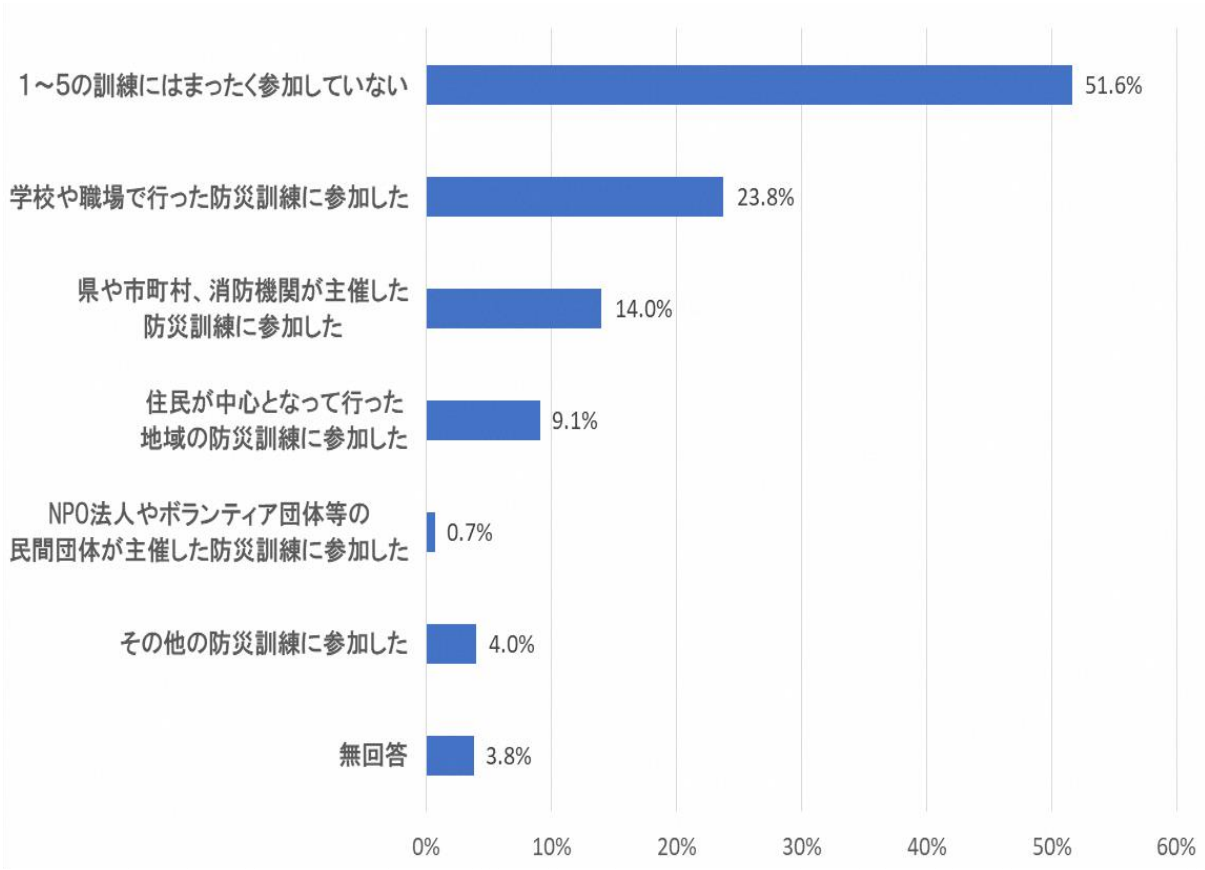
問 29　過去１年間に地域や職場の防災訓練に参加したことがありますか。（当てはまるものすべてに○）

①　県や市町村、消防機関が主催した防災訓練に参加した
②　NPO 法人やボランティア団体等の民間団体が主催した防災訓練に参加した
③　住民が中心となって行った地域の防災訓練に参加した
④　学校や職場で行った防災訓練に参加した
⑤　その他の防災訓練に参加した
⑥　１～５の訓練にはまったく参加していない

「⑥１～５の防災訓練にまったく参加していない：５１．６％（５２．５％）」が最も高く、次いで「④学校や職場で行った防災訓練に参加した：２３．８％（１９．７％※）、「①県や市町村、消防機関が主催した防災訓練に参加した：１４．０％（１６．６％）」と続く。

なお、「防災訓練に参加している（①～⑤いずれか１つ以上選択）」は、４４．６％（４４．５％）となる。

※前回は「職場」のみ



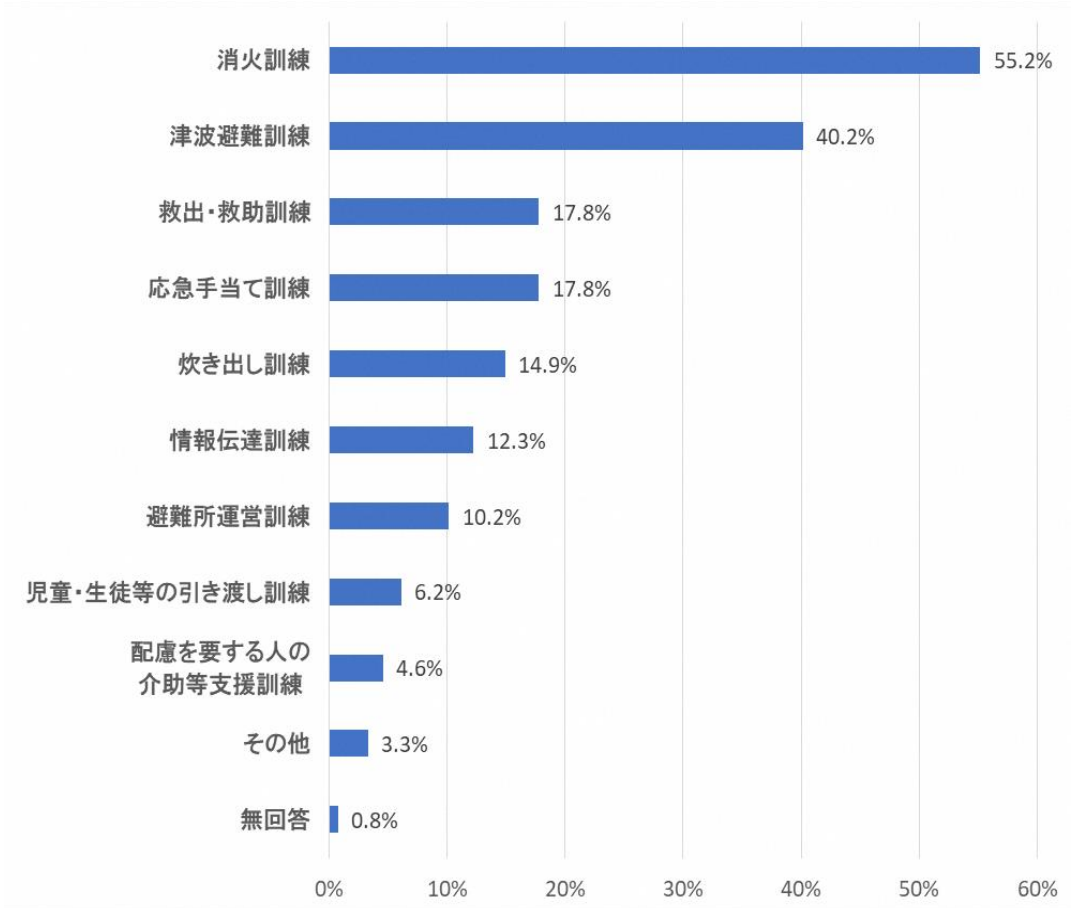
防災訓練の参加状況（N=2032）

問 29a 問 29 で「①～⑤防災訓練に参加した」と回答した方にお聞きします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。（当てはまるものすべてに○）

① 津波避難訓練	② 消火訓練	③ 救出・救助訓練
④ 応急手当て訓練	⑤ 炊き出し訓練	⑥ 情報伝達訓練
⑦ 配慮を要する人の介助等支援訓練	⑧ 避難所運営訓練	⑨ 児童・生徒等の引き渡し訓練
⑩ その他（　　）		

「②消火訓練：５５．２％（５３．３％）」が最も高く、次いで「①津波避難訓練：４０．２％（４１．６％）」、「③救出・救助訓練：１７．８％（２３．０％）」、「④応急手当て訓練：１７．８％（２１．９％）」と続く。



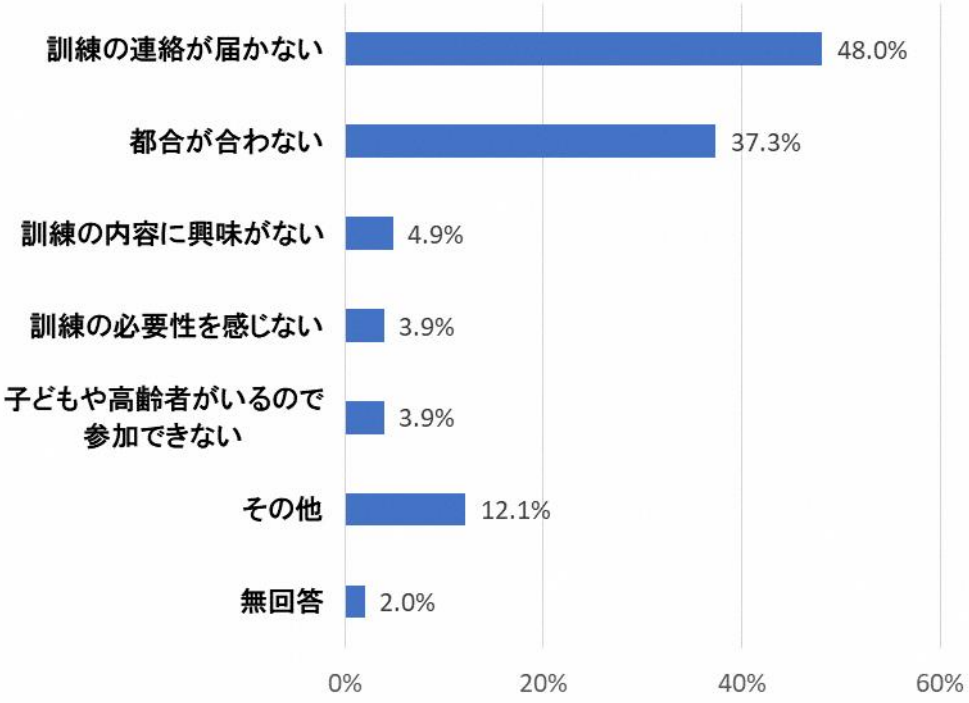
参加した防災訓練の内容（N=906）

問 29b 問 29 で「⑥訓練にはまったく参加していない」と回答した方にお聞きします。

訓練に参加していないのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① 都合が合わない	② 訓練の必要性を感じない
③ 訓練の内容に興味がない	④ 子どもや高齢者がいるので参加できない
⑤ 訓練の連絡が届かない	⑥ その他（ ）

「⑤訓練の連絡が届かない：４８．０％（４１．４％）」が最も高く、次いで「①都合が合わない：３７．３％（３６．９％）」、「③訓練の内容に興味がない：４．９％（７．８％）」と続く。

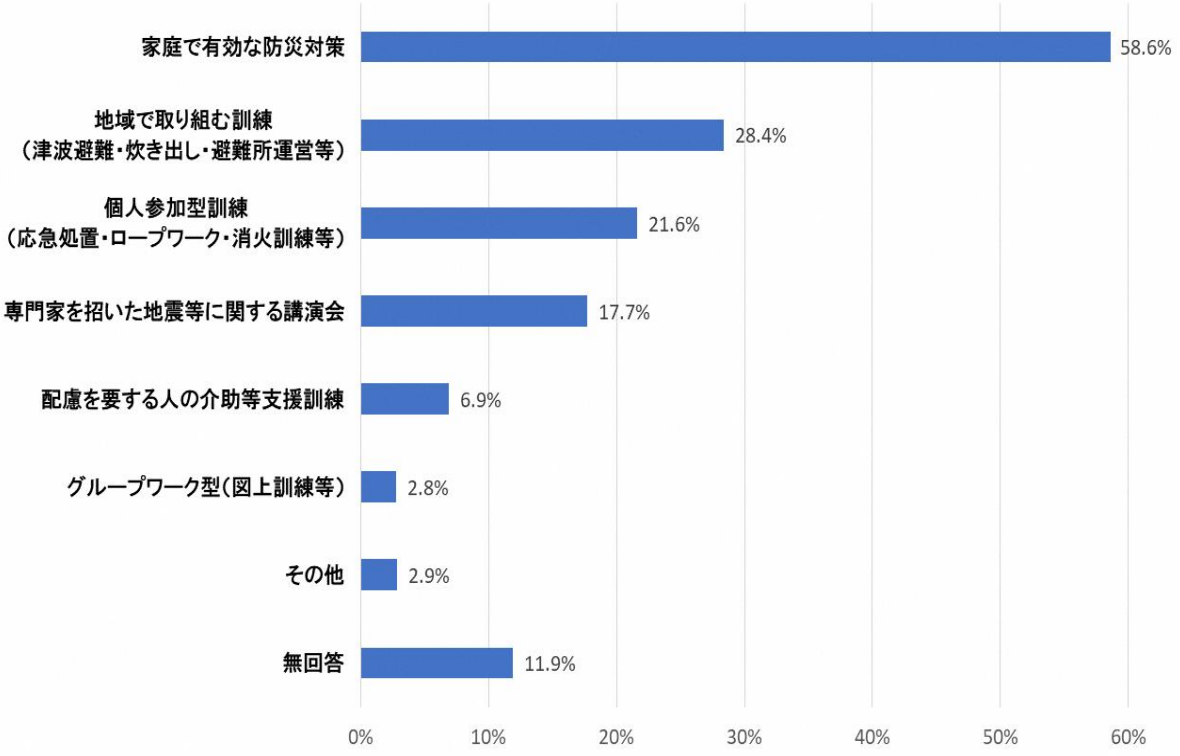


防災訓練に参加しない理由（N=1049）

問 29c 問 29 で「⑥訓練にはまったく参加していない」と回答した方にお聞きします。
どのような訓練なら参加しようと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

① 家庭で有効な防災対策
② 個人参加型訓練（応急処置・ロープワーク・消火訓練等）
③ 地域で取り組む訓練（津波避難・炊き出し・避難所運営等）
④ 配慮を要する人の介助等支援訓練
⑤ グループワーク型（図上訓練等）
⑥ 専門家を招いた地震等に関する講演会
⑦ その他（ ）

「①家庭で有効な防災対策：５８．６％（４７．１％）」が最も高く、次いで「③地域で取り組む訓練（津波避難・炊き出し・避難所運営等）：２８．４％（新規）」、「②個人参加型訓練（応急処置・ロープワーク・消火訓練等）：２１．６％（１８．９％）」と続く。

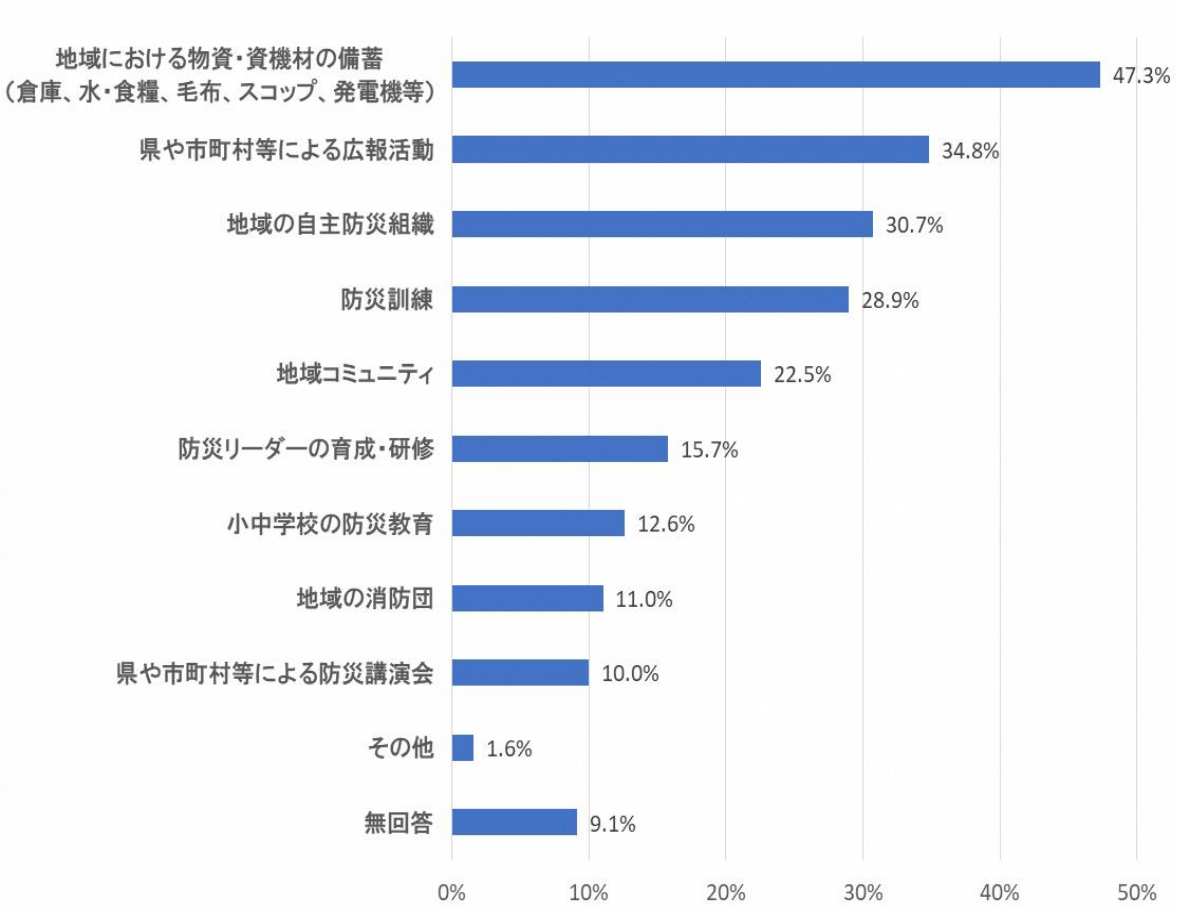


参加したいと思う防災訓練（N=1049）

問 30　地域の防災力を高めるには、どの部分の強化が特に重要だと思いますか。（○を３つまで）

① 県や市町村等による広報活動	② 県や市町村等による防災講演会
③ 地域の自主防災組織	④ 防災訓練
⑤ 防災リーダーの育成・研修	⑥ 小中学校の防災教育
⑦ 地域の消防団	⑧ 地域コミュニティ
⑨ 地域における物資・資機材の備蓄（倉庫、水・食糧、毛布、スコップ、発電機等）	
⑩ その他（　　）	

「⑨地域における物資・資機材の備蓄（倉庫、水・食糧、毛布、スコップ、発電機等）：４７．３％（新規）」が最も高く、次いで「①県や市町村等による広報活動：３４．８％（３７．２％）」、「③地域の自主防災組織：３０．７％（４４．０％）」と続く。



地域の防災力強化に必要なもの（N=2032）

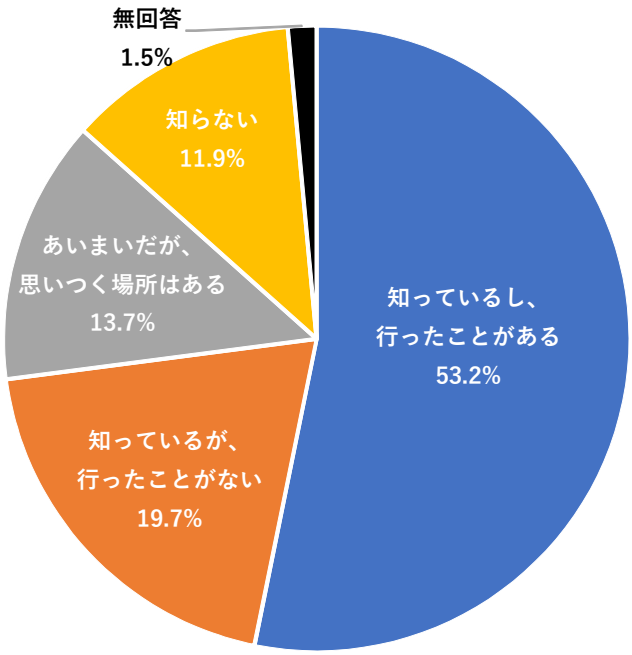
問 31　御自宅の最寄りの”緊急避難場所”を知っていますか。（１つだけ○）

① 知っているし、行ったことがある	② 知っているが、行ったことがない
③ あいまいだが、思いつく場所はある	④ 知らない

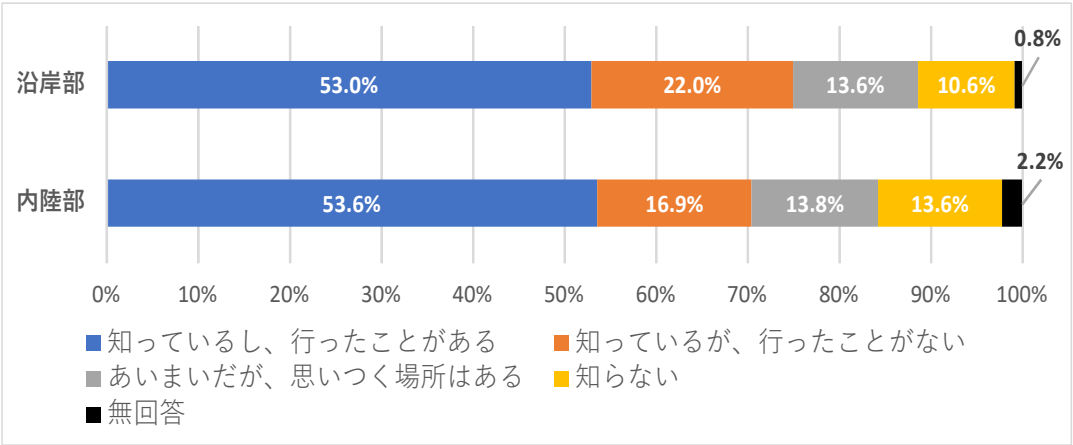
※緊急避難場所：津波等の切迫した災害の危険から逃れるための場所
（例）津波避難タワー、津波避難ビル、高台　等

「①知っているし、行ったことがある：５３．２％（５５．９％)」が最も高く、次いで「②知っているが、行ったことがない：１９．７％（１９．５％)」、「③あいまいだが、思いつく場所はある：１３．７％（１５．０％)」と続く。

これらから、「知っている（①、②、③)」は、８６．６％（９０．４％）となる。



緊急避難場所の認知（N=2032）



区域別の緊急避難場所の認知（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

問 32　御自宅の最寄りの”避難所”を知っていますか。（１つだけ○）

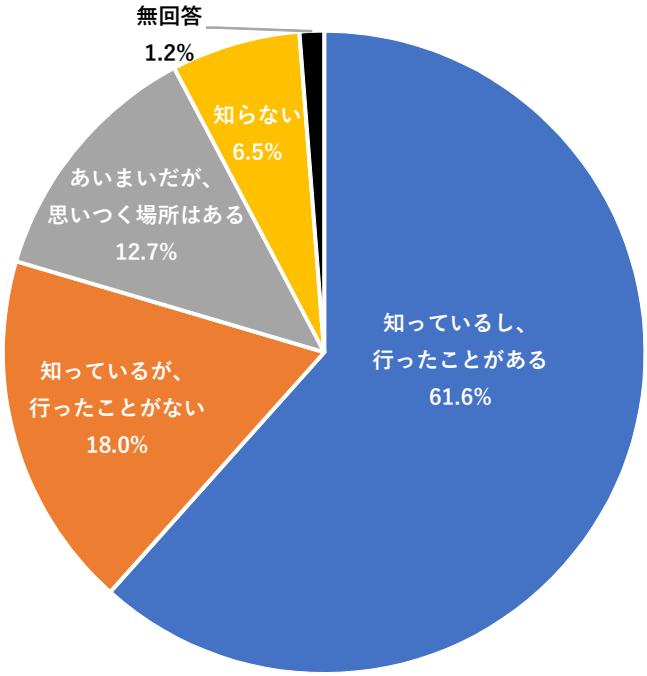
① 知っているし、行ったことがある	② 知っているが、行ったことがない
③ あいまいだが、思いつく場所はある	④ 知らない

※避難所：避難生活を送るための場所

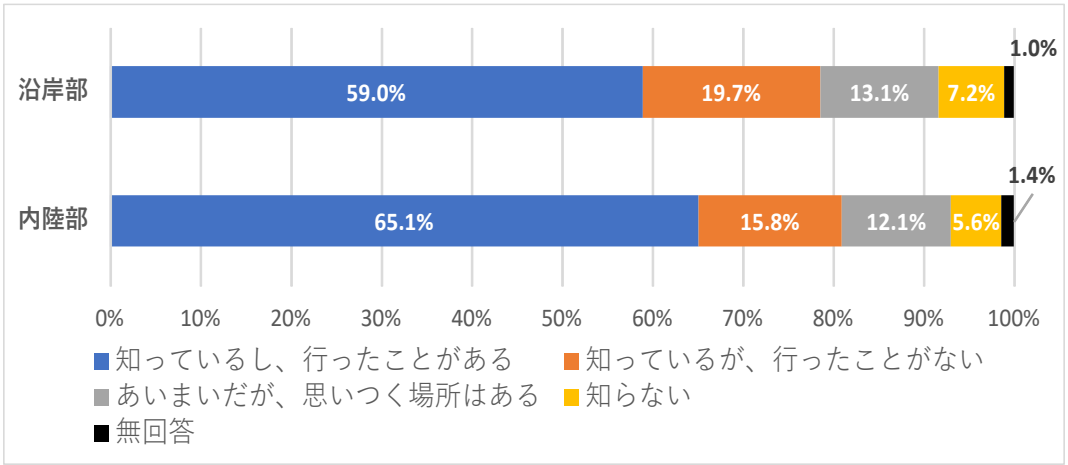
（例）学校（体育館）、公民館　等

「①知っているし、行ったことがある：６１．６％（５２．８％)」が最も高く、次いで「②知っているが、行ったことがない：１８．０％（１７．６％)」、「③あいまいだが、思いつく場所はある：１２．７％（１７．８％)」と続く。

これらから、「知っている（①、②、③)」は、９２．３％（８８．２％）となる。



避難所の認知（N=2032）



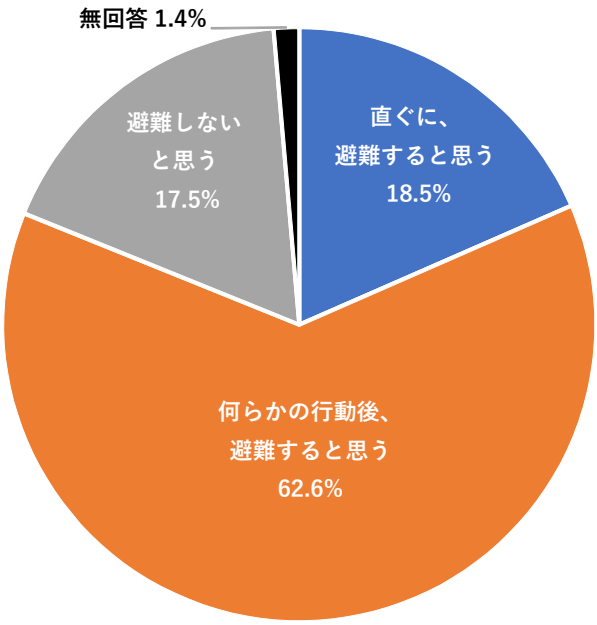
区域別の避難所の認知（沿岸部　N=1145、内陸部　N=878）

問 33　揺れが収まった後、直ぐに、避難しますか。（１つだけ○）

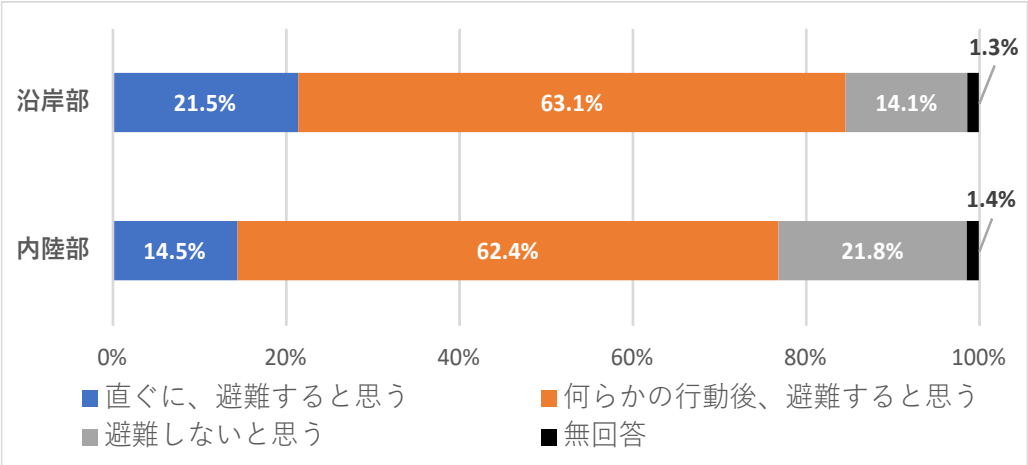
①　直ぐに、避難すると思う ②　何らかの行動後、避難すると思う ③　避難しないと思う

「②何らかの行動後、避難すると思う：６２．６％（５６．５％)」が最も高く、次いで「①直ぐに、避難すると思う：１８．５％（１９．１％)」、「③避難しないと思う：１７．５％（２０．５％)」と続く。

これらから、「避難行動をする（①、②)」は、８１．１％（７５．６％）となる。



地震発生直後の避難行動(N=2032)



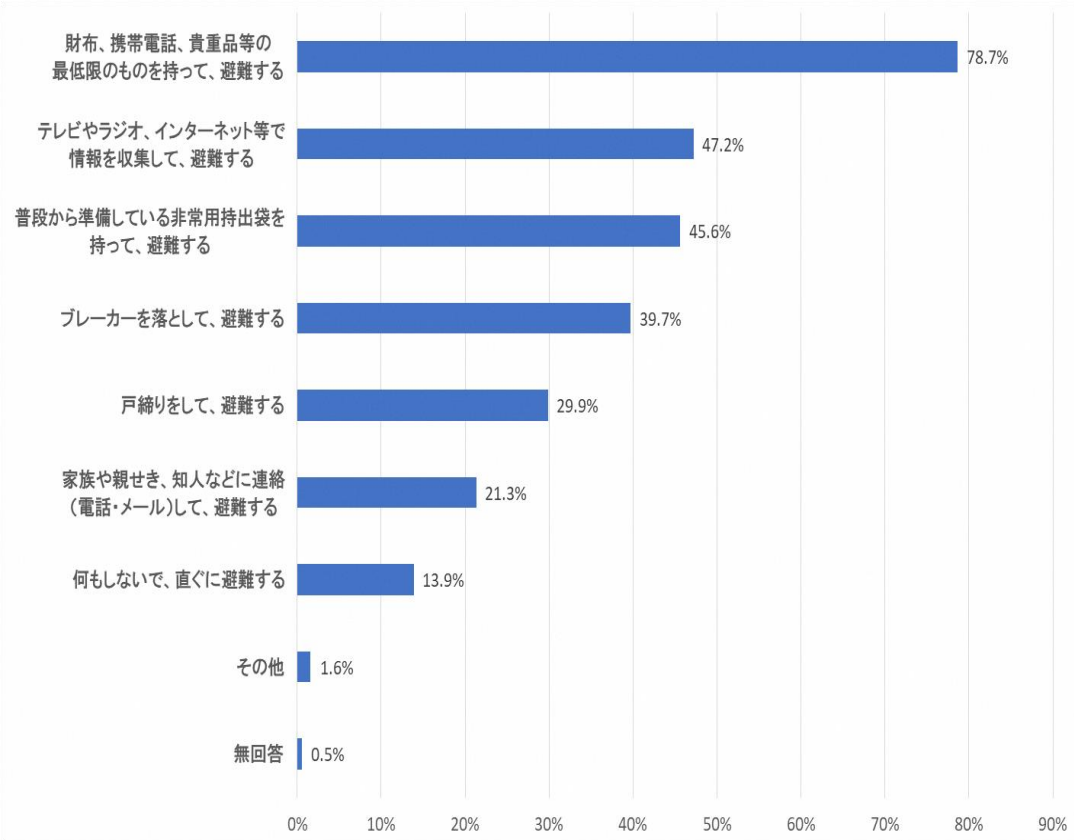
区域別の地震発生直後の避難行動(沿岸部　N=1145、内陸部　N=878)

問 33a 問 33 で「①直ぐに、避難すると思う」と回答した方にお聞きします。

避難する際に、何をしますか。（当てはまるものすべてに○）

① 何もしないで、直ぐに避難する
② テレビやラジオ、インターネット等で情報を収集して、避難する
③ 普段から準備している非常用持出袋を持って、避難する
④ 財布、携帯電話、貴重品等の最低限のものを持って、避難する
⑤ 家族や親せき、知人などに連絡（電話・メール）して、避難する
⑥ 戸締りをして、避難する
⑦ ブレーカーを落として、避難する
⑧ その他（　　）

「④財布、携帯電話、貴重品等の最低限のものを持って、避難する：７８．７％（７０．２％）」が最も高く、次いで「②テレビやラジオ、インターネット等で情報を収集して、避難する：４７．２％（新規）」、「③普段から準備している非常用持出袋を持って、避難する：４５．６％（５１．４％）」と続く。



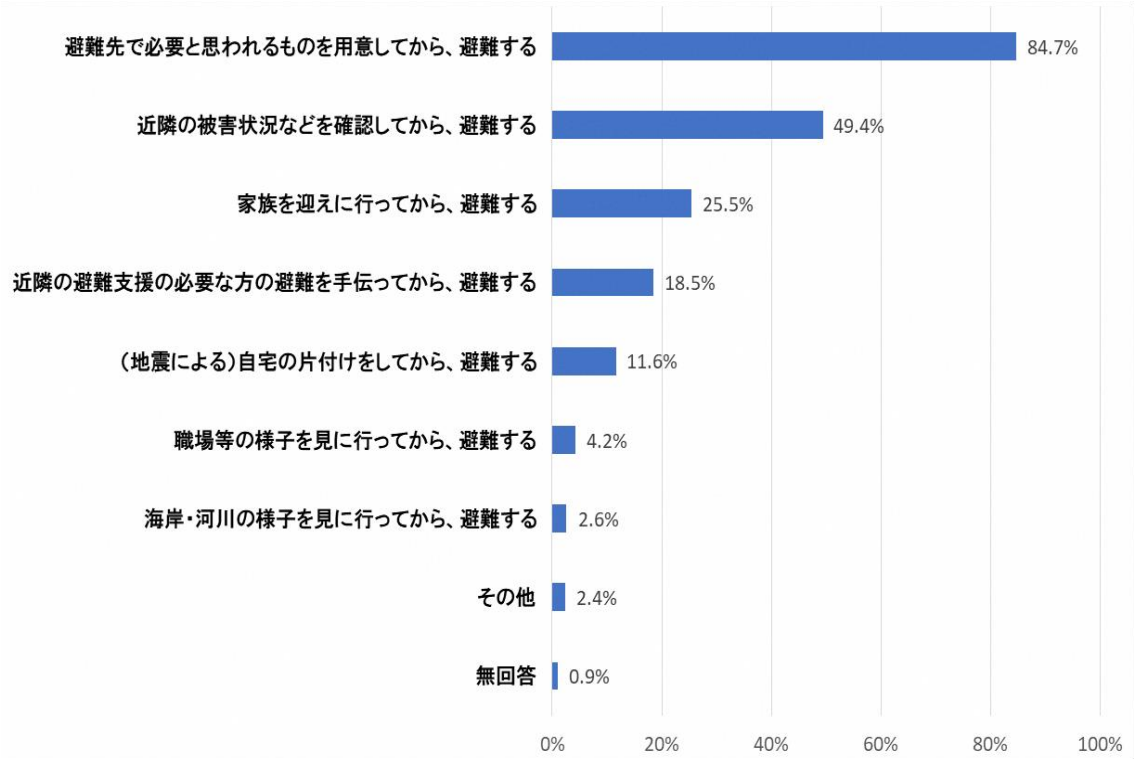
地震発生直後、避難する際の行動（N=375）

問 33b 問 33 で「②何らかの行動後、避難すると思う」と回答した方にお聞きします。
避難する前に、何をしますか。（当てはまるものすべてに○）

① （地震による）自宅の片付けをしてから、避難する
② 避難先で必要と思われるものを用意してから、避難する
③ 職場等の様子を見に行ってから、避難する
④ 家族を迎えに行ってから、避難する
⑤ 近隣の避難支援の必要な方の避難を手伝ってから、避難する
⑥ 近隣の被害状況などを確認してから、避難する
⑦ 海岸・河川の様子を見に行ってから、避難する
⑧ その他（ ）

「②避難先で必要と思われるものを用意してから、避難する：８４．７％（新規）」が最も高く、次いで「⑥近隣の被害状況などを確認してから、避難する：４９．４％（新規）」、「④家族を迎えに行ってから、避難する：２５．５％（「自宅等に：３２．０％」、「職場や学校に：１４．６％」）※」と続く。

※前回は迎えに行く場所を「自宅等」「職場や学校」に区分



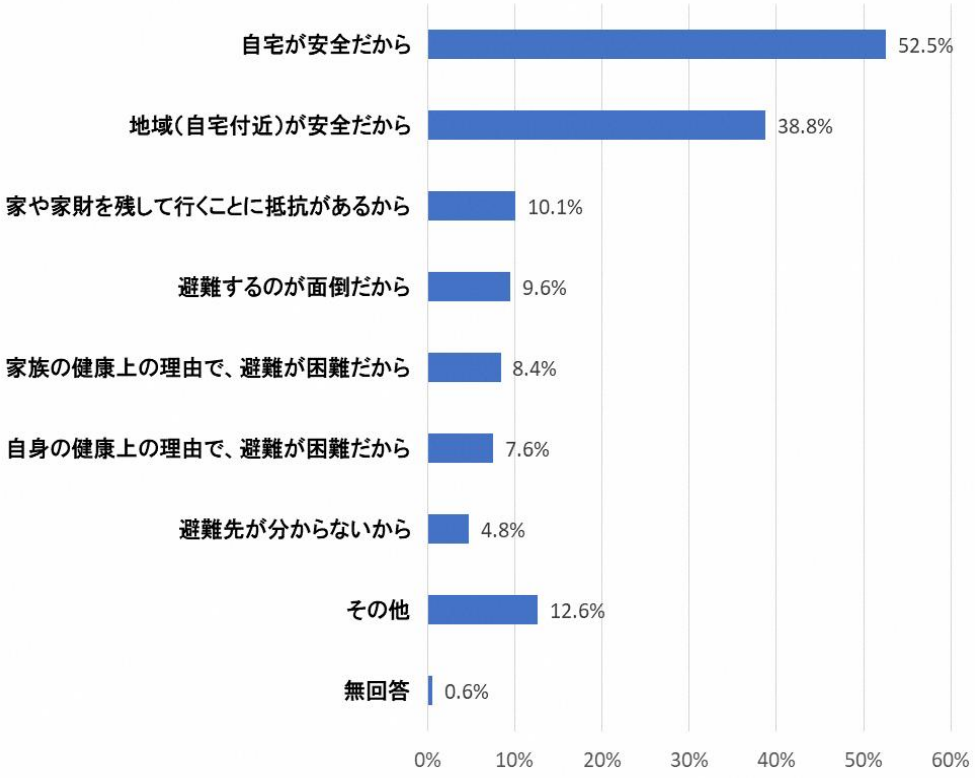
地震発生直後、避難する前の行動（N=1273）

問 33c 問 33 で「③避難しないと思う」と回答した方にお聞きします。

避難しないのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① 自宅が安全だから	② 地域（自宅付近）が安全だから
③ 避難先が分からないから	④ 自身の健康上の理由で、避難が困難だから
⑤ 家族の健康上の理由で、避難が困難だから	⑥ 家や家財を残して行くことに抵抗があるから
⑦ 避難するのが面倒だから	⑧ その他（　　）

「①自宅が安全だから：５２．５％（５１．７％）」が最も高く、次いで「②地域（自宅付近）が安全だから：３８．８％（４５．７％）」、「⑥家や家財を残して行くことに抵抗があるから：１０．１％（１６．６％）」と続く。



地震発生後、避難しない理由（N=356）

問 33d 問 33 で「①直ぐに、避難すると思う」または「②何らかの行動後、避難すると思う」と回答した方にお聞きします。

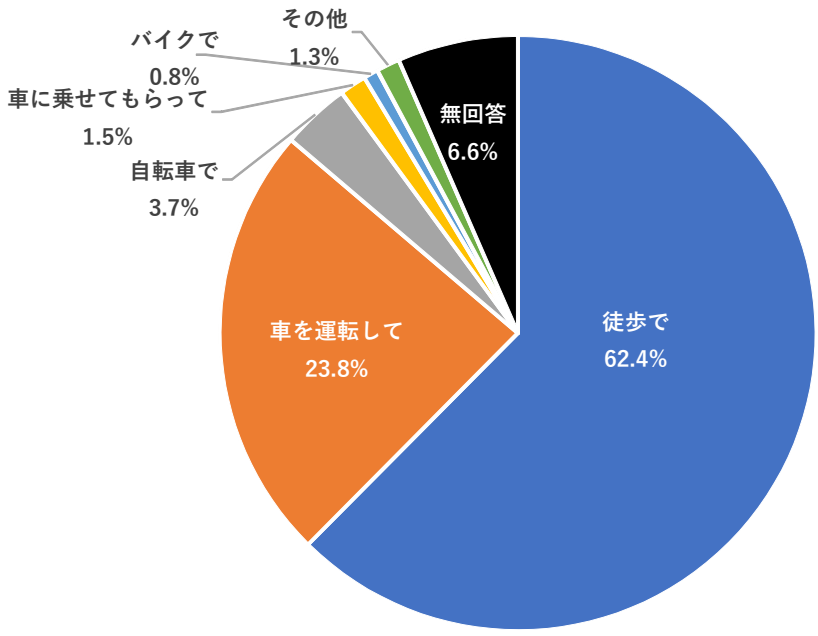
どのようにして避難しますか。（１つだけ○）

① 徒歩で　② 自転車で　③ バイクで　④ 車を運転して
⑤ 車に乗せてもらって　⑥ その他（　　）

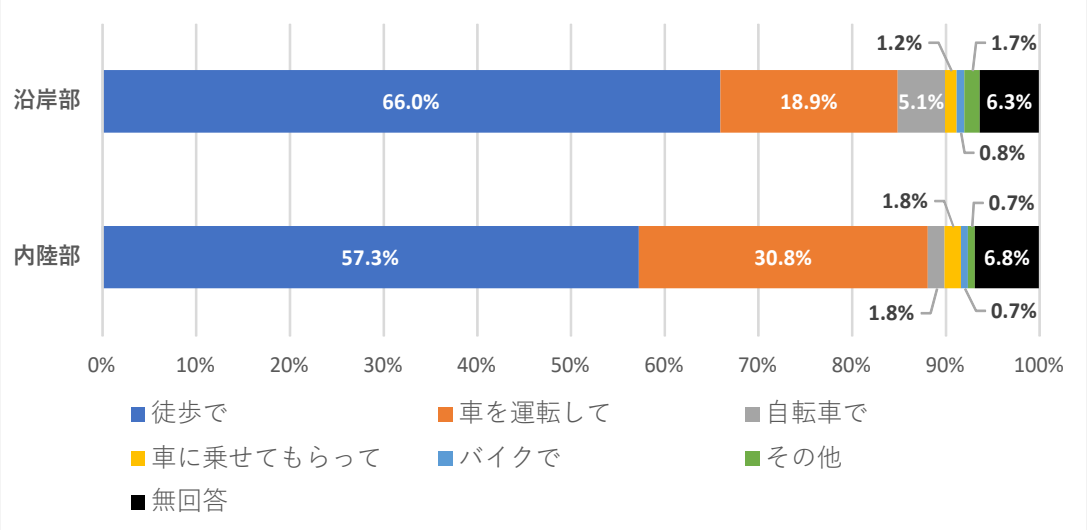
（参考）地震発生後の避難について

地震発生後は、建物やブロック塀の倒壊、液状化などにより、普段より避難が難しくなることが想定されます。

「①徒歩で：６２．４％（５４．８％）」が最も高く、次いで「④車を運転して：２３．８％（１９．２％）」、「②自転車で：３．７％（５．８％）」と続く。



避難手段(N=1648)

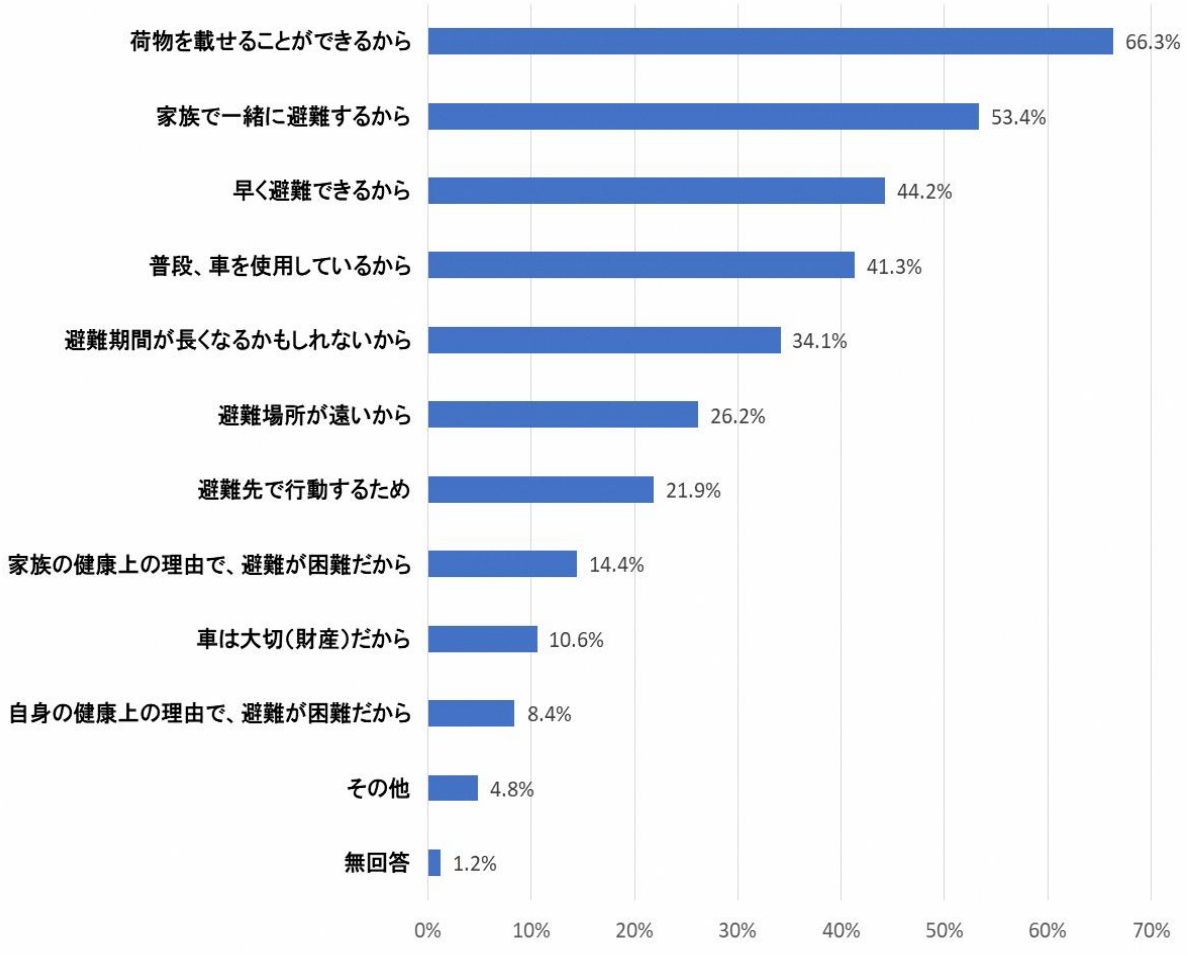


区域別の避難手段(沿岸部 N=969、内陸部 N=675)

問 33e 問 33d で「④車を運転して」または「⑤車に乗せてもらって」と回答した方にお聞きします。
車を使って避難するのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① 早く避難できるから	② 避難場所が遠いから
③ 車は大切（財産）だから	④ 荷物を載せることができるから
⑤ 自身の健康上の理由で、避難が困難だから	⑥ 家族の健康上の理由で、避難が困難だから
⑦ 家族で一緒に避難するから	⑧ 避難期間が長くなるかもしれないから
⑨ 普段、車を使用しているから	⑩ 避難先で行動するため
⑪ その他（　　）	

「④荷物を載せることができるから：６６．３％（５８．９％）」が最も高く、次いで「⑦家族で一緒に避難するから：５３．４％（５２．９％）」、「①早く避難できるから：４４．２％（４５．７％）」と続く。

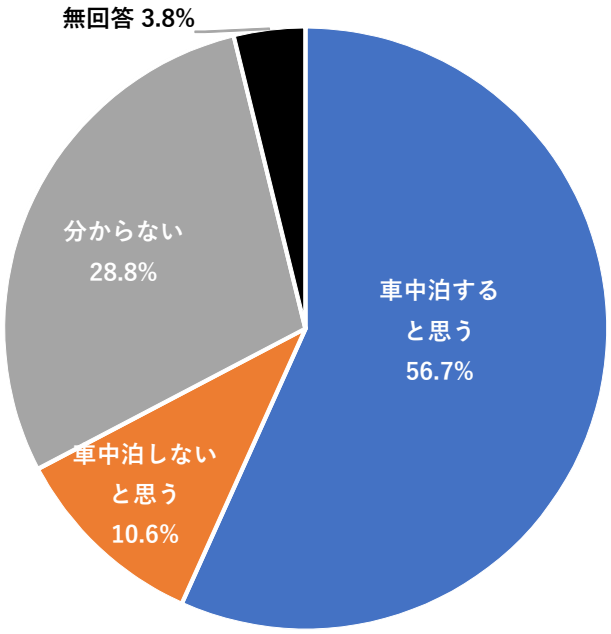


車で避難する理由（N=416）

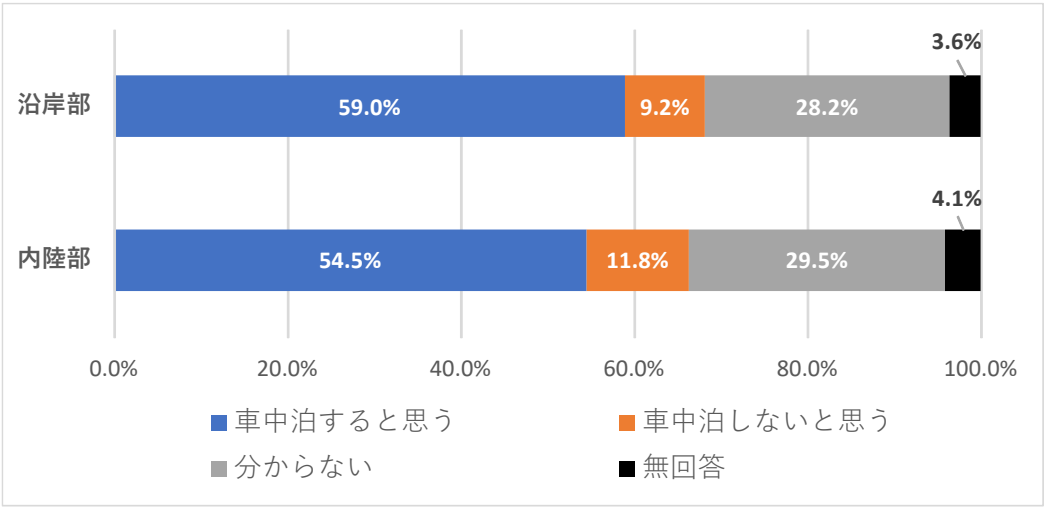
問 33f 問 33d で「④車を運転して」または「⑤車に乗せてもらって」と回答した方にお聞きします。
避難先で車中泊をしますか。（１つだけ○）

1　車中泊すると思う
2　車中泊しないと思う
3　分からない

「①車中泊すると思う：５６．７％（５０．３％）」が最も高く、次いで「③分からない：２８．８％（３５．６％）」、「②車中泊しないと思う：１０．６％（１１．２％）」と続く。



避難先で車中泊するかどうか（N=416）



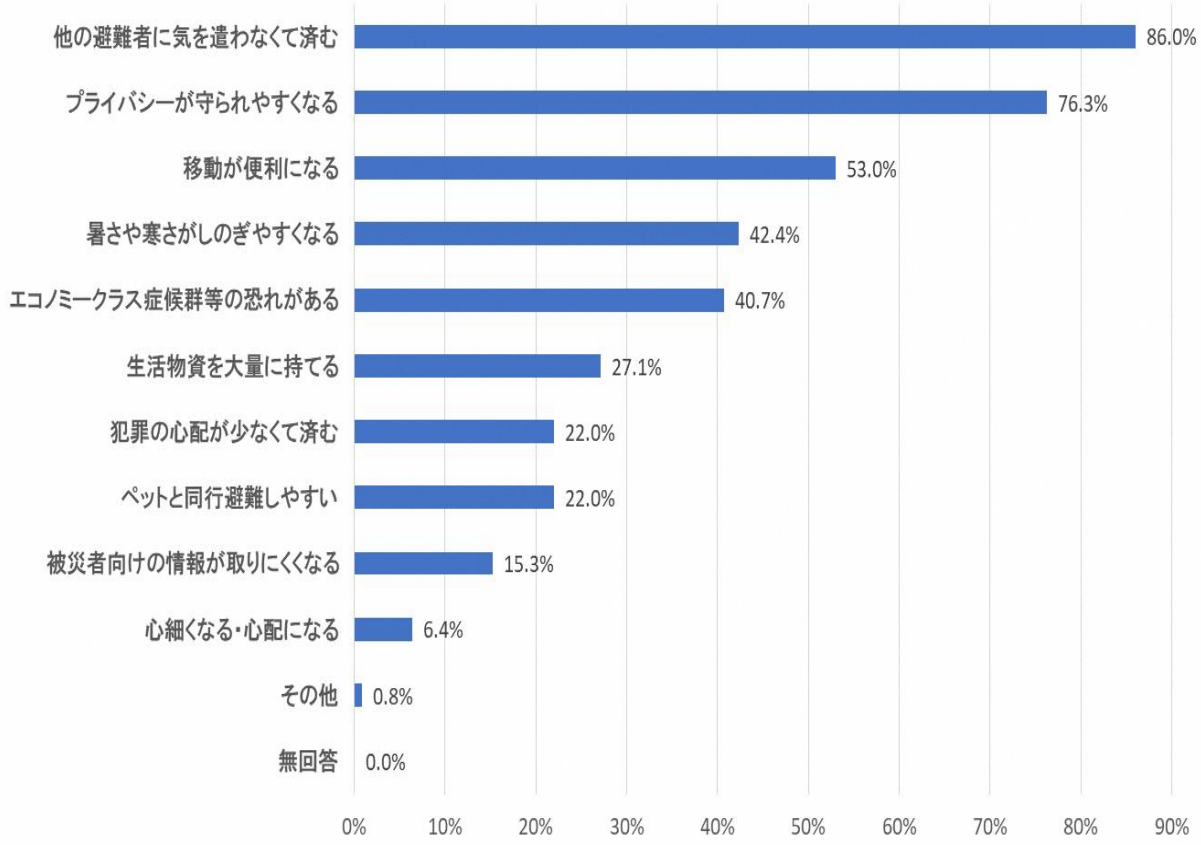
区域別の避難先で車中泊するかどうか（沿岸部 N=195、内陸部 N=220）

問 33g 問 33f で「①車中泊すると思う」と回答した方にお聞きします。

車中泊すると、どのような利点や問題があると思いますか。（当てはまるものすべてに○）

① 犯罪の心配が少なくて済む	② 他の避難者に気を遣わなくて済む
③ 移動が便利になる	④ 暑さや寒さがしのぎやすくなる
⑤ プライバシーが守られやすくなる	⑥ 生活物資を大量に持てる
⑦ ペットと同行避難しやすい	⑧ 被災者向けの情報が取りにくくなる
⑨ エコノミークラス症候群等の恐れがある	⑩ 心細くなる・心配になる
⑪ その他（　　）	

「②他の避難者に気を遣わなくて済む：８６．０％（９３．１％）」が最も高く、次いで「⑤プライバシーが守られやすくなる：７６．３％（７４．９％）」、「③移動が便利になる：５３．０％（４８．６％）」と続く。



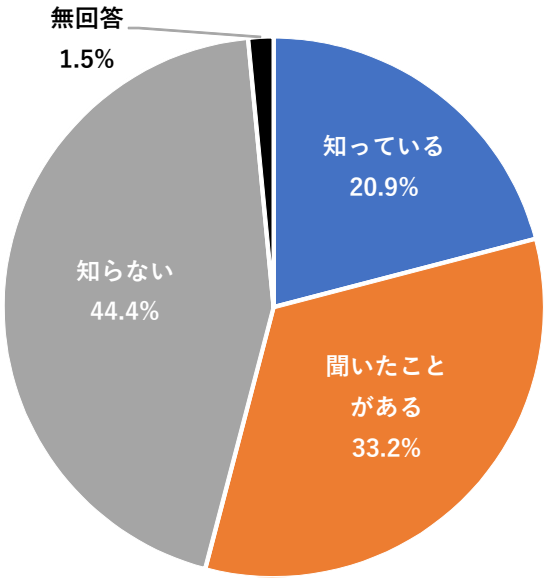
車中泊による利点や問題（N=236）

問 34　「南海トラフ地震臨時情報」を知っていますか。（１つだけ○）

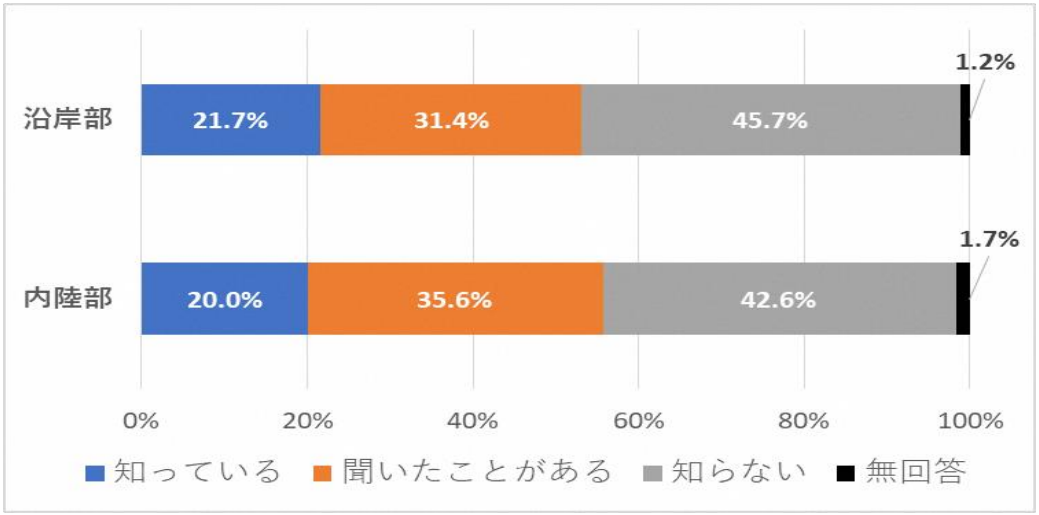
① 知っている ② 聞いたことがある ③ 知らない

「③知らない：４４．４％（３６．５％）」が最も高く、次いで「②聞いたことがある：３３．２％（３７．５％）」、「①知っている：２０．９％（２３．０％）」と続く。

これらから、「知っている、聞いたことがある（①、②）」は、５４．１％（６０．５％）となる。



南海トラフ地震臨時情報の認知（N=2032）



区域別の南海トラフ地震臨時情報の認知（沿岸部 N=1145、内陸部 N=878）

問 34a 問 34 で「①知っている」と回答した方にお聞きします。

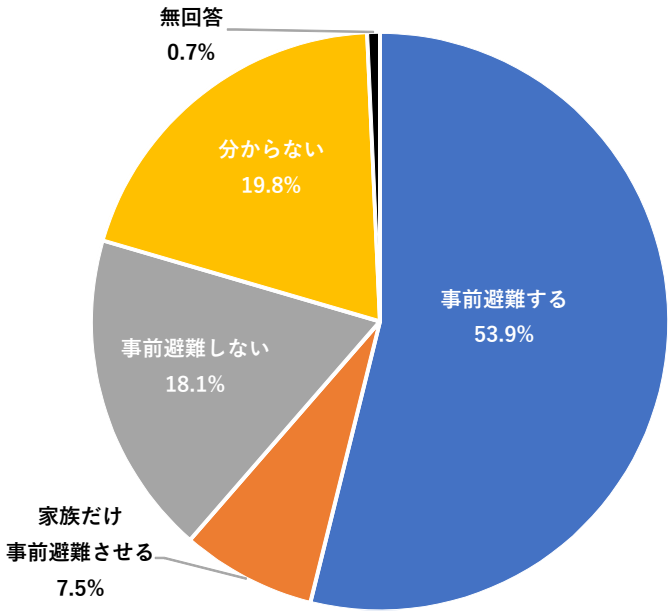
「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」の発表に伴い、お住まいの地域に「避難指示」等が発令された場合、事前避難をしますか。（１つだけ○）

① 事前避難する
② 家族だけ事前避難させる
③ 事前避難しない
④ 分からない

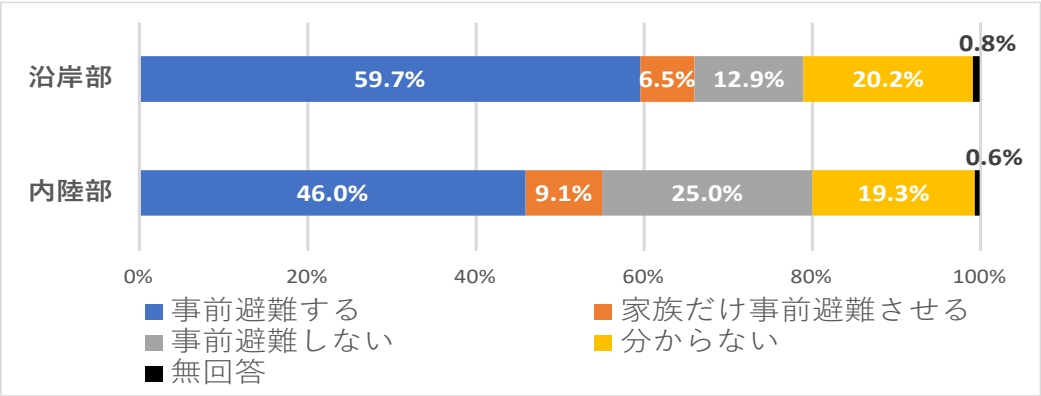
【新設問】

「①事前避難する：５３．９％」が最も高く、次いで「④分からない：１９．８％」、「③事前避難しない：１８．１％」と続く。

なお、「事前避難する（①、②）」は、６１．４％となる。



南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時における事前避難（N=425）

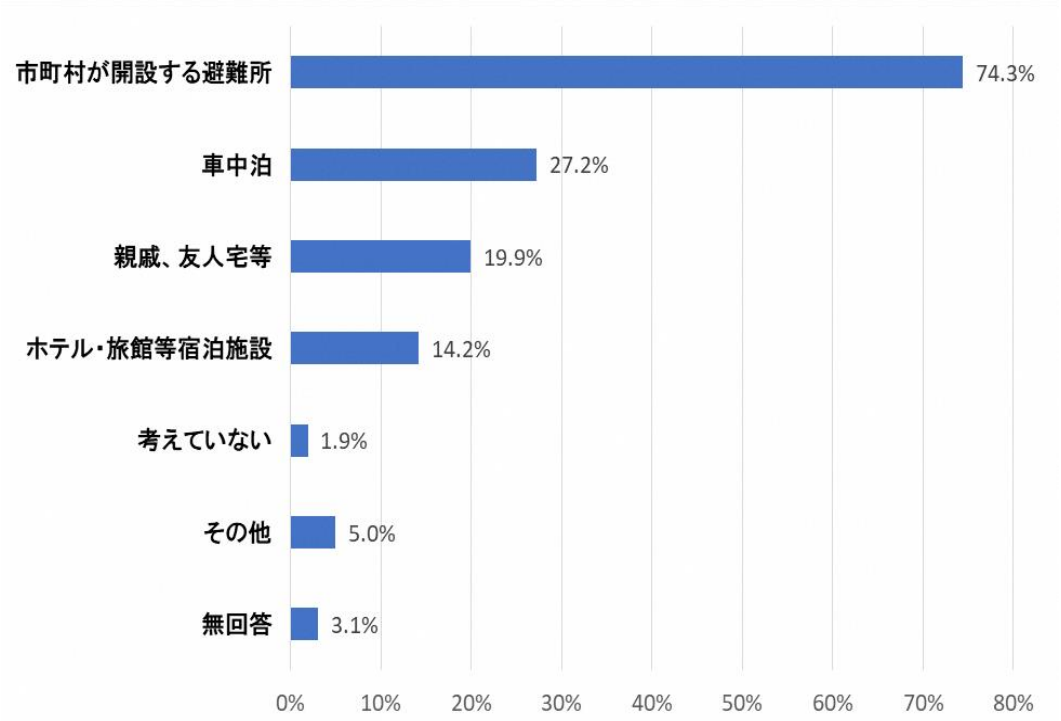


区域別の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時における事前避難
（沿岸部 N=248、内陸部 N=176）

問 34b 問 34a で「①事前避難する」または「②家族だけ事前避難させる」と回答した方にお聞きします。
どこに事前避難したいと考えていますか。（当てはまるものすべてに○）

① 親戚、友人宅等	② 市町村が開設する避難所
③ ホテル・旅館等宿泊施設	④ 車中泊
⑤ 考えていない	⑥ その他（ ）

【新設問】
「②市町村が開設する避難所：７４．３％」が最も高く、次いで「④車中泊：２７．２％」、「①親戚、友人宅等：１９．９％」と続く。



南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時における事前避難先
（N=261）

問 35　今年５月に「避難勧告」と「避難指示（緊急）」が「避難指示」に一本化されたことを知っていますか。（１つだけ○）

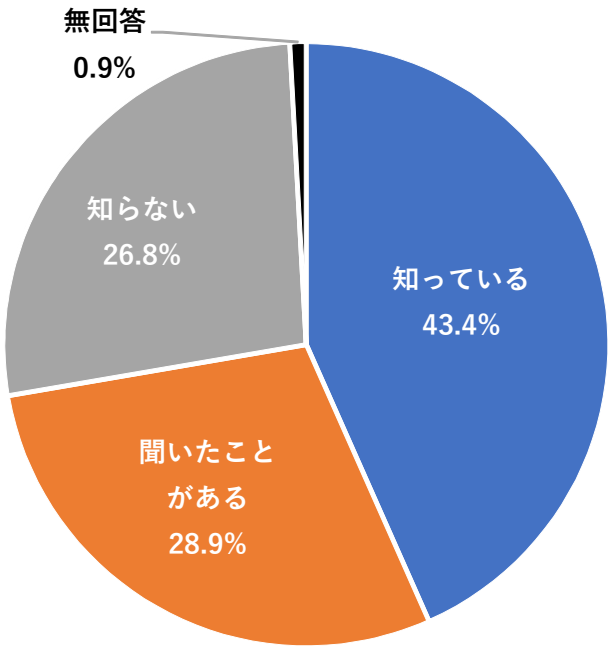
① 知っている	② 聞いたことがある	③ 知らない

（参考）市町村が発令する避難情報等の種類（令和３年 11 月現在）

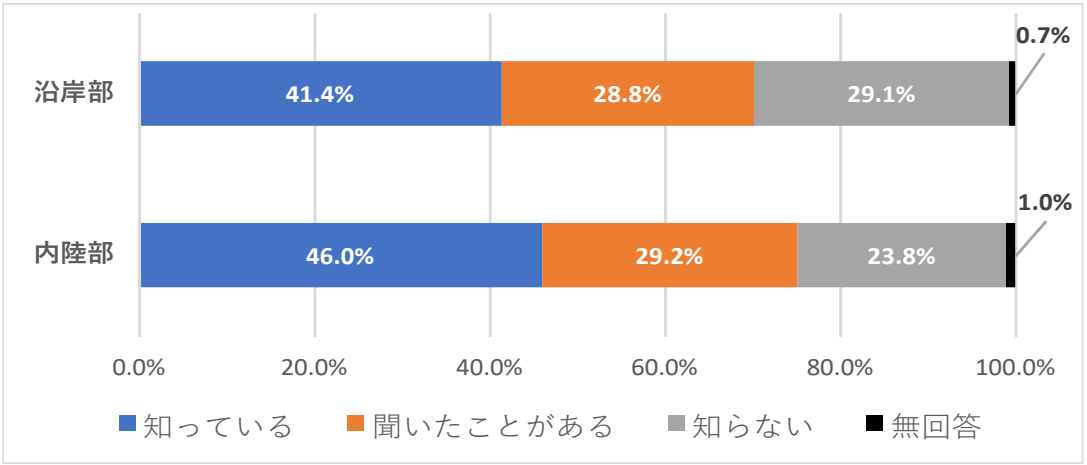
高齢者等避難　（警戒レベル３）
避難指示　（警戒レベル４）
緊急安全確保　（警戒レベル５）

【新設問】

「①知っている：４３．４％」が最も高く、次いで「②聞いたことがある：２８．９％」、「③知らない：２６．８％」と続く。



避難情報見直しの認知（N=2032）

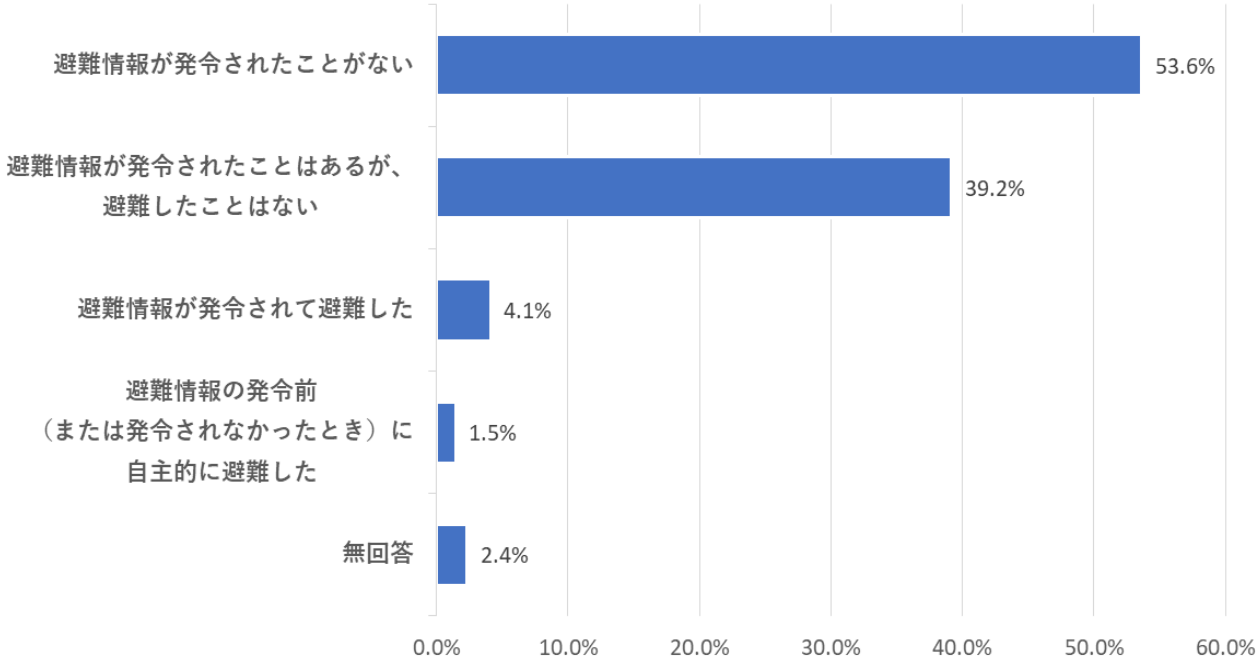


区域別の避難情報見直しの認知（沿岸部 N=1145、内陸部 N=878）

問 36　これまで、お住まいの地域で避難情報が発令されたとき、避難したことがありますか。
（当てはまるものすべてに○）

① 避難情報が発令されて避難した
② 避難情報の発令前（または発令されなかったとき）に自主的に避難した
③ 避難情報が発令されたことがない
④ 避難情報が発令されたことはあるが、避難したことはない

【新設問】
「③避難情報が発令されたことがない：５３．６％」が最も高く、次いで「④避難情報が発令されたことはあるが、避難したことはない：３９．２％」、「①避難情報が発令されて避難した：４．１％」と続く。



避難経験（N=2032）

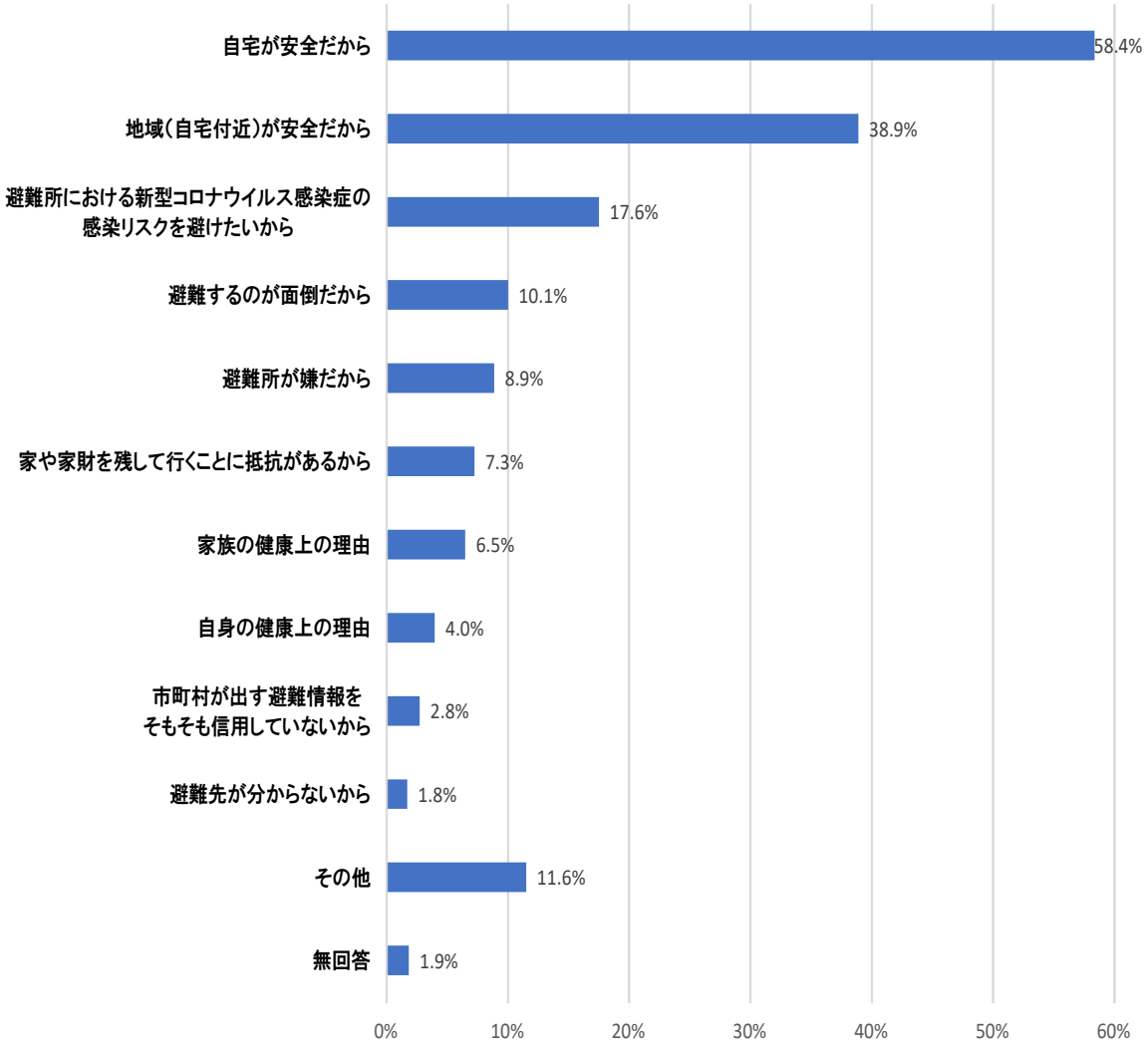
問 36a 問 36 で「④避難情報が発令されたことはあるが，避難したことはない」と回答した方にお聞きします。

避難しなかったのはどうしてですか。（当てはまるものすべてに○）

① 自宅が安全だから	② 地域（自宅付近）が安全だから
③ 避難所が嫌だから	④ 避難先が分からないから
⑤ 自身の健康上の理由	⑥ 家族の健康上の理由
⑦ 家や家財を残して行くことに抵抗があるから	
⑧ 避難するのが面倒だから	
⑨ 市町村が出す避難情報をそもそも信用していないから	
⑩ 避難所における新型コロナウイルス感染症の感染リスクを避けたいから	
⑪ その他（　　）	

【新設問】

「①自宅が安全だから：５８．４％」が最も高く、次いで「②地域（自宅付近）が安全だから：３８．９％」、「⑩避難所における新型コロナウイルス感染症の感染リスクを避けたいから：１７．６％」と続く。



避難経験がない理由（N=796）

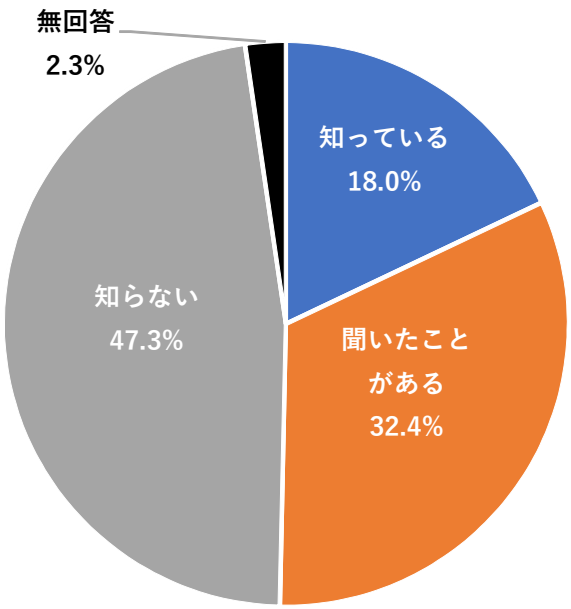
問 37　「分散避難」という言葉を知っていますか。（１つだけ○）

① 知っている	② 聞いたことがある	③ 知らない

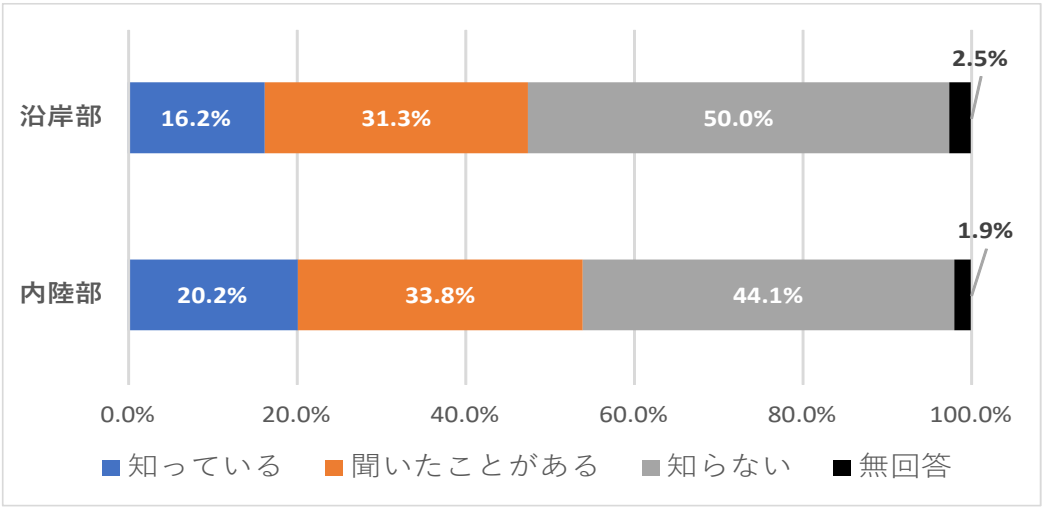
【新設問】

「③知らない：４７．３％」が最も高く、次いで「②聞いたことがある：３２．４％」、「①知っている：１８．０％」と続く。

このため「知っている、聞いたことがある（①、②）」は５０．４％となる。



分散避難の認知（N=2032）



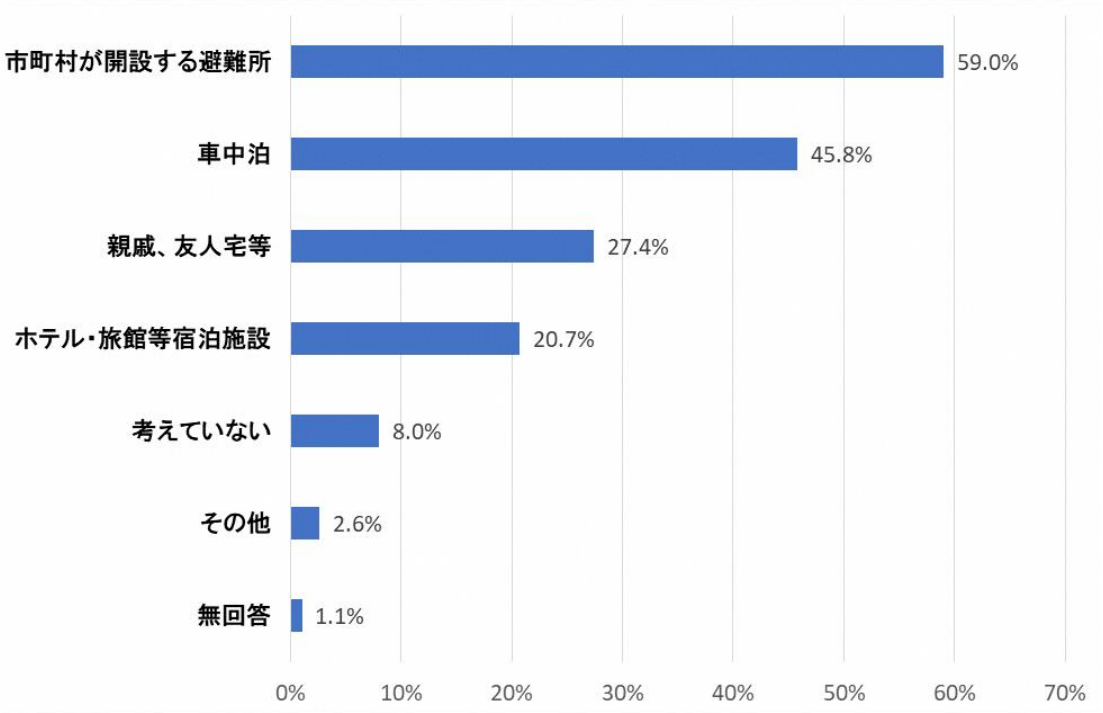
区域別の分散避難の認知（沿岸部 N=1145、内陸部 N=878）

問 38　コロナ禍において御自宅からの避難が必要となった場合、どこに避難しますか。（または避難できると思いますか。）（当てはまるものすべてに○）

① 親戚、友人宅等	② 市町村が開設する避難所
③ ホテル・旅館等宿泊施設	④ 車中泊
⑤ 考えていない	⑥ その他（　　）

【新設問】

「②市町村が開設する避難所：５９．０％」が最も高く、次いで「④車中泊：４５．８％」、「①親戚、友人宅等：２７．４％」と続く。



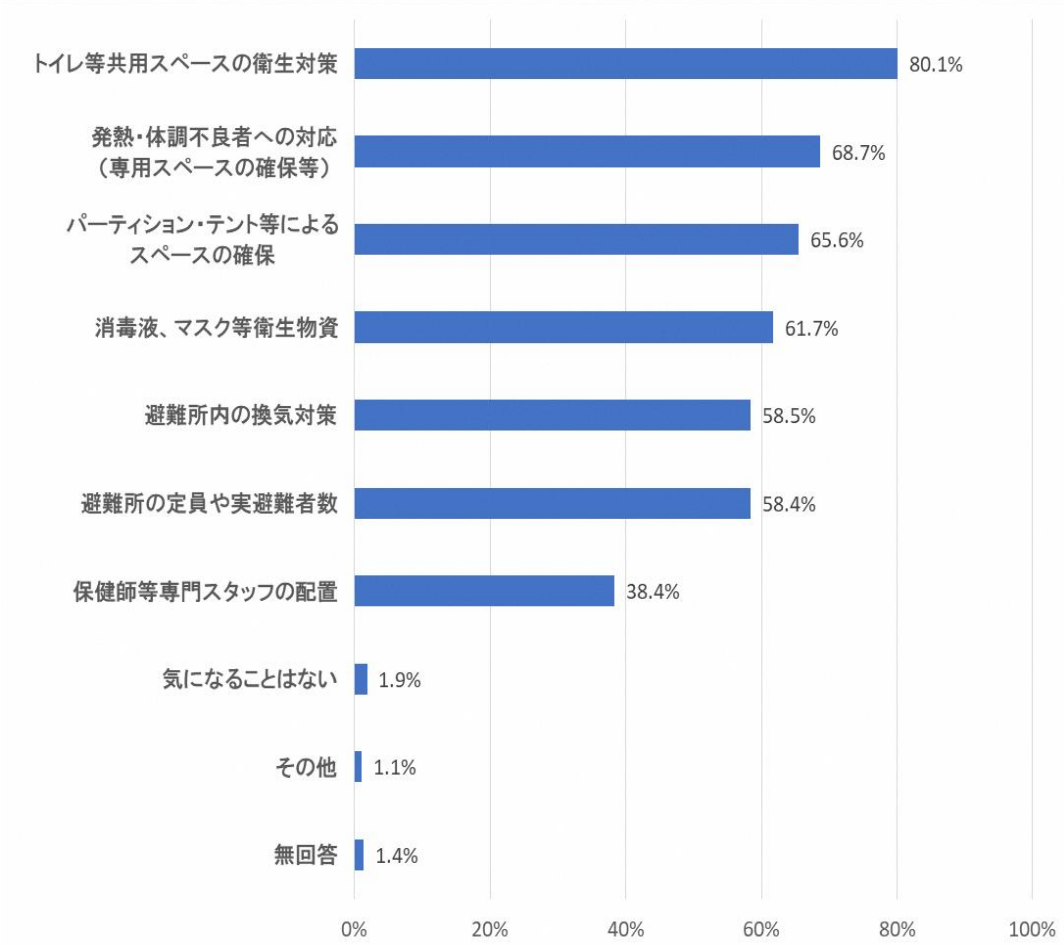
コロナ禍における避難先（N=2032）

問 39　避難所における新型コロナウイルス感染症対策について、どのようなことが気になりますか。（当てはまるものすべてに○）

① 避難所の定員や実避難者数	② パーティション・テント等によるスペースの確保
③ 発熱・体調不良者への対応（専用スペースの確保等）	
④ 消毒液、マスク等衛生物資	⑤ トイレ等共用スペースの衛生対策
⑥ 避難所内の換気対策	⑦ 保健師等専門スタッフの配置
⑧ 気になることはない	⑨ その他（　　）

【新設問】

「⑤トイレ等共用スペースの衛生対策：８０．１％」が最も高く、次いで「③発熱・体調不良者への対応（専用スペースの確保等）：６８．７％」、「②パーティション・テント等によるスペースの確保：６５．６％」と続く。



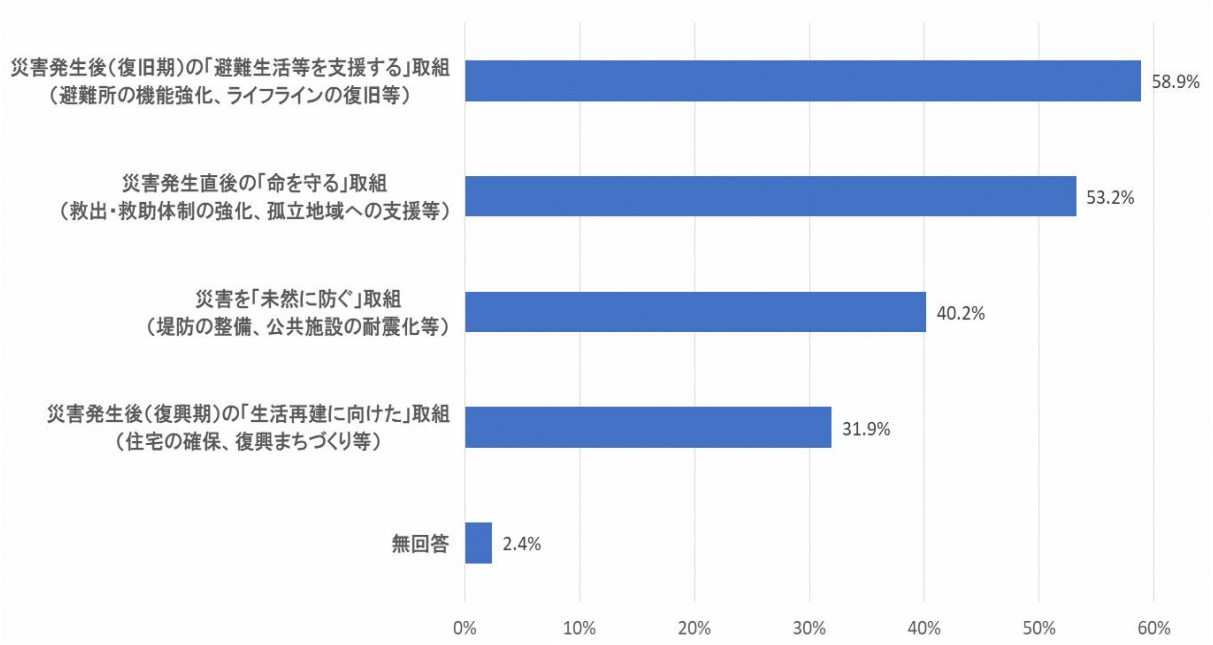
避難所における新型コロナウイルス感染症対策で気になること（N=2032）

問 40　災害の局面ごとの取組のうち、特に行政に期待するものはどれですか。（○を２つまで）

①　災害を「未然に防ぐ」取組 （堤防の整備、公共施設の耐震化等） ②　災害発生直後の「命を守る」取組 （救出・救助体制の強化、孤立地域への支援等） ③　災害発生後（復旧期）の「避難生活等を支援する」取組 （避難所の機能強化、ライフラインの復旧等） ④　災害発生後（復興期）の「生活再建に向けた」取組 （住宅の確保、復興まちづくり等）

【新設問】

「③災害発生後（復旧期）の『避難生活等を支援する』取組：５８．９％」が最も高く、次いで「②災害発生直後の『命を守る』取組：５３．２％」、「①災害を『未然に防ぐ』取組：４０．２％」と続く。



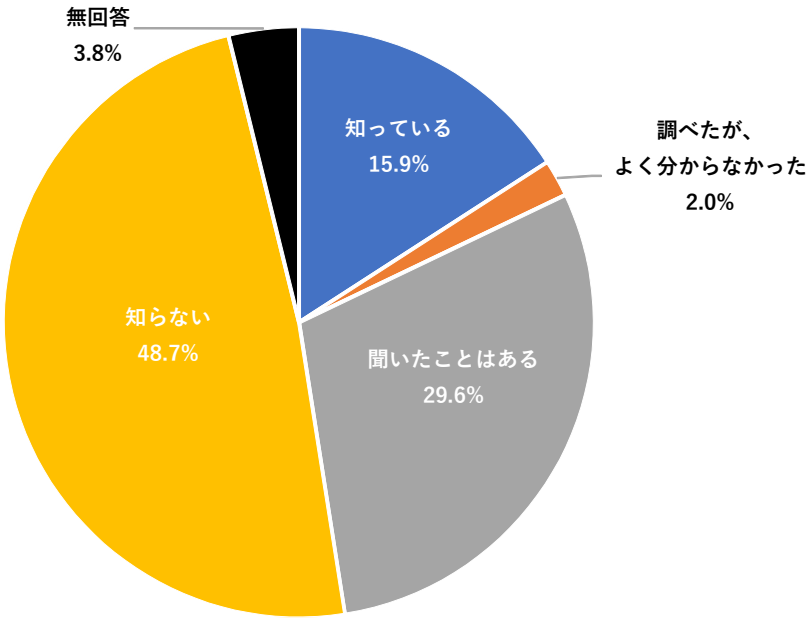
行政に期待する取組（N=2032）

問 41　「事前復興」という言葉の意味を知っていますか。（１つだけ○）

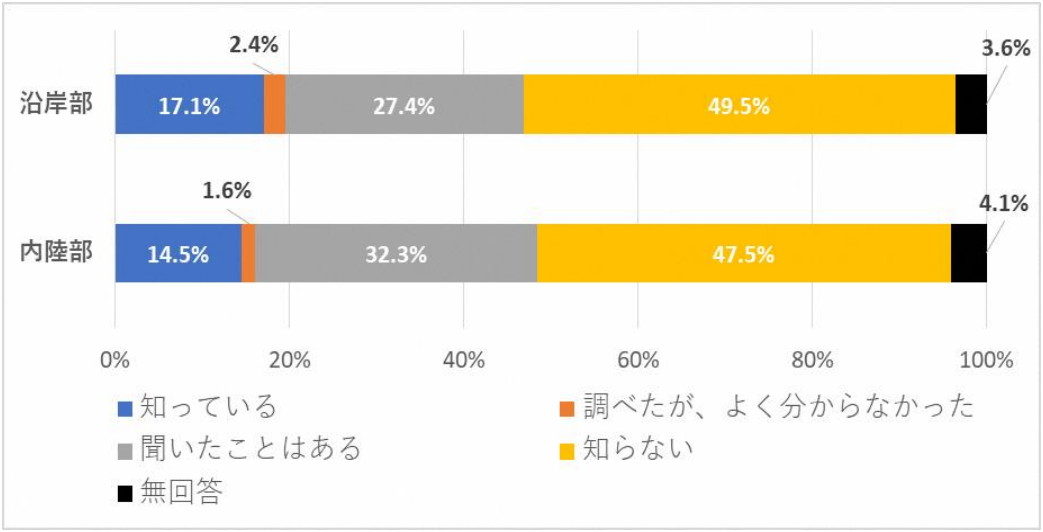
① 知っている
② 調べたが、よく分からなかった
③ 聞いたことはある
④ 知らない

「④知らない：４８．７％（５８．３％）」が最も高く、次いで「③聞いたことはある：２９．６％（２９．５％）」、「①知っている：１５．９％（８．５％）」と続く。

これらから、「知っている、聞いたことはある（①、③）」は、４５．５％（３８．０％）となる。



事前復興の認知（N=2032）



区域別の事前復興の認知（沿岸部 N=1145、内陸部 N=878）

問 41a 問 41 で「①知っている」と回答した方にお聞きします。

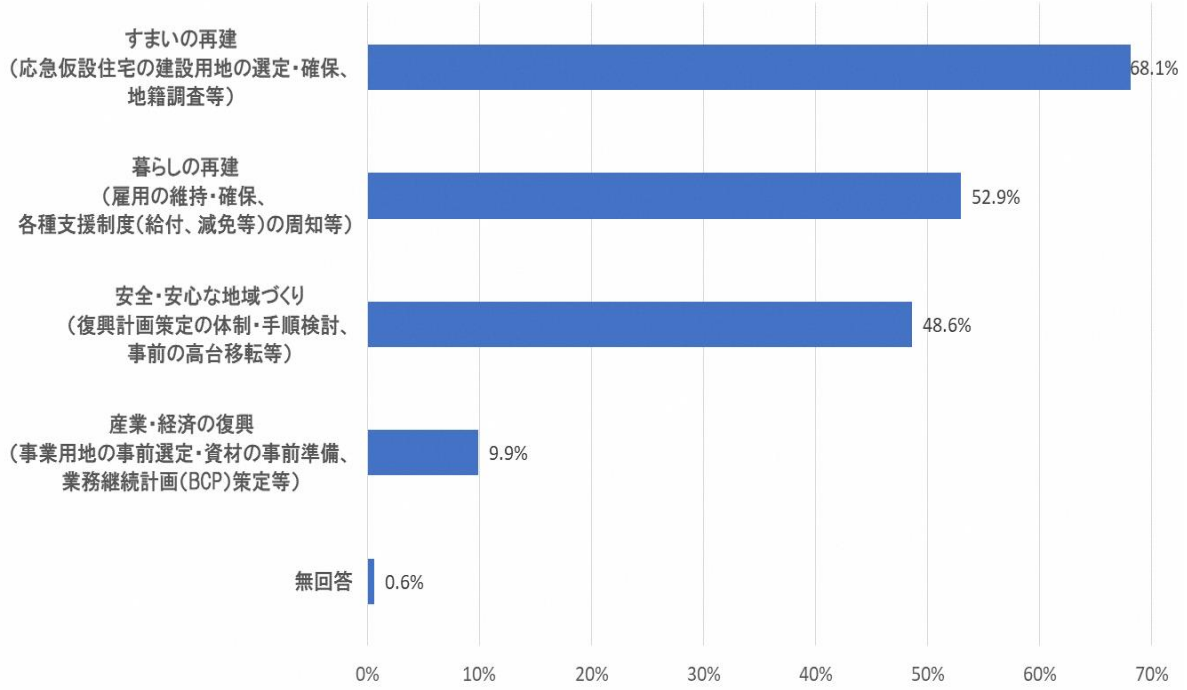
「事前復興」に関するどの分野の取組み（準備・実践）が特に重要だと思いますか。

（○を２つまで）

① すまいの再建 （応急仮設住宅の建設用地の選定・確保、地籍調査等） ② 暮らしの再建 （雇用の維持・確保、各種支援制度（給付、減免等）の周知等） ③ 安全・安心な地域づくり （復興計画策定の体制・手順検討、事前の高台移転等） ④ 産業・経済の復興 （事業用地の事前選定・資材の事前準備、業務継続計画（BCP）策定等）

【新設問】

「①すまいの再建：６８．１％」が最も高く、次いで「②暮らしの再建：５２．９％」、「③安全・安心な地域づくり：４８．６％」と続く。



事前復興で重要な取組（N=323）

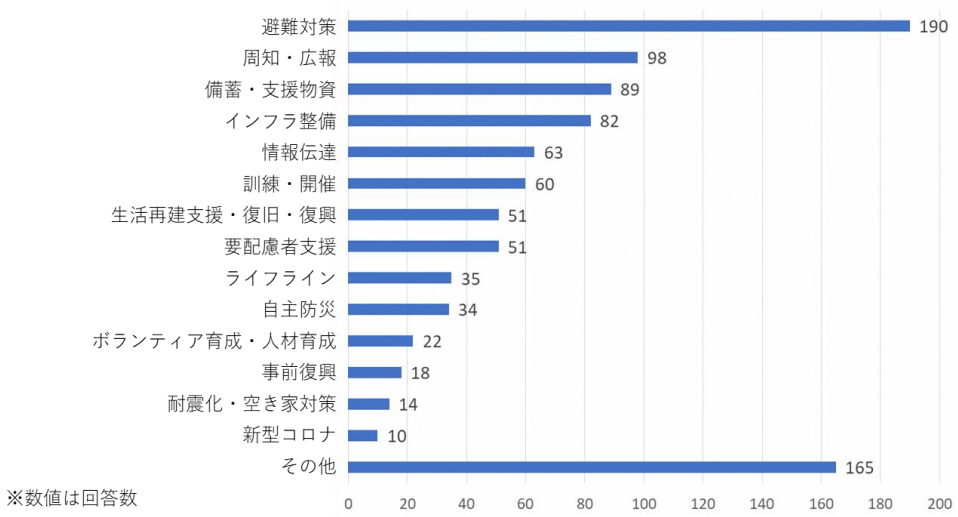
問 42　最後に、県や市町村にどのような地震防災対策を望みますか。どんなことでもお書きください。（自由記載）

県や市町村へ期待する地震防災対策に関する回答状況について、下記に示す基準で分類・整理した結果を示す。

分類項目	県や市町村への期待で記されている事項・キーワード
情報伝達	被害発生時の情報伝達 （正確な情報，迅速な情報提供，情報伝達に関わるインフラ整備，防災無線等の充実）
周知・広報	平時の防災関連情報の周知・広報 （正確な情報，定期的な情報提供，分かりやすい情報提供，県・市町村の取組）
訓練・開催	防災訓練，講演会・研修会の開催
避難対策	避難路や避難場所，避難所の整備・機能強化 （安全対策，施設確保，避難誘導，トイレ等衛生対策，ペット対策）
インフラ整備	海岸（堤防），道路，河川（堤防・護岸）等の社会資本整備
備蓄・支援物資	行政機関による備蓄，支援物資（水，食糧等）の充実，物資輸送体制の整備， 個人・地域の備蓄に対する支援
自主防災	平時の地域防災対策の充実，自主防災組織の組織化
ライフライン	上下水道・電気・ガス・通信等の強靱化 （設備の耐震化，無電柱化，迅速な復旧）
耐震化・空き家対策	耐震化，家具固定の支援・空き家の撤去・ブロック塀対策
ボランティア育成・人材育成	防災リーダー・ボランティア人材の育成，消防職員等の増員
生活再建支援・復旧・復興	生活再建（住宅補修や家財購入等），復興支援
事前復興	高台移転，復興準備，仮設住宅の確保
要配慮者支援	高齢者，障がい者等の避難対策，分かりやすい配慮の充実
新型コロナ	コロナ禍，避難所の感染予防（感染症対策，３密対策）
その他	上記以外のコメント

避難場所（津波避難タワーや高台）や避難路の整備、避難所の機能強化などの「避難対策」が最も多い。

次いで多かったのが、防災に関する「周知・広報」、「備蓄・支援物資」、道路・河川・堤防などの「インフラ整備」である。



県や市町村へ期待する地震防災対策（N=678）

なお、その他に分類した記載として、下記のようなコメントがある。

救命胴衣等無料配布若しくは安価で提供してほしい。個別各家庭ごと、対策指導してほしい。	５０歳代・女性
想定外の災害に対応できる様に準備して、想定外と言わない対策をしてほしい。	４０歳代・男性
少ない予算で事業を行うことが想定されるので、できる限り無駄のない有効な対策を行っていただくようお願いしたい。	３０歳代・男性
災害に際して、自身は、個人や家族への対応を優先するが、行政の方には、公務としての役割を予め十分に検討され、地域住民に対しての支援を存分に実践していただきたい。	４０歳代・女性
今はコロナで地震の方にあまり意識がいっていませんでしたが、改めて、再度意識づけをしていきたいと思います。分かってないことが多く知ろうとしていないことに気付けました。機会を頂けた感じです。	５０歳代・女性
地震が起こることがわかるような方法はないか、研究を進めてもらいたい。	５０歳代・男性
一人ぐらしの方の安否状況の早急な確認	５０歳代・女性
最近は特にテレビ等で日本全国で地震・火山噴火のニュースが頻繁に聞こえて来ていますが、専門家の見解として南海トラフとの間連性は、ないように云っていますが、特にトカラ列島の様に１日に何十回～百回も地震が起こって住民は非常に不安な日々を過していますが‥南海地震も起こらないか心配です。地球温暖化の問題も本当に絵に書いた物語にならないように願いたいものです。	６０歳代・男性
防災対策、事前復興等、意識に対する県民の温度差をいかに無くすか、先進地の取り組み方を活用する徳島県独自の対策を考えて欲しいし、我々も自省する必要性を感じる。	４０歳代・女性
家族で地震について話し合って災害時に備えます。県や市町村も、話し合える、対策をよろしく。	６０歳代・女性
地域、地区に合った取り組み　→　住民参加	６０歳代・女性
高齢化のため、避難することが難しくなるため、地域の共助と公助のあり方を考えてほしい。	７０歳代・女性

2. 4 経年変化比較

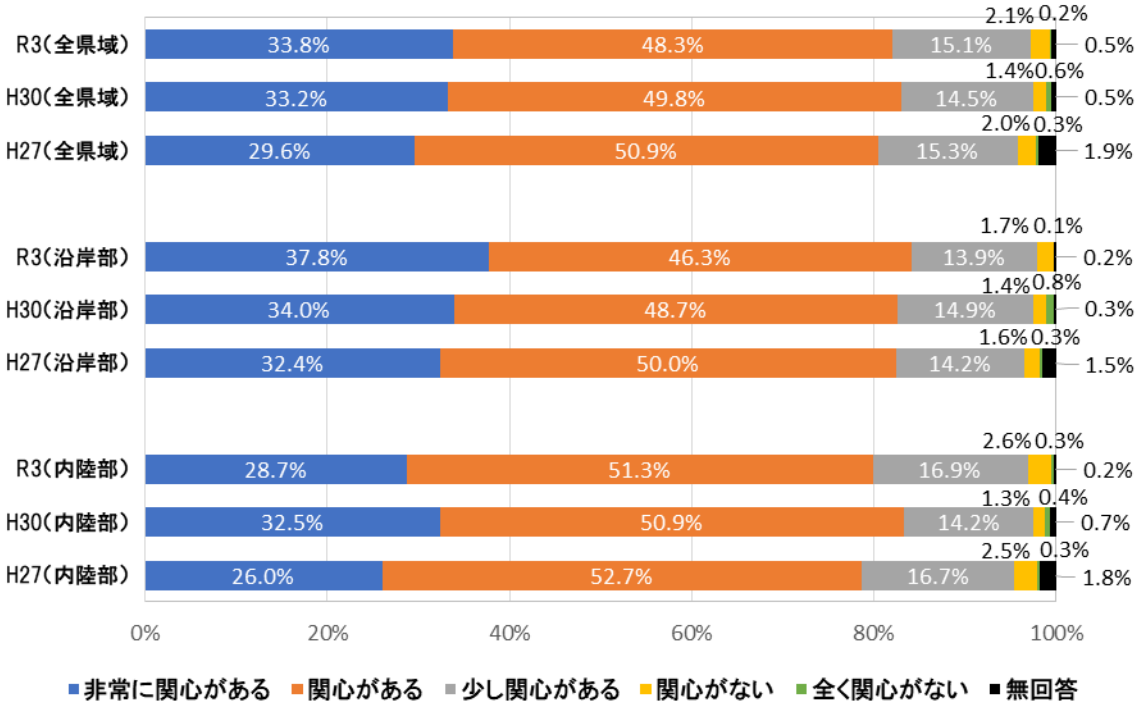
前回、前々回で調査している主な項目について、比較した結果を示す。

問 11　南海トラフ巨大地震にどの程度関心をもっていますか。（１つだけ○）

① 非常に関心がある	② 関心がある	③ 少し関心がある
④ 関心がない	⑤ 全く関心がない	

②関心がある
　Ｒ３：４８．３%、　Ｈ３０：４９．８%、　Ｈ２７：５０．９%
①非常に関心がある
　Ｒ３：３３．８%、　Ｈ３０：３３．２%、　Ｈ２７：２９．６%
③少し関心がある
　Ｒ３：１５．１%、　Ｈ３０：１４．５%、　Ｈ２７：１５．３%

これらから、「関心がある（①、②、③）」については、
　Ｒ３：９７．２%、　Ｈ３０：９７．５%、　Ｈ２７：９５．８%
となり、前回から０．３ポイント低下している。



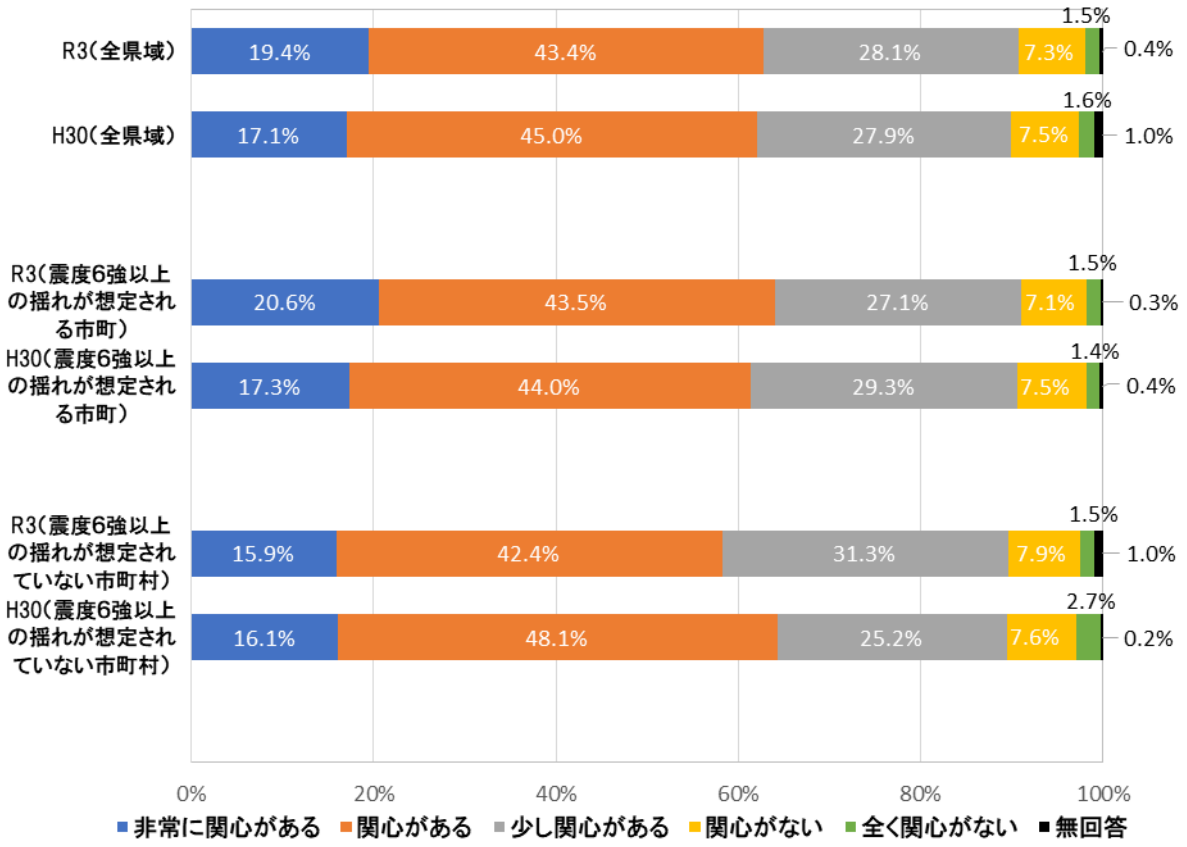
南海トラフ巨大地震の関心

問 13　中央構造線･活断層地震にどの程度関心をもっていますか。（１つだけ○）

① 非常に関心がある	② 関心がある	③ 少し関心がある
④ 関心がない	⑤ 全く関心がない	

②関心がある
　Ｒ３：４３．４％、　Ｈ３０：４５．０％、　Ｈ２７：調査なし
③少し関心がある
　Ｒ３：２８．１％、　Ｈ３０：２７．９％、　Ｈ２７：調査なし
①非常に関心がある
　Ｒ３：１９．４％、　Ｈ３０：１７．１％、　Ｈ２７：調査なし

これらから、「関心がある（①、②、③）」については、
　Ｒ３：９０．９％、　Ｈ３０：９０．０％、　Ｈ２７：調査なし
となり、前回から０．９ポイント上昇している。



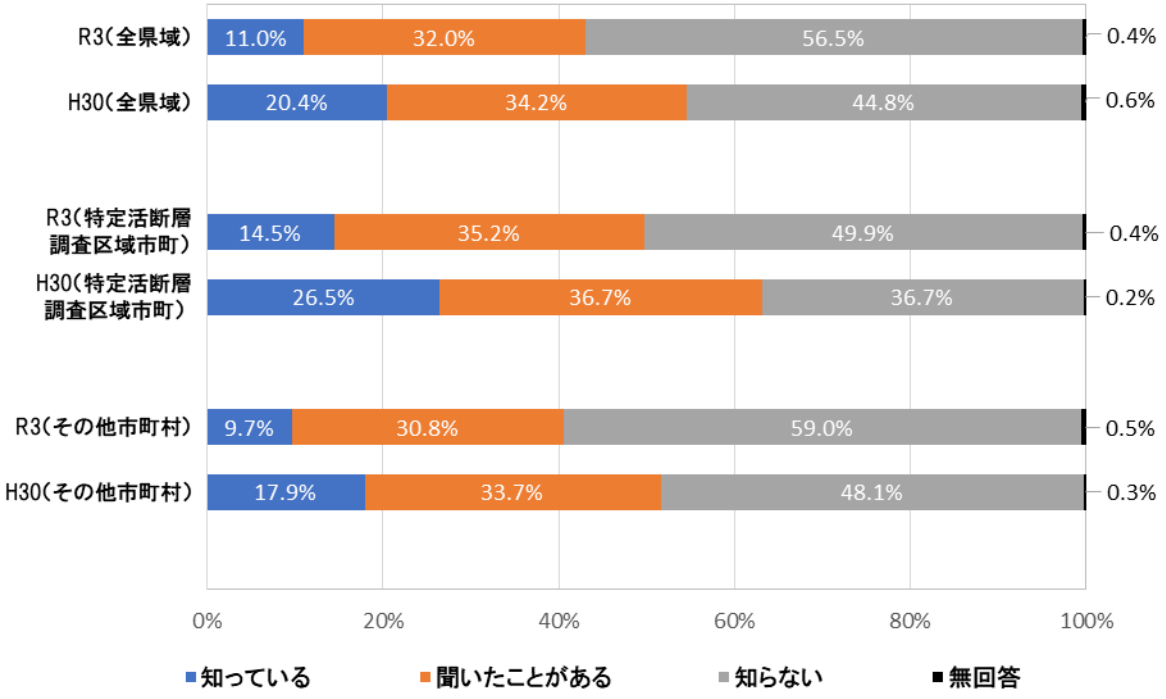
中央構造線･活断層地震の関心

問 15　徳島県が「特定活断層調査区域」を条例で定めていることを知っていますか。
（１つだけ○）

① 知っている	② 聞いたことがある	③ 知らない

③知らない
　Ｒ３：５６．５％、　Ｈ３０：４４．８％、　Ｈ２７：調査なし
②聞いたことがある
　Ｒ３：３２．０％、　Ｈ３０：３４．２％、　Ｈ２７：調査なし
①知っている
　Ｒ３：１１．０％、　Ｈ３０：２０．４％、　Ｈ２７：調査なし

これらから、「知っている、聞いたことがある（①、②）」については、
　Ｒ３：４３．０％、　Ｈ３０：５４．６％、　Ｈ２７：調査なし
となり、前回から１１．６ポイント低下している。



特定活断層調査区域の認知

問 16　平常時に、防災に関する情報をどこから入手していますか。（当てはまるものすべてに○）

① テレビ	② ラジオ
③ 新聞	④ 雑誌
⑤ 地震や災害の専門書	⑥ 県や市町村の広報誌
⑦ Web サイト（ホームページ等）	⑧ 電子メール
⑨ 防災アプリ	⑩ SNS（Twitter、Facebook、LINE 等）
⑪ 家族から	⑫ 友人・知人から
⑬ 町内会・自治会を通じて	⑭ 消防署・消防団を通じて
⑮ どこからも入手していない	
⑯ その他（　　）	

①テレビ

Ｒ３：９１．０％、　Ｈ３０：９２．２％、　Ｈ２７：９２．２％

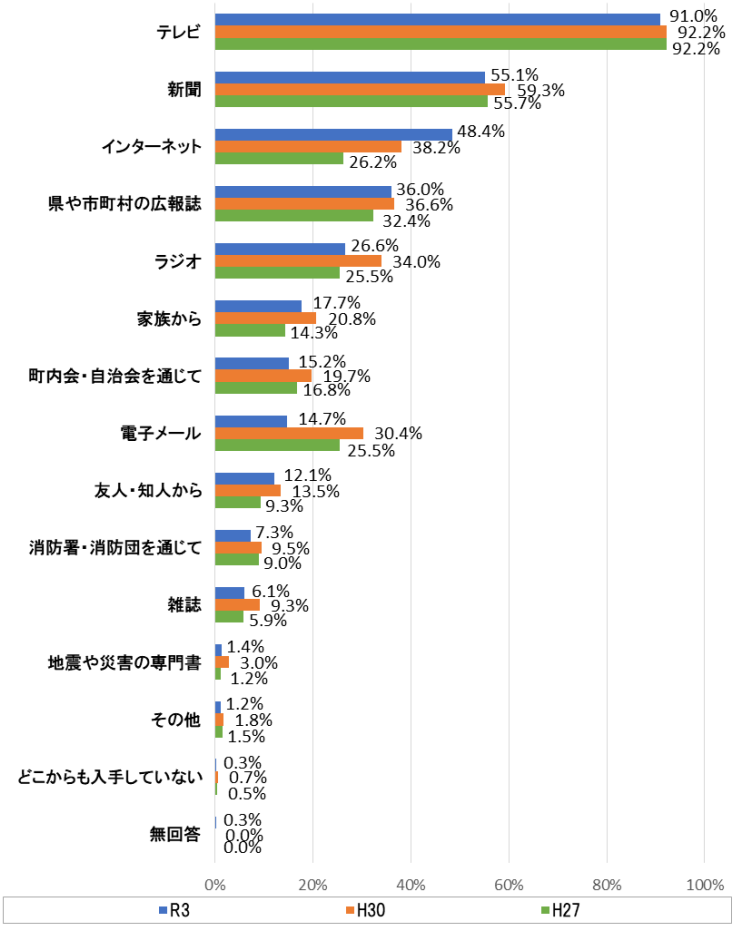
③新聞

Ｒ３：５５．１％、　Ｈ３０：５９．３％、　Ｈ２７：５５．７％

⑦⑨⑩インターネット（Web サイト、防災アプリ、SNS）

Ｒ３：４８．４％、　Ｈ３０：３８．２％、　Ｈ２７：２６．２％

特に、「インターネット」については、前回から１０．２ポイント上昇している。



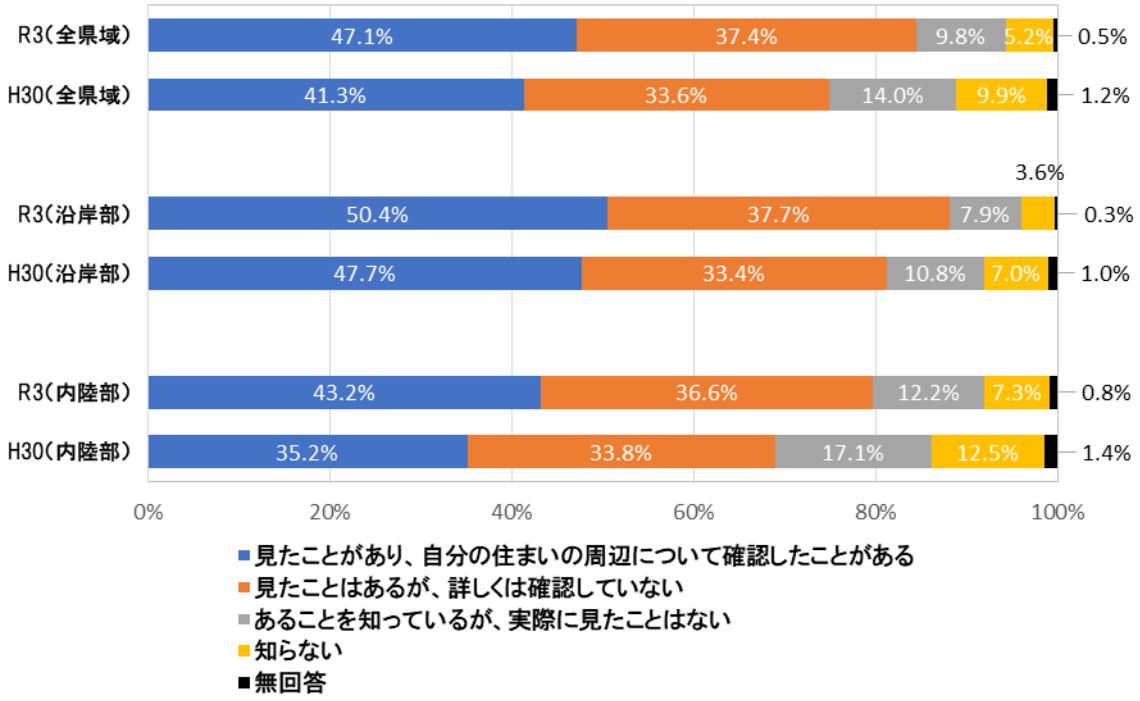
平常時の防災情報の入手方法

問 17　市町村などが作成しているお住まいの地域のハザードマップを見たことはありますか。
（１つだけ○）

①　見たことがあり、自分の住まいの周辺について確認したことがある
②　見たことはあるが、詳しくは確認していない
③　あることを知っているが、実際に見たことはない
④　知らない

①見たことがあり、自分の住まいの周辺について確認したことがある
　Ｒ３：４７．１%、　Ｈ３０：４１．３%、　Ｈ２７：調査なし
②見たことはあるが、詳しくは確認していない
　Ｒ３：３７．４%、　Ｈ３０：３３．６%、　Ｈ２７：調査なし
③あることを知っているが、実際に見たことはない
　Ｒ３：　９．８%、　Ｈ３０：１４．０%、　Ｈ２７：調査なし

これらから、「見たことがある（①、②）」については、
　Ｒ３：８４．５%、　Ｈ３０：７４．９%、　Ｈ２７：調査なし
となり、前回から９．６ポイント上昇している。



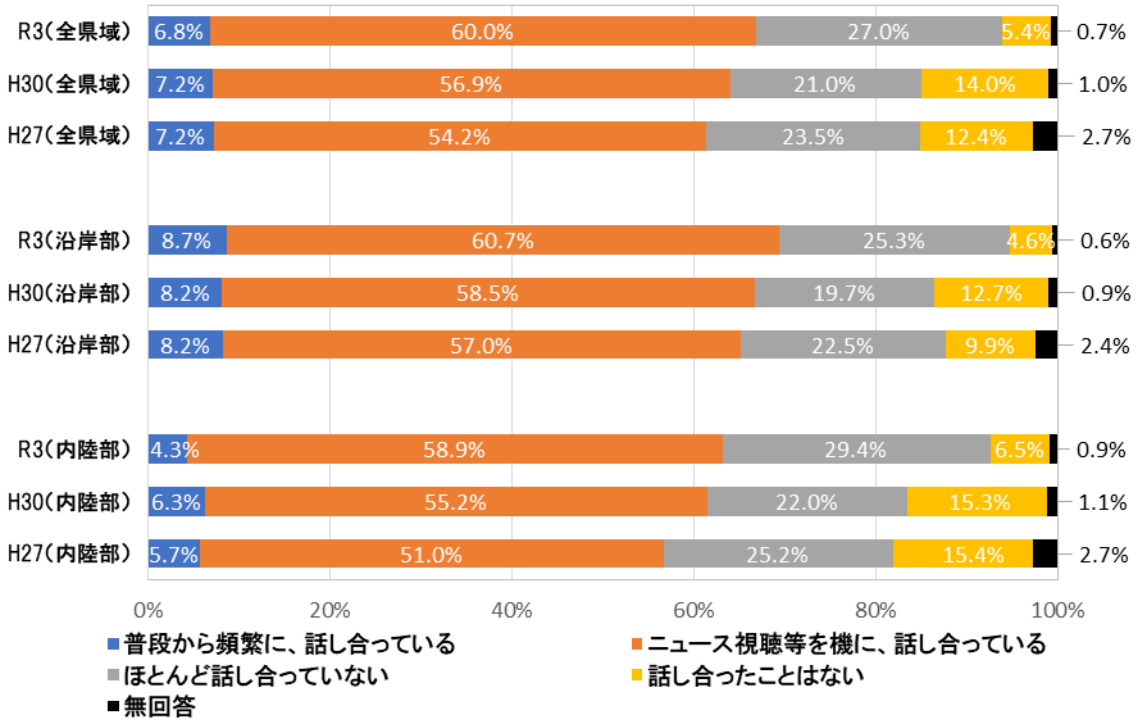
ハザードマップの認知

問 18　御家族と、地震等の災害について話し合ったことはありますか。（１つだけ○）

①　普段から頻繁に、話し合っている
②　ニュース視聴等を機に、話し合っている
③　ほとんど話し合っていない
④　話し合ったことはない

②ニュース視聴等を機に、話し合っている
　Ｒ３：６０．０％、　Ｈ３０：５６．９％、　Ｈ２７：５４．２％
③ほとんど話し合っていない
　Ｒ３：２７．０％、　Ｈ３０：２１．０％、　Ｈ２７：２３．５％
①普段から頻繁に、話し合っている
　Ｒ３：　６．８％、　Ｈ３０：　７．２％、　Ｈ２７：　７．２％

これらから、「話し合っている（①、②）」については、
　Ｒ３：６６．８％、　Ｈ３０：６４．１％、　Ｈ２７：６１．４％
となり、前回から２．７ポイント上昇している。



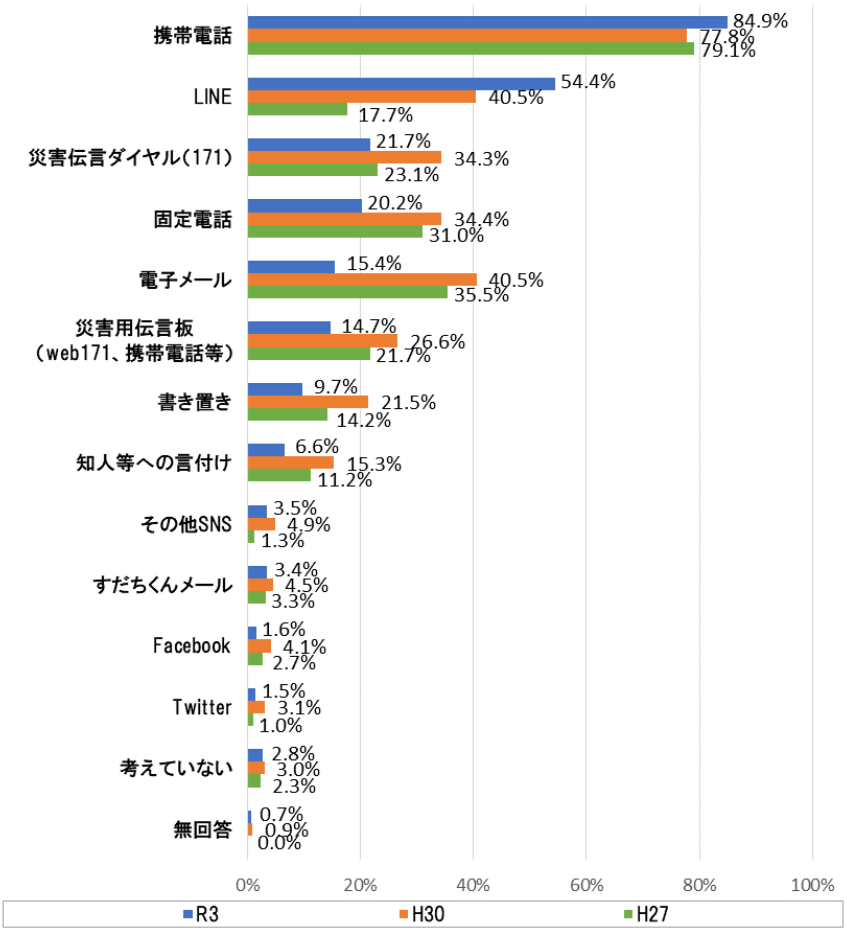
家族との地震等の対策についての話し合い

問 19　御家族等の安否確認には、以下のどの方法を使用しますか。（当てはまるものすべてに○）

① 災害伝言ダイヤル（171）	② 災害用伝言板（web171、携帯電話等）
③ すだちくんメール	④ 固定電話
⑤ 携帯電話	⑥ 電子メール
⑦ Twitter	⑧ Facebook
⑨ LINE	⑩ その他 SNS
⑪ 知人等への言付け	⑫ 書き置き
⑬ 考えていない	

⑤携帯電話
　Ｒ３：８４．９％、　Ｈ３０：７７．８％、　Ｈ２７：７９．１％
⑨ＬＩＮＥ
　Ｒ３：５４．４％、　Ｈ３０：４０．５％、　Ｈ２７：１７．７％
①災害伝言ダイヤル（171）
　Ｒ３：２１．７％、　Ｈ３０：３４．３％、　Ｈ２７：２３．１％

特に、「⑨ＬＩＮＥ」については、前回から１３．９ポイント上昇している。
一方、前回２番目に高かった「⑥電子メール」については、
　Ｒ３：１５．４％、　Ｈ３０：４０．５％、　Ｈ２７：３５．５％
となり、前回から２５．１ポイント低下している。



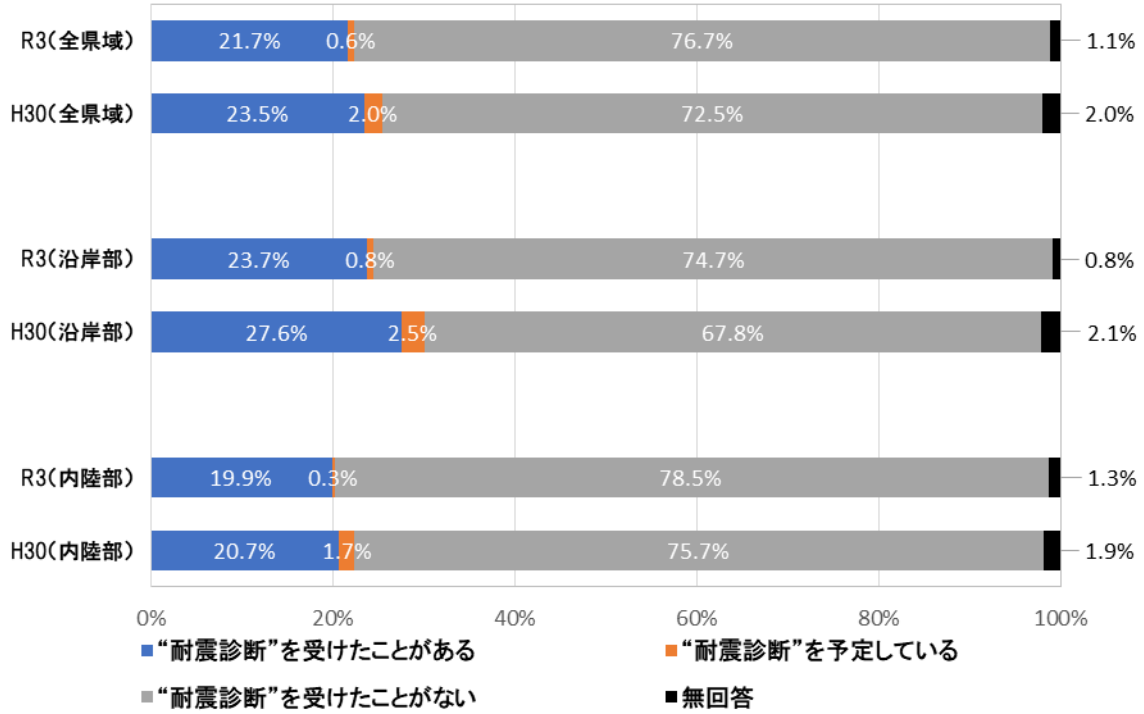
災害時における家族の安否確認方法

問 21a 問 21 で「①木造住宅（昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工）」と回答した方にお聞きします。
御自宅について、専門家による“耐震診断”を受けたことがありますか。（１つだけ○）

① “耐震診断”を受けたことがある
② “耐震診断”を予定している
③ “耐震診断”を受けたことがない

③“耐震診断”を受けたことがない
Ｒ３：７６．７％、　Ｈ３０：７２．５％、　Ｈ２７：比較可能調査なし
①“耐震診断”を受けたことがある
Ｒ３：２１．７％、　Ｈ３０：２３．５％、　Ｈ２７：比較可能調査なし
②“耐震診断”を予定している
Ｒ３：　０．６％、　Ｈ３０：　２．０％、　Ｈ２７：比較可能調査なし

これらから、「“耐震診断”を受けた、受ける予定（①、②）」については、
Ｒ３：２２．３％、　Ｈ３０：２５．５％、　Ｈ２７：比較可能調査なし
となり、前回から３．２ポイント低下している。



耐震診断の受診状況

問 21b 問 21a で「①“耐震診断”を受けたことがある」または「② “耐震診断”を予定している」と回答した方にお聞きします。

御自宅について、“耐震改修”を実施（または予定）されていますか。（１つだけ○）

① “耐震改修”している
② “耐震改修”を具体的に予定している
③ “耐震改修”をいずれ予定している
④ “耐震改修”の予定はない

④“耐震改修”の予定はない

Ｒ３：４９．６％、　Ｈ３０：７４．５％、　Ｈ２７：比較可能調査なし

①“耐震改修”している

Ｒ３：２８．１％、　Ｈ３０：　９．７％、　Ｈ２７：比較可能調査なし

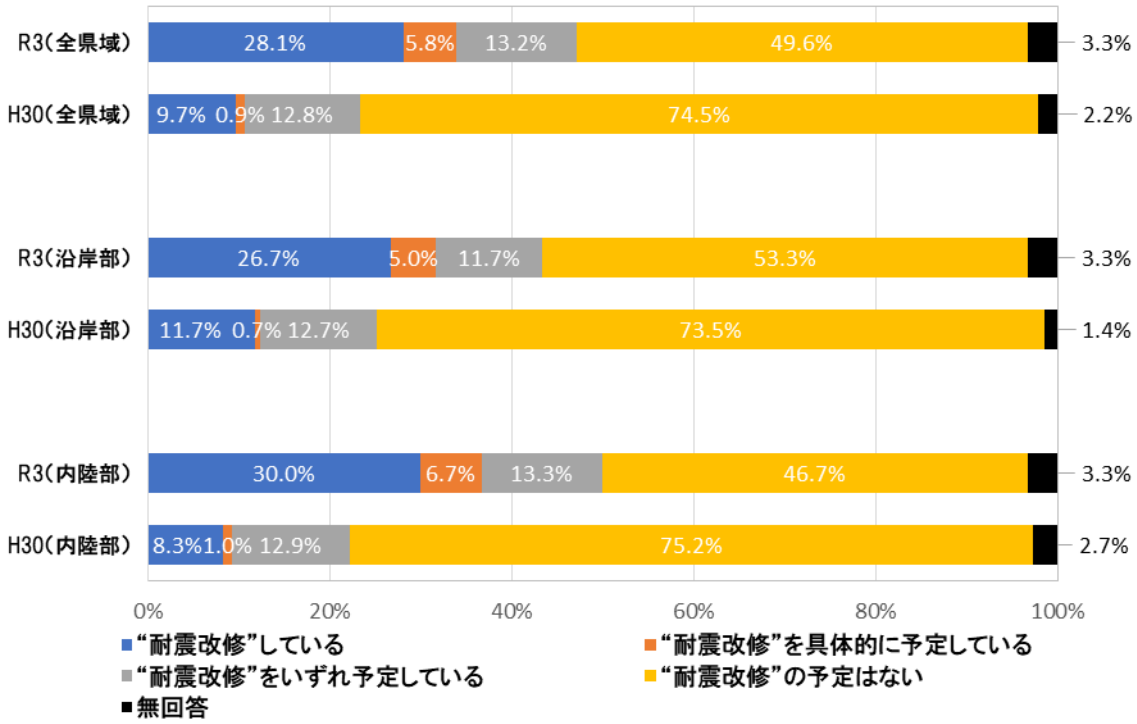
③“耐震改修”をいずれ予定している

Ｒ３：１３．２％、　Ｈ３０：１２．８％、　Ｈ２７：比較可能調査なし

なお、「“耐震改修”を実施、予定している（①，②、③）」については、

Ｒ３：４７．１％、　Ｈ３０：２３．４％、　Ｈ２７：比較可能調査なし

となり、前回から２３．７ポイント上昇している。



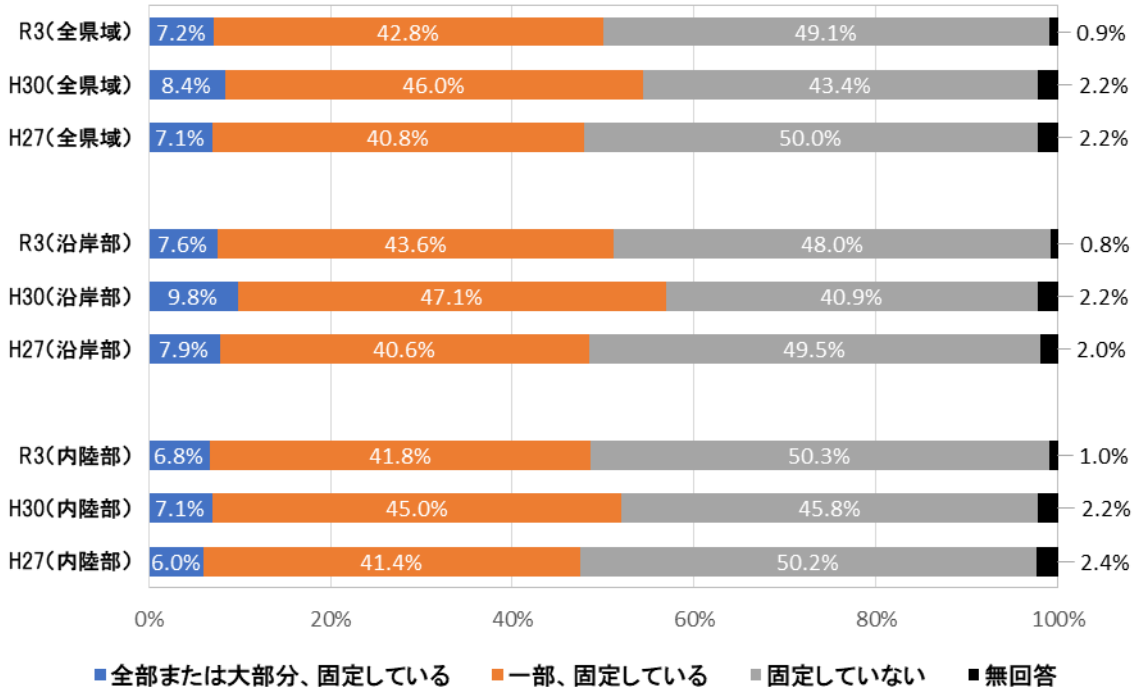
耐震改修の実施状況

問 22　御自宅では家具を固定していますか。（１つだけ○）

①　全部または大部分、固定している ②　一部、固定している ③　固定していない

③固定していない
　Ｒ３：４９．１％、　Ｈ３０：４３．４％、　Ｈ２７：５０．０％
②一部、固定している
　Ｒ３：４２．８％、　Ｈ３０：４６．０％、　Ｈ２７：４０．８％
①全部または大部分、固定している
　Ｒ３：　７．２％、　Ｈ３０：　８．４％、　Ｈ２７：　７．１％

これらから、「固定している（①、②）」については、
　Ｒ３：５０．０％、　Ｈ３０：５４．４％、　Ｈ２７：４７．９％
となり、前回から４．４ポイント低下している。



自宅の家具の固定状況

問 24　災害時の備えとして最低でも１人当たり３日分の「水・食糧」を備蓄することが推奨されていますが、あなたのお宅では、おおよそ何日分の「水・食糧」を備蓄していますか。

（水、食糧それぞれ１つだけ○）

水	①　１日分	②　２日分	③　３日分
	④　4～6 日分	⑤　７日分以上	⑥　準備していない

⑥準備していない

Ｒ３：２７．８％、　Ｈ３０：２８．８％、　Ｈ２７：調査なし

③３日分

Ｒ３：２０．０％、　Ｈ３０：１９．９％、　Ｈ２７：調査なし

②２日分

Ｒ３：１８．６％、　Ｈ３０：１８．７％、　Ｈ２７：調査なし

なお、「備蓄している（①～⑤）」については、

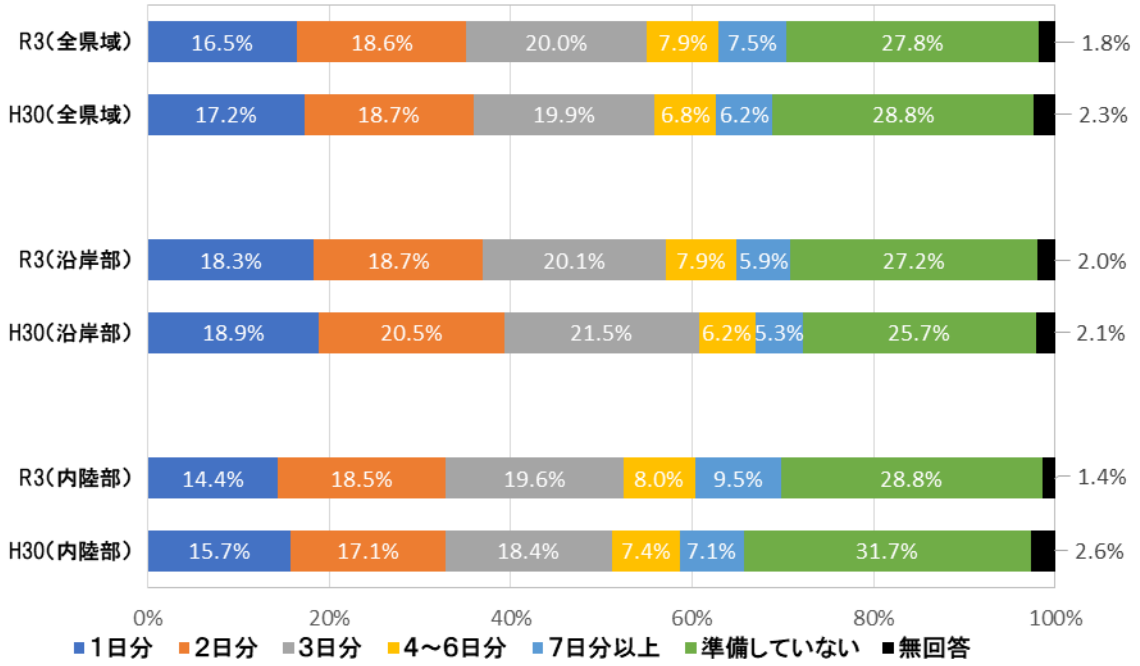
Ｒ３：７０．５％、　Ｈ３０：６８．８％、　Ｈ２７：調査なし

となり、前回から１．７ポイント上昇している。

また、水の備蓄で推奨されている「３日分以上備蓄（③～⑤）」については、

Ｒ３：３５．４％、　Ｈ３０：３２．９％、　Ｈ２７：調査なし

となり、前回から２．５ポイント上昇している。



水の備蓄

食糧	① 1日分	② 2日分	③ 3日分
	④ 4～6日分	⑤ 7日分以上	⑥ 準備していない

⑥準備していない

Ｒ３：２４．２％、　Ｈ３０：２８．２％、　Ｈ２７：３３．１％

③３日分

Ｒ３：２２．０％、　Ｈ３０：２３．０％、　Ｈ２７：２３．７％

②２日分

Ｒ３：１８．１％、　Ｈ３０：２０．７％、　Ｈ２７：１４．８％

なお、「備蓄している（①～⑤）」については、

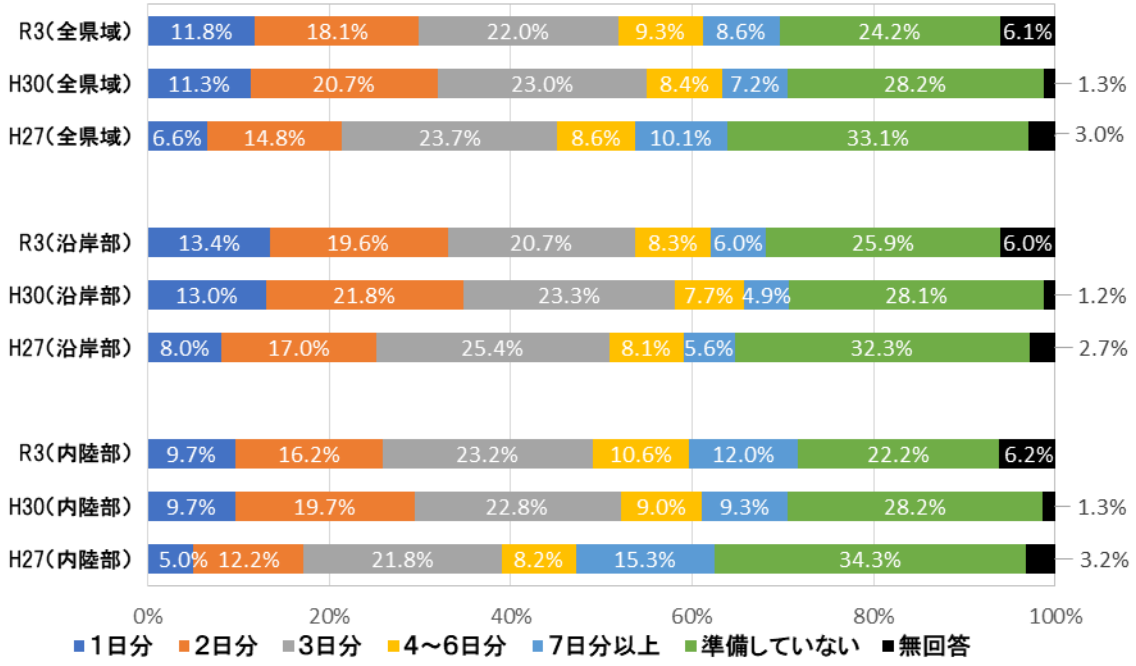
Ｒ３：６９．８％、　Ｈ３０：７０．６％、　Ｈ２７：６３．８％

となり、前回から０．８ポイント低下している。

また、食糧の備蓄で推奨されている「３日分以上備蓄（③～⑤）」については、

Ｒ３：３９．９％、　Ｈ３０：３８．６％、　Ｈ２７：４２．４％

となり、前回から１．３ポイント上昇している。



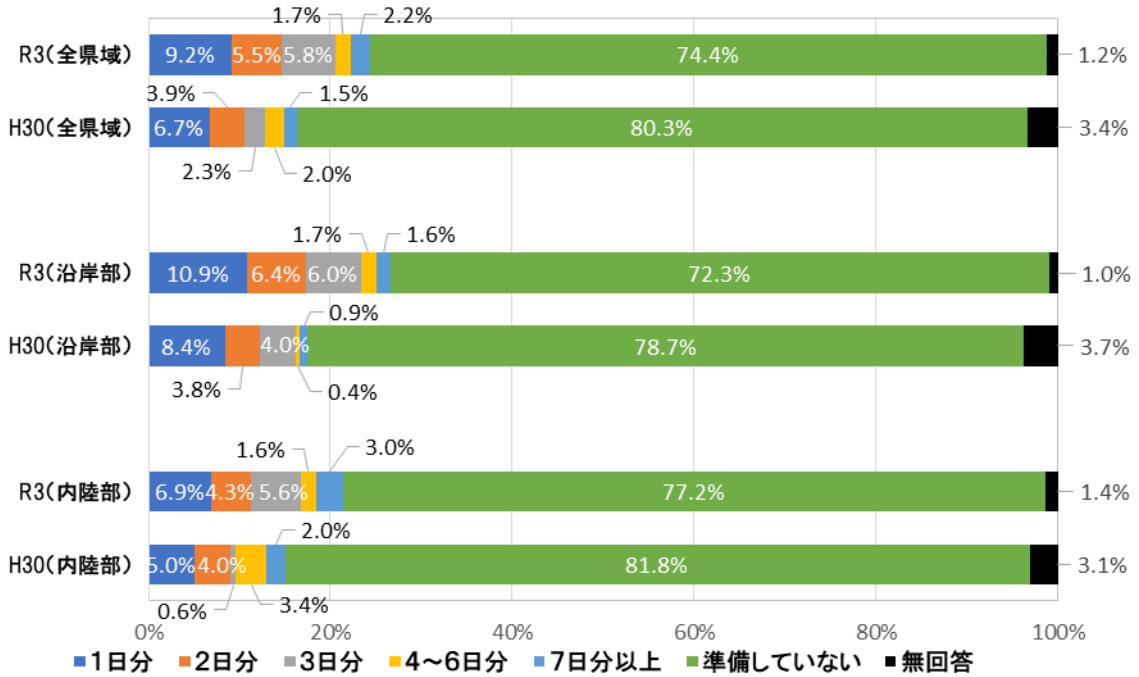
食糧の備蓄

問 25　徳島県が策定した「災害時快適トイレ計画」では、自助の備えとして１人１日当たり５回分の携帯トイレを最低でも３日間備蓄することとなっていますが、あなたのお宅では「携帯トイレ・簡易トイレ」などの災害用トイレを何日分備蓄していますか。（１つだけ○）

①　１日分	②　２日分	③　３日分
④　4～6 日分	⑤　７日分以上	⑥　準備していない

⑥準備していない
　Ｒ３：７４．４％、　Ｈ３０：８０．３％、　Ｈ２７：調査なし
①１日分
　Ｒ３：　９．２％、　Ｈ３０：　６．７％、　Ｈ２７：調査なし
②２日分
　Ｒ３：　５．５％、　Ｈ３０：　３．９％、　Ｈ２７：調査なし

なお、「備蓄している（①～⑤）」については、
　Ｒ３：２４．４％、　Ｈ３０：１６．４％、　Ｈ２７：調査なし
となり、前回から８．０ポイント上昇している。
また、「３日分以上備蓄（③～⑤）」については、
　Ｒ３：　９．７％、　Ｈ３０：　５．８％、　Ｈ２７：調査なし
となり、前回から３．９ポイント上昇している。



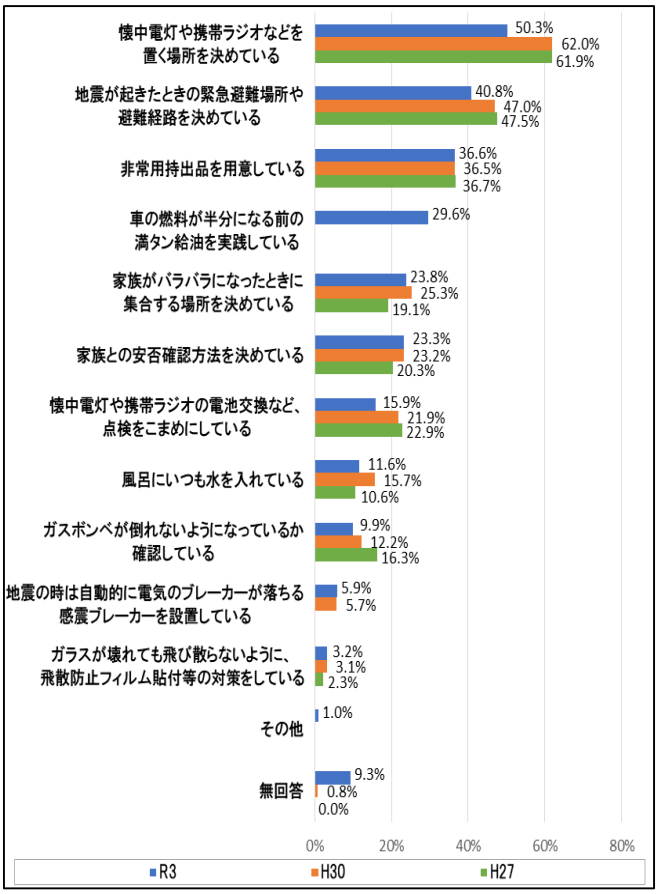
災害用トイレの備蓄

問 27　その他、お宅で行っている地震防災対策はどれですか。（当てはまるものすべてに○）

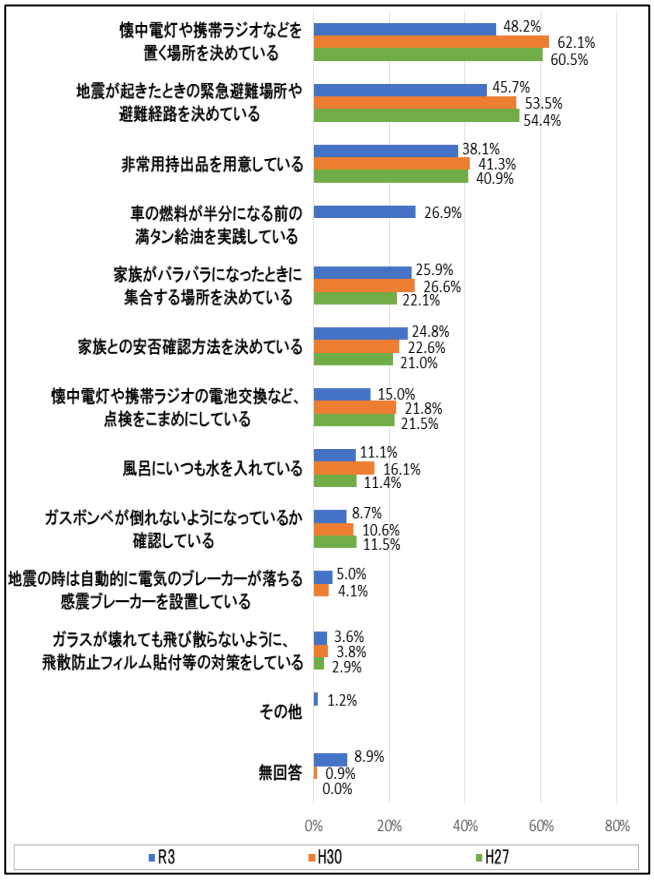
① 地震が起きたときの緊急避難場所や避難経路を決めている
② 家族との安否確認方法を決めている
③ 家族がバラバラになったときに集合する場所を決めている
④ 風呂にいつも水を入れている
⑤ ガラスが壊れても飛び散らないように、飛散防止フィルム貼付等の対策をしている
⑥ ガスボンベが倒れないようになっているか確認している
⑦ 懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている
⑧ 懐中電灯や携帯ラジオの電池交換など、点検をこまめにしている
⑨ 非常用持出品を用意している
⑩ 地震の時は自動的に電気のブレーカーが落ちる感震ブレーカーを設置している
⑪ 車の燃料が半分になる前の満タン給油を実践している
⑫ その他（　　）

⑦懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている
　Ｒ３：５０．３％、　Ｈ３０：６２．０％、　Ｈ２７：６１．９％
①地震が起きたときの緊急避難場所や避難経路を決めている
　Ｒ３：４０．８％、　Ｈ３０：４７．０％、　Ｈ２７：４７．５％
⑨非常用持出品を用意している
　Ｒ３：３６．６％、　Ｈ３０：３６．５％、　Ｈ２７：３６．７％

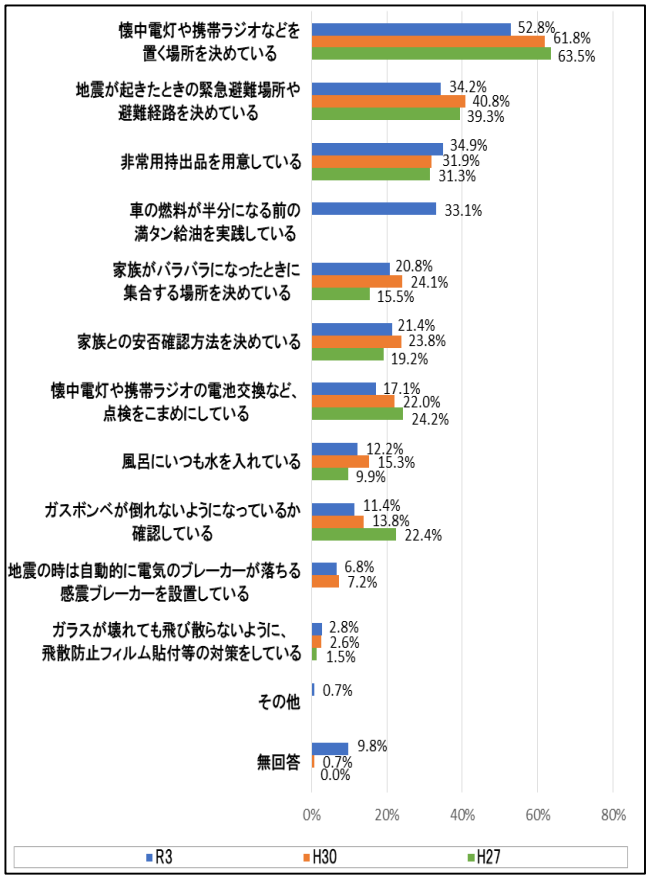
特に、「⑦懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている」については、前回から１１．７ポイント低下している。



全県域



沿岸部



内陸部

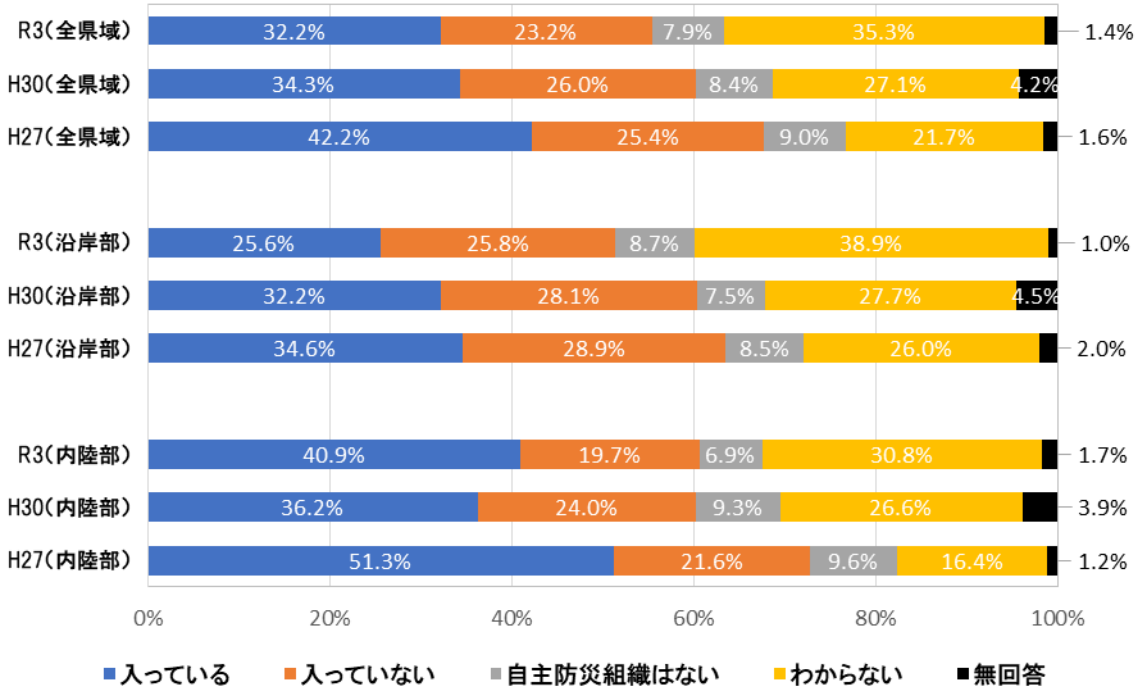
自宅での地震防災対策の実施状況

問 28　あなたのお宅は、地域の自主防災組織（※）に入っていますか。（１つだけ○）

①　入っている ②　入っていない ③　自主防災組織はない ④　分からない

④分からない
　Ｒ３：３５．３％、　Ｈ３０：２７．１％、　Ｈ２７：２１．７％
①入っている
　Ｒ３：３２．２％、　Ｈ３０：３４．３％、　Ｈ２７：４２．２％
②入っていない
　Ｒ３：２３．２％、　Ｈ３０：２６．０％、　Ｈ２７：２５．４％

特に、「④分からない」については、前回より８．２ポイント上昇している。



自主防災組織への加入状況

問 28a 問 28 で「①入っている」と回答した方にお聞きします。

あなたの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。（１つだけ○）

① 活発に活動している	② ある程度活動している
③ あまり活動していない	④ よく知らない

②ある程度活動している

Ｒ３：４６．４%、　Ｈ３０：４９．３%、　Ｈ２７：４４．４%

③あまり活動していない

Ｒ３：４０．３%、　Ｈ３０：２９．８%、　Ｈ２７：３３．８%

④よく知らない

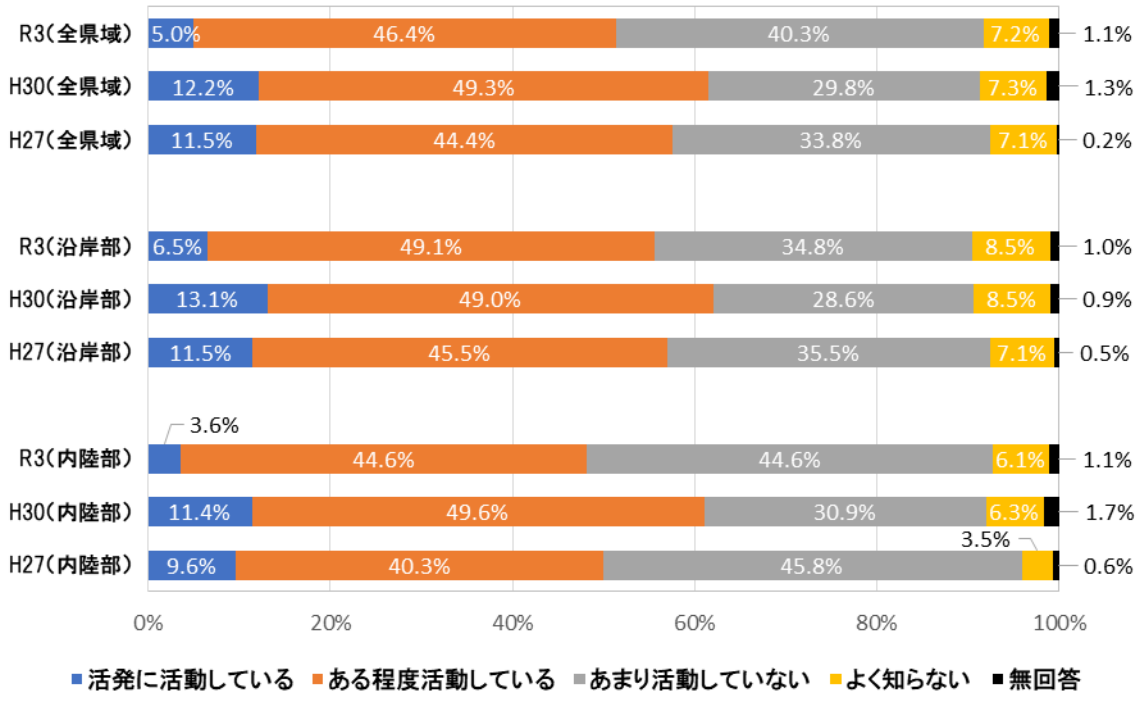
Ｒ３：　７．２%、　Ｈ３０：　７．３%、　Ｈ２７：　７．１%

特に、「③あまり活動していない」については、前回より１０．５ポイント上昇している。

なお、「活発である、ある程度活動している（①、②）」については、

Ｒ３：５１．４%、　Ｈ３０：６１．５%、　Ｈ２７：５５．９%

となり、前回から１０．１ポイント低下している。



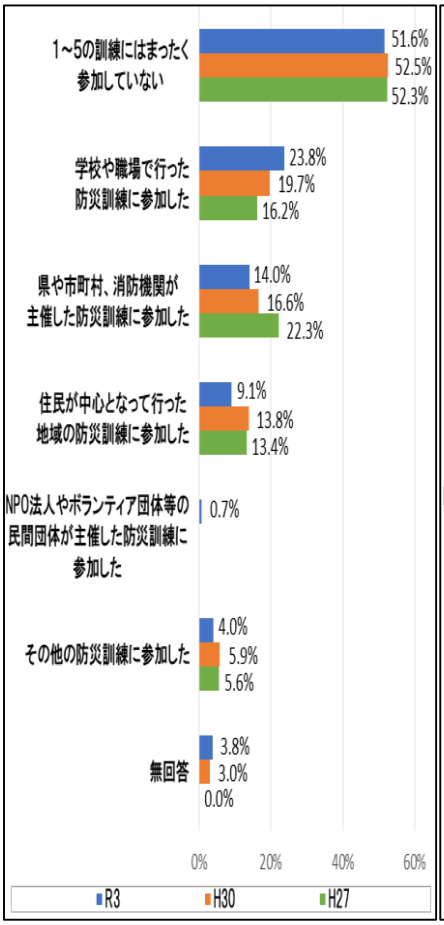
自主防災組織の活動状況

問 29　過去１年間に地域や職場の防災訓練に参加したことがありますか。（当てはまるものすべてに○）

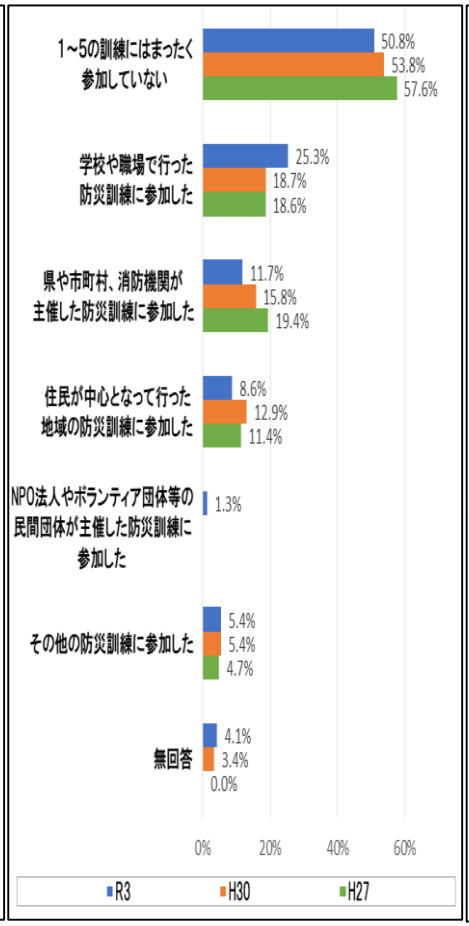
①　県や市町村、消防機関が主催した防災訓練に参加した
②　NPO 法人やボランティア団体等の民間団体が主催した防災訓練に参加した
③　住民が中心となって行った地域の防災訓練に参加した
④　学校や職場で行った防災訓練に参加した
⑤　その他の防災訓練に参加した
⑥　１～５の訓練にはまったく参加していない

⑥１～５の訓練にまったく参加していない
　Ｒ３：５１．６％、　Ｈ３０：５２．５％、　Ｈ２７：５２．３％
④学校や職場で行った防災訓練に参加した　※今回調査から「学校」を追加
　Ｒ３：２３．８％、　Ｈ３０：１９．７％、　Ｈ２７：１６．２％
①県や市町村、消防機関が主催した防災訓練に参加した
　Ｒ３：１４．０％、　Ｈ３０：１６．６％、　Ｈ２７：２２．３％

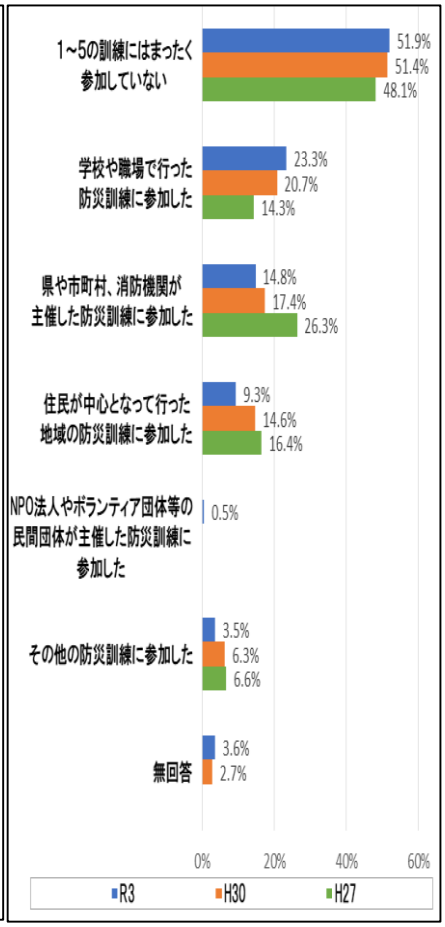
なお、「防災訓練に参加している（①～⑤いずれか１つ以上選択）」については、
　Ｒ３：４４．６％、　Ｈ３０：４４．５％、　Ｈ２７：４７．７％
となり、前回から０．１ポイント上昇している。



全県域



沿岸部



内陸部

防災訓練の参加状況

問 30　地域の防災力を高めるには、どの部分の強化が特に重要だと思いますか。（○を３つまで）

① 県や市町村等による広報活動	② 県や市町村等による防災講演会
③ 地域の自主防災組織	④ 防災訓練
⑤ 防災リーダーの育成・研修	⑥ 小中学校の防災教育
⑦ 地域の消防団	⑧ 地域コミュニティ
⑨ 地域における物資・資機材の備蓄（倉庫、水・食糧、毛布、スコップ、発電機等）	
⑩ その他（　　）	

⑨地域における物資・資機材の備蓄（新規）

Ｒ３：４７．３％

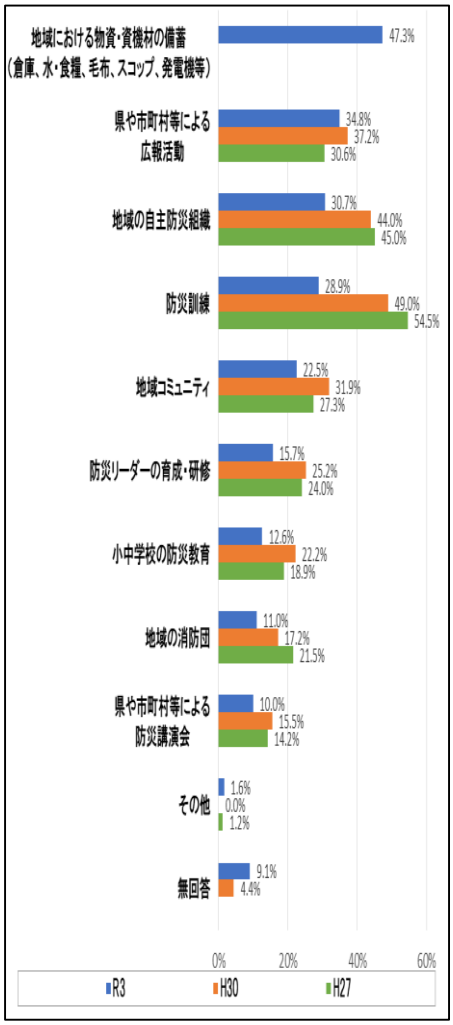
①県や市町村等による広報活動

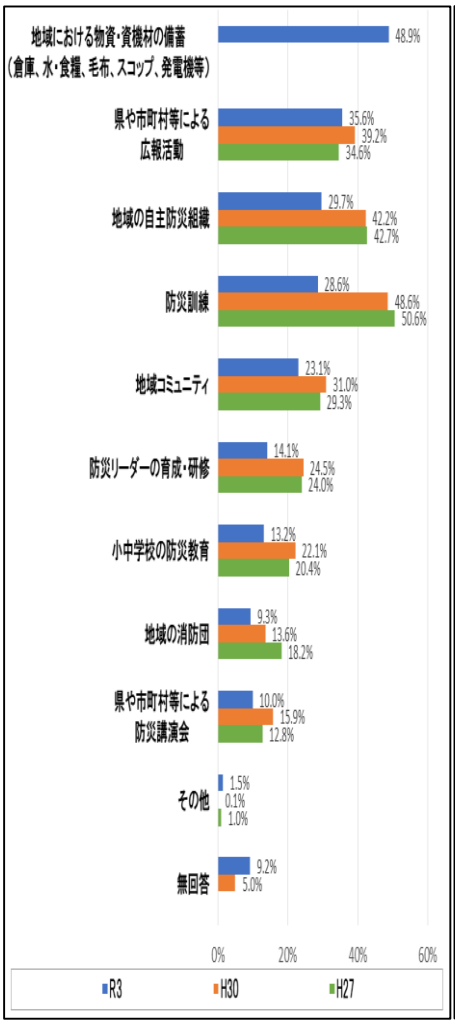
Ｒ３：３４．８％、　Ｈ３０：３７．２％、　Ｈ２７：３０．６％

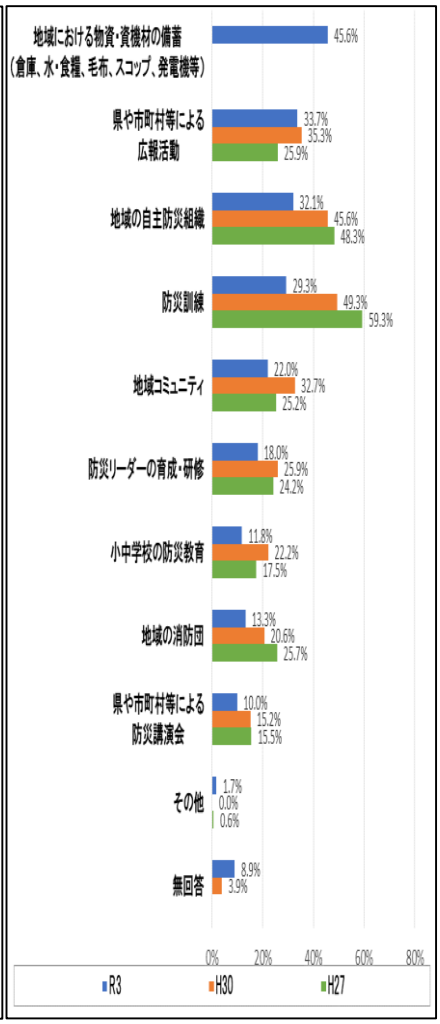
③地域の自主防災組織

Ｒ３：３０．７％、　Ｈ３０：４４．０％、　Ｈ２７：４５．０％

特に、「③地域の自主防災組織」については、前回から１３．３ポイント低下している。







全県域　　**沿岸部**　　**内陸部**

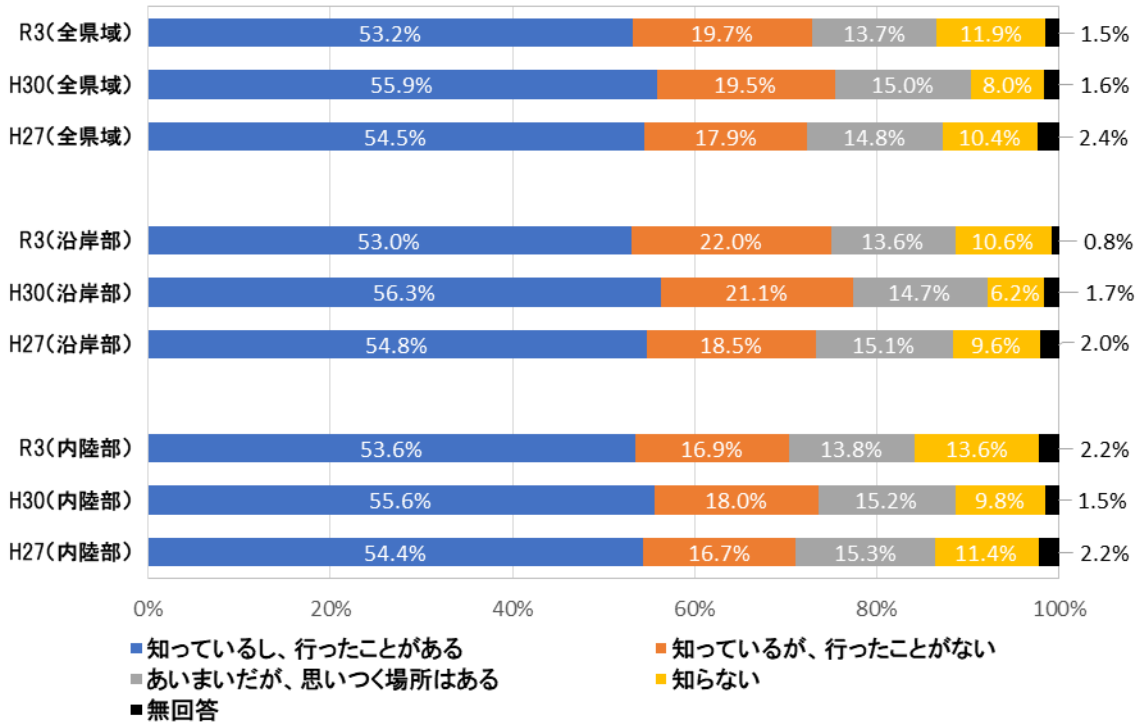
地域の防災力強化に必要なもの

問 31　御自宅の最寄りの”緊急避難場所”を知っていますか。（１つだけ○）

① 知っているし、行ったことがある	② 知っているが、行ったことがない
③ あいまいだが、思いつく場所はある	④ 知らない

①知っているし、行ったことがある
　Ｒ３：５３．２%、　Ｈ３０：５５．９%、　Ｈ２７：５４．５%
②知っているが、行ったことがない
　Ｒ３：１９．７%、　Ｈ３０：１９．５%、　Ｈ２７：１７．９%
③あいまいだが、思いつく場所はある
　Ｒ３：１３．７%、　Ｈ３０：１５．０%、　Ｈ２７：１４．８%

これらから、「知っている（①、②、③）」については、
　Ｒ３：８６．６%、　Ｈ３０：９０．４%、　Ｈ２７：８７．２%
となり、前回から３．８ポイント低下している。



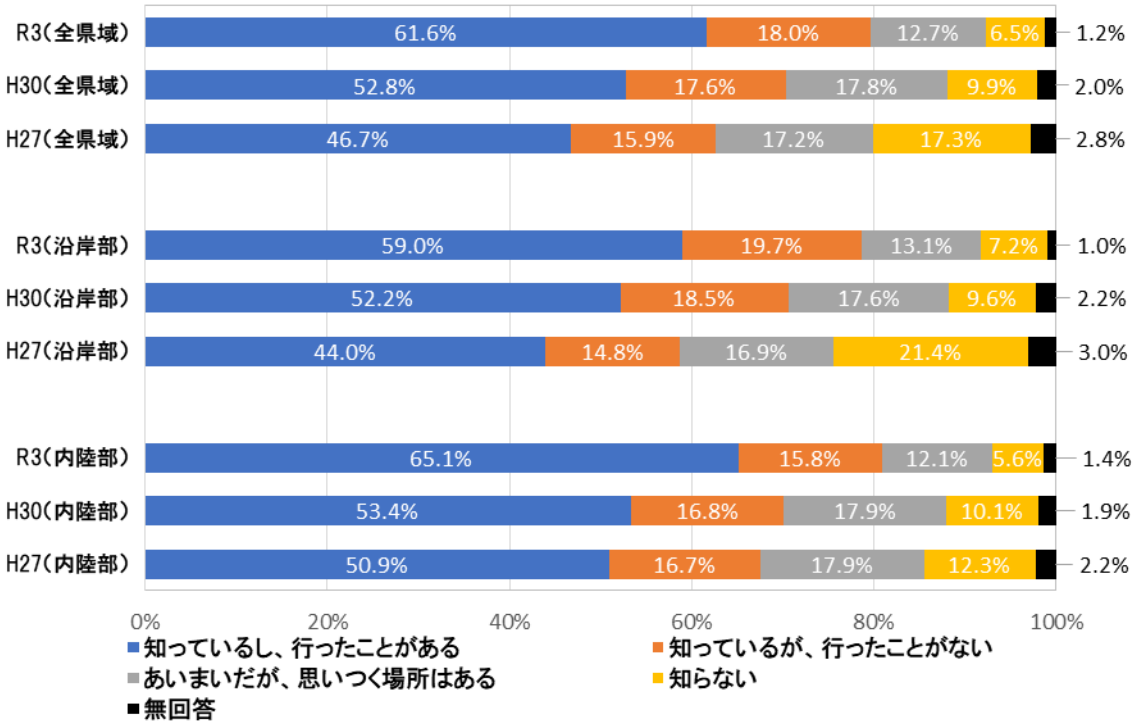
緊急避難場所の認知

問 32　御自宅の最寄りの”避難所”を知っていますか。（１つだけ○）

①　知っているし、行ったことがある	②　知っているが、行ったことがない
③　あいまいだが、思いつく場所はある	④　知らない

①知っているし、行ったことがある
　Ｒ３：６１．６%、　Ｈ３０：５２．８%、　Ｈ２７：４６．７%
②知っているが、行ったことがない
　Ｒ３：１８．０%、　Ｈ３０：１７．６%、　Ｈ２７：１５．９%
③あいまいだが、思いつく場所はある
　Ｒ３：１２．７%、　Ｈ３０：１７．８%、　Ｈ２７：１７．２%

これらから、「知っている（①、②、③）」については、
　Ｒ３：９２．３%、　Ｈ３０：８８．２%、　Ｈ２７：７９．８%
となり、前回から４．１ポイント上昇している。



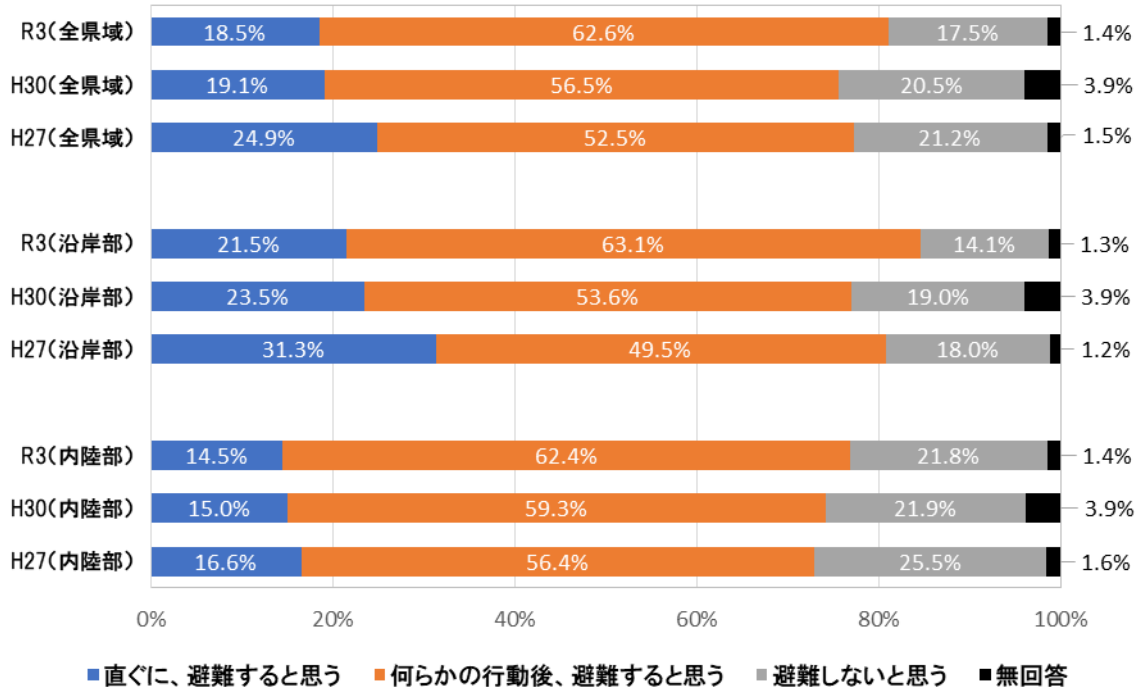
避難所の認知

問 33　揺れが収まった後、直ぐに、避難しますか。（１つだけ○）

①　直ぐに、避難すると思う ②　何らかの行動後、避難すると思う ③　避難しないと思う

②何らかの行動後、避難すると思う
　Ｒ３：６２．６％、　Ｈ３０：５６．５％、　Ｈ２７：５２．５％
①直ぐに、避難すると思う
　Ｒ３：１８．５％、　Ｈ３０：１９．１％、　Ｈ２７：２４．９％
③避難しないと思う
　Ｒ３：１７．５％、　Ｈ３０：２０．５％、　Ｈ２７：２１．２％

これらから、「避難行動をする（①、②）」については、
　Ｒ３：８１．１％、　Ｈ３０：７５．６％、　Ｈ２７：７７．４％
となり、前回から５．５ポイント上昇している。



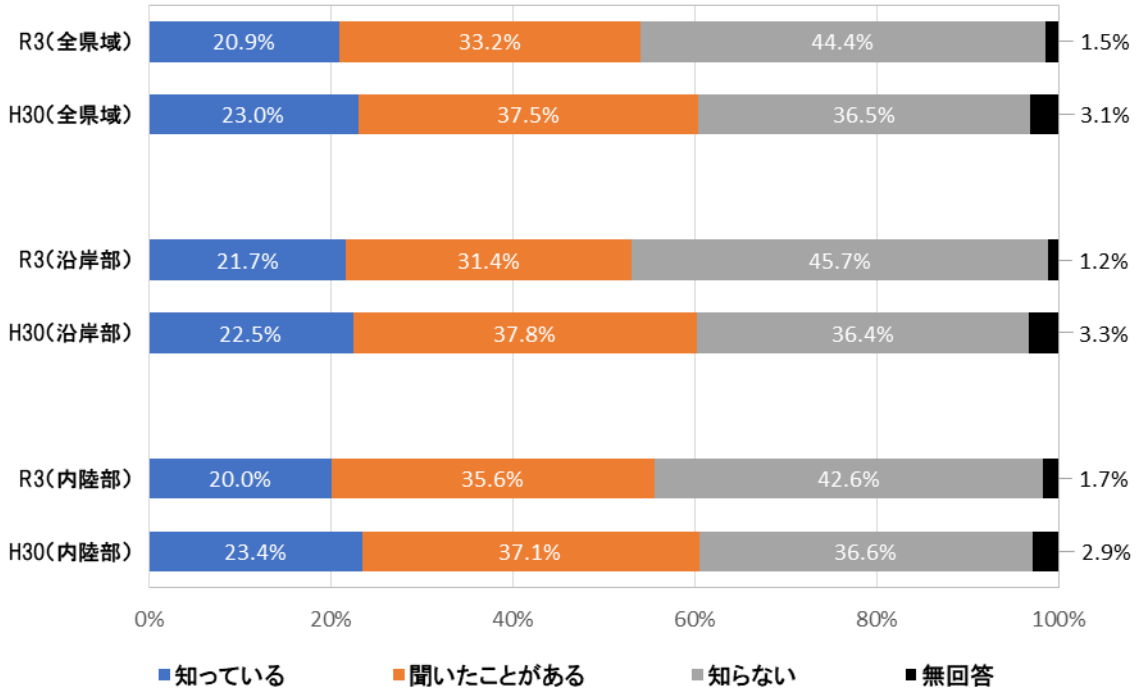
地震発生直後の避難行動

問 34　「南海トラフ地震臨時情報」を知っていますか。（１つだけ○）

①　知っている ②　聞いたことがある ③　知らない

③知らない
　Ｒ３：４４．４％、　Ｈ３０：３６．５％、　Ｈ２７：調査なし
②聞いたことがある
　Ｒ３：３３．２％、　Ｈ３０：３７．５％、　Ｈ２７：調査なし
①知っている
　Ｒ３：２０．９％、　Ｈ３０：２３．０％、　Ｈ２７：調査なし

これらから、「知っている、聞いたことがある（①、②）」については、
　Ｒ３：５４．１％、　Ｈ３０：６０．５％、　Ｈ２７：調査なし
となり、前回から６．４ポイント低下している。



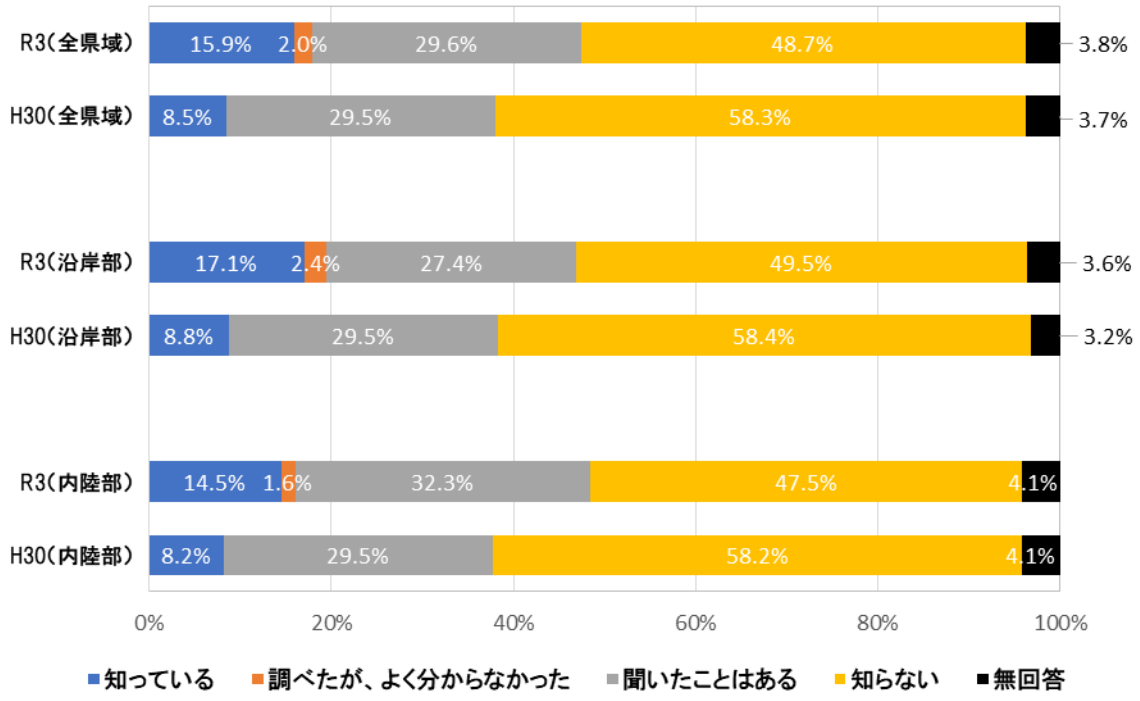
南海トラフ地震臨時情報の認知

問 41　「事前復興」という言葉の意味を知っていますか。（１つだけ○）

①　知っている ②　調べたが、よく分からなかった ③　聞いたことはある ④　知らない

④知らない
　Ｒ３：４８．７％、　Ｈ３０：５８．３％、　Ｈ２７：調査なし
③聞いたことはある
　Ｒ３：２９．６％、　Ｈ３０：２９．５％、　Ｈ２７：調査なし
①知っている
　Ｒ３：１５．９％、　Ｈ３０：　８．５％、　Ｈ２７：調査なし

これらから、「知っている、聞いたことはある（①、③）」については、
　Ｒ３：４５．５％、　Ｈ３０：３８．０％、　Ｈ２７：調査なし
となり、前回から７．５ポイント上昇している。

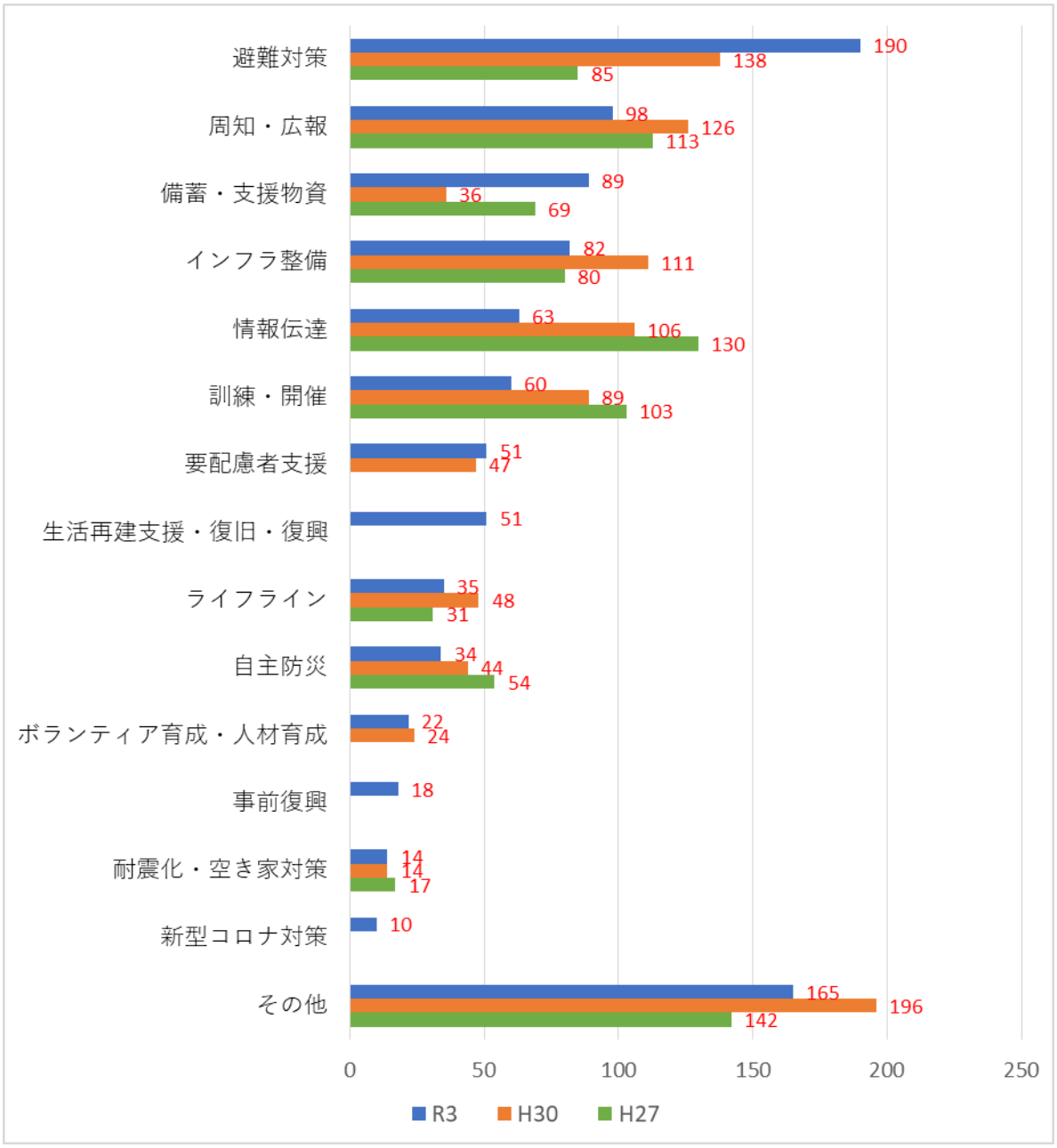


事前復興の認知

問 42　最後に、県や市町村にどのような地震防災対策を望みますか。どんなことでもお書きください。（自由記載）

前回調査と同様、「避難対策」を期待する回答が最も多く、次いで、「周知・広報」、「備蓄・支援物資」、「インフラの整備」が多い。

さらに、「避難対策」と「備蓄・支援物資」は、前回調査より回答数がかなり増加している。



※数値は回答数

県や市町村へ期待する地震防災対策

3. まとめ

（1） 回答者の個人属性について

○性別については、

・「男性」が５６．３％、「女性」が４３．０％となっている。

○年齢については、

・「６０歳代」が２８．３％と最も高く、「５０歳代」が２６．６％と続く。

○家族構成（本人を含めた同居家族の人数）については、

・「２人」が３２．０％と最も高く、「３人」が２６．６％と続く。

○住まいの形態については、

・「持ち家（一戸建て)」が８９．０％と最も高く、「賃貸（マンション・アパート)」が４．４％と続く。

○居住年数については、

・「３０年以上」が４４．８％と最も高く、「２０年～３０年未満」が１９．０％と続く。

（2） 南海トラフ巨大地震、中央構造線・活断層地震の関心について

○地震への関心については、

・「南海トラフ巨大地震に関心がある（「非常に」、「少し」を含む)」が
Ｒ３：９７．２％、 Ｈ３０：９７．５％

・「中央構造線・活断層地震に関心がある（「非常に」、「少し」を含む)」が
Ｒ３：９０．９％、 Ｈ３０：９０．０％

・「特定活断層調査区域について知っている、聞いたことがある」が
Ｒ３：４３．０％、 Ｈ３０：５４．６％

であり、南海トラフ巨大地震や中央活断層地震の関心については、今回、前回ともに９０％を超えている。

一方、「特定活断層調査区域の認知度」については、前回から低下し、南海トラフ巨大地震等の関心と比較しても低くなっている。

（3） 地震に対する備えについて

○ハザードマップの認知については、

・「ハザードマップを見たことある」がＲ３：８４．５％、 Ｈ３０：７４．９％

であり、前回から上昇し、８０％を超えている。

○家庭における災害の関心については、

・「家族と地震等の災害について話し合っている」がＲ３：６６．８％、
Ｈ３０：６４．１％

であり、その内容は「避難場所や避難経路」が７１．１％と最も高い。

○平常時の防災情報の入手については、

・「テレビ」がＲ３：９１．０％、 Ｈ３０：９２．２％と最も高く、

・「新聞」がＲ３：５５．１％、 Ｈ３０：５９．３％

・「インターネット」がＲ３：４８．４％、　Ｈ３０：３８．２％と続く。

○家族の安否確認については、

・「携帯電話」がＲ３：８４．９％、　Ｈ３０：７７．８％と最も高く、

・「ＬＩＮＥ」がＲ３：５４．４％、　Ｈ３０：４０．５％と続く。

防災情報入手や安否確認の手段については、携帯電話やインターネットの利用が高くなっている。

（4）住宅の耐震化や備蓄等の具体的な取組について

○住宅の耐震化については、

・「“耐震診断”を受けた、受ける予定」がＲ３：２２．３％、　Ｈ３０：２５．５％

・「“耐震改修”を実施、予定している」がＲ３：４７．１％、　Ｈ３０：２３．４％

であり、いずれも５０％に届いておらず、その理由として「費用がかかるから」が最も高く、「“耐震診断”」では３９．６％、「“耐震改修”」では５３．３％となっている。

○家具の固定については、

・「固定している（「全部」、「一部」）」がＲ３：５０．０％、　Ｈ３０：５４．４％

であり、前回から低下しており、その理由として「手間がかかるから」が最も高く、３７．３％となっている。

○ブロック塀等の安全対策【新設問】については、

・「安全点検を実施し、対策（予定）している」が１４．７％

であり、他の耐震対策と比べて低く、安全対策をしていない理由として「費用がかかるから」が最も高く、５１．１％となっている。

○食糧や携帯トイレの備蓄については、

・「食糧を備蓄している（１日分以上）」がＲ３：６９．８％、　Ｈ３０：７０．６％

・「災害用トイレを備蓄している（１日分以上）」がＲ３：２４．４％、
　Ｈ３０：１６．４％

であり、食糧は前回からほとんど変化はなく、約７０％が備蓄している一方、災害用トイレは、前回から上昇しているものの、食糧と比べてかなり低くなっている。

○自主防災組織の加入・活動については、

・「入っている」が、Ｒ３：３２．２％、　Ｈ３０：３４．３％

・「活発である、ある程度活動している」が、Ｒ３：５１．４％、
　Ｈ３０：６１．５％

であり、いずれも前回から低下している。

○防災訓練への参加については、

・「防災訓練に参加している」が、Ｒ３：４４．６％、　Ｈ３０：４４．５％

であり、５０％に届いておらず、その理由として、「訓練の連絡が届かない」が最も高く、４８．０％となっている。

○避難する場所の認知については、

・「緊急避難場所を知っている（「思いつく場所はある」を含む）」が、
　Ｒ３：８６．６％、　Ｈ３０：９０．４％

・「避難所を知っている」が、Ｒ３：９２．３％、　Ｈ３０：８８．２％
であり、「緊急避難場所を知っている」が前回から低下しているものの、「知っている」が緊急避難場所、避難所とも８０％を超えている。

（5）大規模地震発生時の避難行動について

○地震発生後の避難行動については、
・「揺れが収まった後、避難行動をする」が、Ｒ３：８１．１％、
　Ｈ３０：７５．６％
であり、避難手段としては、「徒歩」が最も高く、６２．４％となっている。

（6）「南海トラフ地震臨時情報」発表時の防災対応について

○南海トラフ地震臨時情報の認知については、
・「南海トラフ地震臨時情報を知っている、聞いたことがある」が、
　Ｒ３：５４．１％、　Ｈ３０：６０．５％
であり、前回から低下している。
　そのうち、「知っている」と答えた方の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時の対応【新設問】については、「事前避難する（「家族だけ」を含む）」が、６１．４％と最も高い。

（7）避難情報発令時における避難行動について

○避難勧告・指示の一本化の認知【新設問】については、
・「避難指示に一本化されたことを知っている」が４３．４％
であり、５０％に届いていない。
○避難情報が発令された時の避難【新設問】については、
・「避難情報が発令されて避難した」が、４．１％
であり、避難する割合が非常に低く、その理由としては「自宅が安全だから」が最も高く、５８．４％となっている。

（8）コロナ禍の避難行動について

○コロナ禍の避難【新設問】については、
・「分散避難について知っている、聞いたことがある」が、５０．４％
・避難先は「市町村が開設する避難所」が５９．０％と最も高く、「車中泊」が４５．８％と続く。
○避難所における感染症対策で気になること【新設問】については、
・「トイレ等共用スペースの衛生対策」が８０．１％と最も高く、「発熱・体調不良者への対応」が６８．７％と続く。

（9）事前復興について

○事前復興の認知については、
・「知っている、聞いたことはある」がＲ３：４５．５％、　Ｈ３０：３８．０％

であり、前回から上昇している。

そのうち、「知っている」と答えた方が重要と考える取組分野【新設問】については、「すまいの再建」が６８．１％と最も高く、「暮らしの再建」が５２．９％と続く。

（10）県や市町村に望む地震防災対策について

○県や市町村に望む地震防災対策については、

・「避難対策」が１９０件と最も多く、「防災に関する周知・広報」が９８件と続く。

徳島県危機管理環境部　とくしまゼロ作戦課事前復興室
〒770－8570　徳島県徳島市万代町1丁目1番地
電　話:088－621－2710
ﾌｧｸｼﾐﾘ:088－621－2987
E-mail ：tokushimazerosakusenka@pref.tokushima.jp